

1. 分析の進め方について（第2回路線バス網再編検討委員会の案件）

- ◆OD調査、利用者・市民アンケートの分析を進めるにあたっては、各調査の特性を整理した上で、分析方法を検討する必要がある。
- ◆OD調査は「路線別」、利用者アンケートは「路線別」、「ゾーン別」、市民アンケートは、「ゾーン別」に掘り下げて分析するためには、アンケートの設問間でクロス集計し、傾向を捉まえる必要がある。
- ◆また、利用者・市民アンケートを分析し、市内の交通行動の地域特性を捉まえるにあたり、同じトレンドをもつ地域をゾーンとしてまとめる必要がある。
- ◆分析の方向性及び地域特性分析のためのゾーン設定結果を下記に示す。

（１）OD調査、利用者・市民アンケートの特性

		OD調査	利用者アンケート	市民アンケート
調査対象		路線バス利用者	路線バス利用者	市民（普段の路線バス利用者以外も含む）
分析事項	現状の交通交通	路線バスの利用区分、利用目的他	路線バス利用者の交通行動、路線バスの満足度他	路線バス利用者以外も含めた交通行動、路線バスの満足度他
	将来（北大阪急行線延伸後）の交通行動	※利用者アンケート等による将来交通行動の分析を活用して路線バスの利用予測	現状の路線バス利用者における新駅の利用意向、交通の転換意向	路線バス利用者以外も含めた新駅の利用意向、交通の転換意向
分析結果を踏まえたアウトプット		・現状の交通行動 ・新駅への交通行動予測（端末交通手段、利用目的、頻度他） ・路線バスの利用予測（行き先、利用目的、頻度他）		

（２）利用者・市民アンケート分析（クロス集計）の方向性

分析項目	目的	アンケートのクロス集計の方向性
①基礎情報	回答者属性を把握する。	・回答者属性（職業・年代等）
②現状の交通行動（路線バス・オレンジゆずるバスの利用状況も含む）	現状の交通行動として、利用目的、移動手段、頻度、利用状況を把握する。	・目的別の行き先・交通手段 ・目的別の行き先・頻度 他 （職業、目的、行き先、交通手段、頻度のクロス集計）
③北大阪急行線延伸後の交通行動	北大阪急行線延伸後の交通行動として、新駅の利用意向、交通の転換意向を把握する。	・新駅の利用意向（職業、延伸区間の利用意向、利用する新駅のクロス集計） ・交通の転換意向（職業、現状の交通手段、新駅までの交通手段のクロス集計）
④バス路線再編の意向	北大阪急行線延伸後のバス路線再編意向を把握する。	・回答者特性別の北大阪急行線延伸後のバス路線再編に対するサービスレベル等の意向
⑤その他	バス路線再編に向けた分析は、上記項目以外にも必要に応じて、分析を進めることとする。	

（３）利用者・市民アンケートの分析に係るゾーン設定について

- ◆ゾーンを設定にあたっては、市内・市外近接の各駅を中心とした駅勢圏を基本としたエリアをひとつのゾーンとしてまとめ、その他、地形や幹線道路等を境界とし、アンケート結果等から、各地域ごとの傾向を捉まえ、市内を16ゾーンに設定した。

《ゾーン設定方法》

STEP 1：駅勢圏

- ◆駅勢圏は、駅を中心に半径800mの区域内に含まれる町丁目とする。

STEP 2：駅勢圏の重複

- ◆複数の駅勢圏が重複する地域は、アンケート結果から、重複する駅勢圏のうち、いずれの駅への移動意向が高いかで判断。

STEP 3：現行バス路線・地形・幹線道路等の考慮

- ◆駅勢圏に含まれない地域は、現行のバス路線の運行状況、地形（幹線道路等も含む）を考慮。

STEP 4：アンケート結果による調整

- ◆その他、再編後の必要な行き先等のアンケート設問結果等を考慮し、鉄道駅への移動意向により同傾向の地域をまとめて調整。

《ゾーン設定結果（ゾーン図は参考資料1参照）》

	ゾーン	町丁目
1	箕面駅勢圏ゾーン	箕面1〜3、箕面5〜8、新稲1、新稲3、西小路1〜3、温泉町、箕面公園
2	牧落駅勢圏ゾーン	西小路4〜5、牧落1〜3、牧落5、百楽荘1〜4、桜1〜5
3	桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン	桜6、桜井1〜3、半町1〜4、瀬川1〜瀬川5
4	箕面駅・牧落駅西部ゾーン	新稲2、新稲4〜新稲7、桜ヶ丘1〜桜ヶ丘5
5	（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン	白島1〜3、西宿1〜2、萱野1〜萱野4、坊島2〜5、如意谷2
6	（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン	船場東1〜3、船場西1〜3、萱野5、稲5〜6
7	（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン	如意谷1、如意谷3〜5
8	（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン	坊島1、箕面4、稲1〜4、牧落4
9	（仮称）新箕面駅北東部ゾーン	石丸1〜3、外院1〜3
10	粟生団地バスターミナル周辺ゾーン	粟生外院2〜3、粟生外院5〜6、粟生間谷西2〜7
11	粟生外院・粟生新家（粟生団地南、R171号以北）ゾーン	粟生外院1、粟生外院4、粟生新家2〜5、粟生間谷西1
12	間谷住宅周辺ゾーン	粟生間谷東1〜8、彩都粟生南1〜3
13	彩都地域ゾーン	彩都粟生南4〜7、彩都粟生北1〜7
14	今宮周辺ゾーン	今宮1〜4、西宿3
15	小野原ゾーン	粟生新家1、小野原西1〜6、小野原東1〜6
16	北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン	上止々呂美、下止々呂美、森町中、森町北、森町南、森町西

2. OD調査分析について

(1) OD調査概要

①調査概要

- 調査の実施主体
阪急バス株式会社
- 調査対象
阪急バス利用者
- 調査期間
平成27年11月～12月の11日間
(10/5(月)、10/10(土)、10/15(木)、10/20(火)、11/4(水)、11/5(木)、11/10(火)、
11/12(木)、11/18(水)、11/30(月)、12/1(火))
※系統・ダイヤによって調査日が異なる。

②調査項目

- 乗車バス停、降車バス停
- 乗車目的
- 性別
- 年齢（7階層：小学校以下、中学校～22才、23～30才、31～49才、50～64才、
65～74才、75才以上）

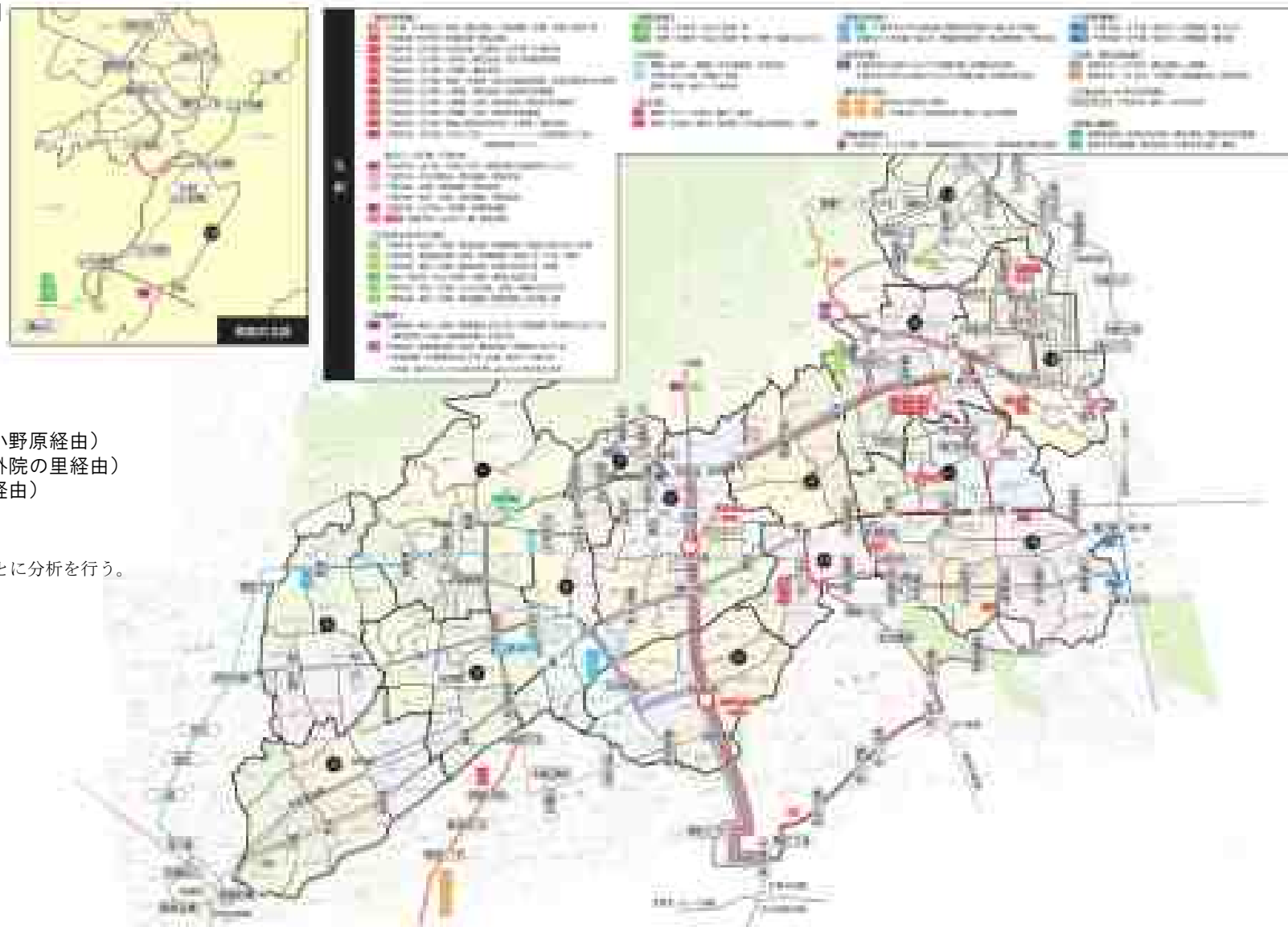
(2) 現行の阪急バス（株）の路線図 （箕面市内）

- ◆現在の阪急バス（株）の路線図
は右図のとおり。

【バス路線】

- ・豊中市内線
- ・白島線
- ・如意谷線
- ・箕面中央線
- ・箕面森町線
- ・北大阪ネオポリス線
- ・阪北線
- ・箕面山麓線
- ・石橋・郡山団地線
- ・小野原東線
- ・粟生団地線（南回り今宮－小野原経由）
- ・粟生団地線（南回り今宮－外院の里経由）
- ・粟生団地線（南回り阪大口経由）
- ・粟生団地線（北回り）

以上、14路線について、路線ごとに分析を行う。



3. 利用者アンケート調査分析

《利用者アンケートの単純集計結果は参考資料2参照》

(1) アンケート調査概要

① 調査概要

- 調査の対象者
阪急箕面駅・石橋駅・北千里駅、北大阪急行線千里中央駅からの路線バス利用者
- 調査方法および調査期間
手渡し配布・郵送回収、無記名方式
平成29年2月21日（火）配布 ～3月6日（月）

② 調査票の回収結果

- 配布件数 11,512件
- 有効回答数（率） 3,141件（27.3%）

(2) 単純集計結果（第2回路線バス網再編検討分科会の案件）

① 回答者属性

- ◆年代は、「50歳代」が19.5%で最も多く、以下、「60歳代」が19.2%、「40歳代」が18.2%と続いている。
- ◆居住地は、「箕面市」が69.1%で最も多く、以下、「吹田市」が9.7%、「豊中市」が7.0%と続いている。
- ◆主な職業は、「会社員・公務員・団体職員」が51.7%で最も多く、以下、「アルバイト・パート」が14.8%、「無職」が12.9%と続いている。

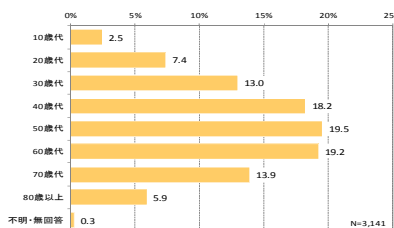


図 回答者の年代

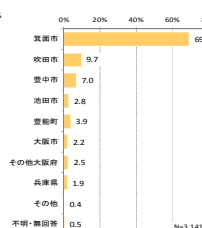


図 回答者の居住地

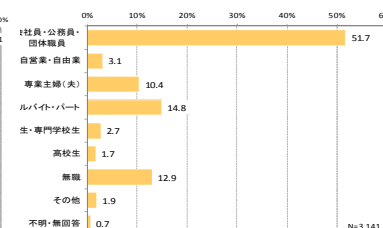


図 回答者の主な職業

② 調査票を受け取ったときの移動について

- ◆バス停（乗車した）は、「千里中央（駅）」が63.4%で最も多く、次いで、「北千（駅）」が19.4%となっている。
- ◆移動の目的は、「通勤」が62.4%で最も多く、次いで、「レジャー・趣味・ショッピング」が13.6%となっている。
- ◆外出先（目的地の場所）は、「大阪市」が31.6%で最も多く、以下、「箕面市」が21.0%、「豊中市」が18.1%と続いている。

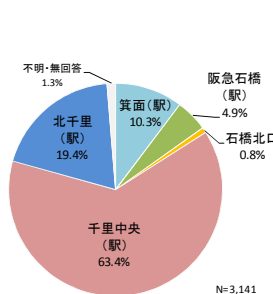


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

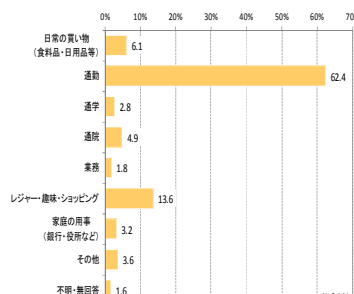


図 調査票を受け取った時の移動の目的

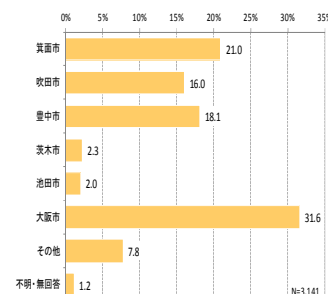


図 調査票を受け取った時の目的地の場所

③ 普段の路線バスの利用などについて

- ◆利用頻度は、「ほぼ毎日（平日5日利用を含む）」が65.6%で最も多く、次いで、「週に数回」が21.7%となっている。
- ◆満足度は、「やや満足」が48.0%で最も多く、「大変満足」（13.5%）と合わせると、61.5%が『満足』となっている。

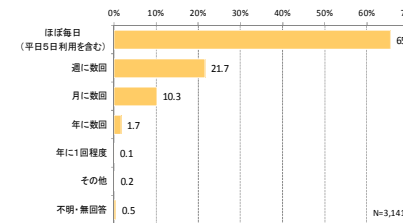


図 普段の路線バスの利用頻度

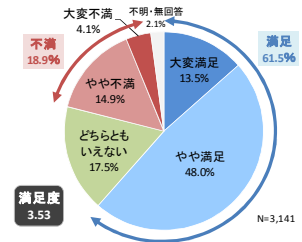


図 路線バスの満足度

④ 北大阪急行線延伸後の移動について

- ◆延伸区間の利用意向は、「利用する」が42.2%で最も多く、「バス路線があれば利用する」（26.4%）と合わせると、68.5%が『利用意向あり』となっている。
- ◆利用すると回答した人が主に利用する新駅は、「（仮称）新箕面駅」が78.0%、「（仮称）箕面船場駅」が19.0%となっている。
- ◆利用すると回答した人の自宅から新駅までの交通手段は、「路線バス」が65.4%で最も多く、次いで、「徒歩」が21.5%となっている。

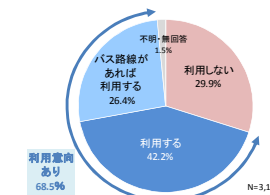


図 延伸開業後の延伸区間の利用意向

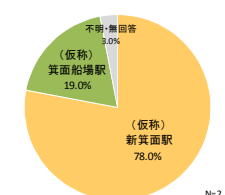


図 主に利用する新駅

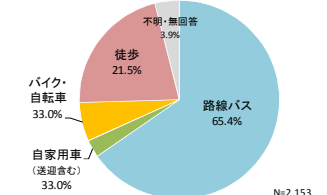


図 自宅から新駅までの交通手段

⑤ 路線バス（阪急バス）を再編することについて

- ◆最も必要な行き先は、「北大阪急行／千里中央駅」が51.1%で最も多く、以下、「北大阪急行／（仮称）新箕面駅」が36.0%、「阪急／北千里駅」が27.8%と続いている。
- ◆最低限必要なバスの本数は、朝（通勤通学時）が「10分に1本」、昼が「20分に1本」、夕方（帰宅時）が「15分に1本」が最も多い。

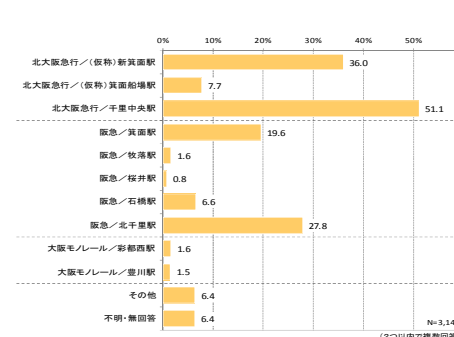


図 最も必要な行き先

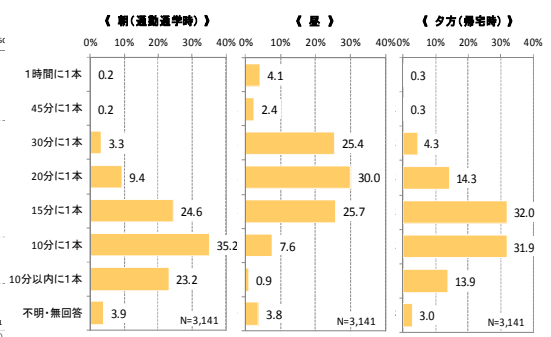


図 最低限必要なバスの本数

(3) ゾーン別地域特性分析

◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅勢圏（箕面駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：箕面1～3、箕面5～8、新稲1、新稲3、西小路1～3、温泉町、箕面公園
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：阪急箕面線（箕面駅）
 - 路線バス：白鳥線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：328件



②基礎情報

②－1. 性別

- ◆「男性」が約34%、「女性」が約66%である。

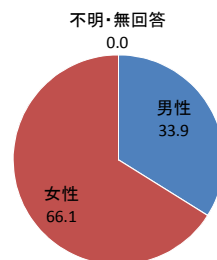


図 回答者の性別

②－2. 年代

- ◆「40歳代」が約25%で最も多く、「50歳代」と「60歳代」が共に約17%、「70歳代」が約14%、「10～30歳代」があわせて16%である。

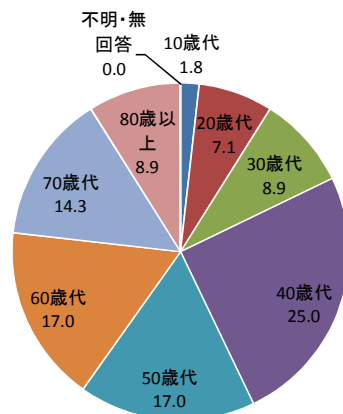


図 回答者の年代

②－3. 職業

- ◆「会社員、公務員、団体職員」が約50%、「アルバイト・パート」が約17%、「無職」が約13%である。

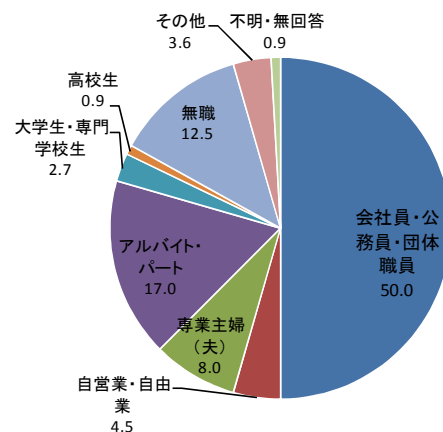


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③－1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆「箕面（駅）」が約71%、「千里中央（駅）」が約29%である。

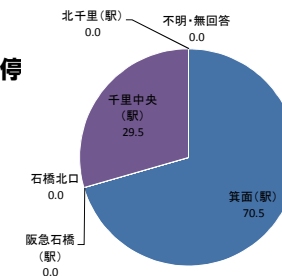


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③－2. 調査票を受け取った時の降車バス停のゾーン（乗車バス停別）

- ◆「千里中央（駅）」から乗車の場合の降車バス停は、箕面駅勢圏であるゾーン①が約61%と最も高い。
- ◆「箕面（駅）」から乗車の場合の降車バス停は、「千里中央」が約43%と最も高く、かやの中央などが含まれるゾーン⑤（（仮称）新箕面駅勢圏）が約14%、船場地域や市立病院が含まれるゾーン⑥（（仮称）箕面船場駅勢圏）が約9%と続く。

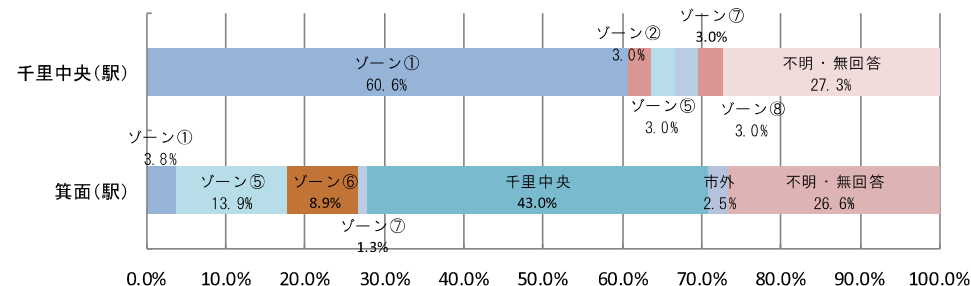


図 調査票を受け取った時の降車バス停のゾーン（乗車バス停別）

③－3. 移動の目的

- ◆「通勤」が約63%で最も高く、「レジャー・趣味・ショッピング」が約12%、「日常の買い物」が約8%と続く。

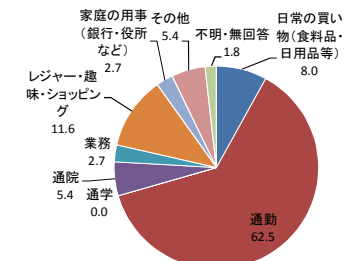


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③－4. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆「ほぼ毎日」が約55%と最も高く、「週に数回」が約26%、「月に数回」が約17%と続く。

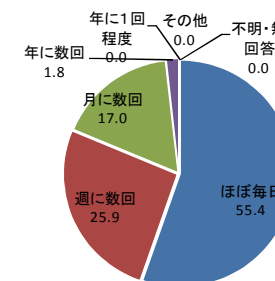


図 普段の路線バスの利用頻度

◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの満足度

◆「大変満足」が約24%、「やや満足」が約53%で、合わせると約67%が満足と回答している。

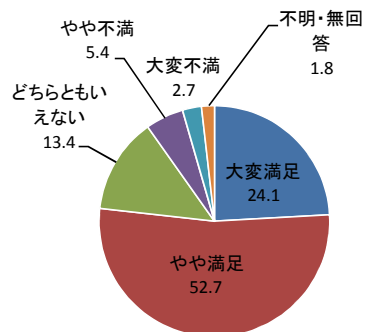


図 路線バスの満足度

③－６．路線バスの不満点

◆「利用したい時間に運行していないこと」が約24%、「始発が遅い、終発が早い」が約22%と高いが、各選択肢に分散している傾向がある一方、「特に不満がない」との回答も約23%と高くなっている。

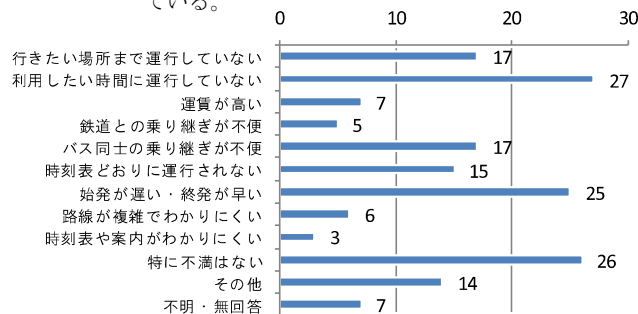


図 路線バスの不満点（複数回答 n=169）

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約38%、「バス路線があれば利用する」が約32%と、合わせて約70%が「利用する」と回答している。

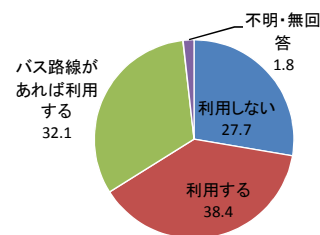


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約92%と大多数を占める。

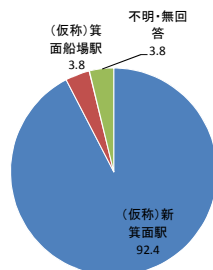


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約82%と大半を占める。

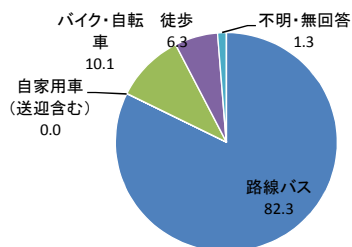


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「ほぼ毎日」が約38%と最も高く、「月に数回」が約28%、「週に数回」が約20%と続く。

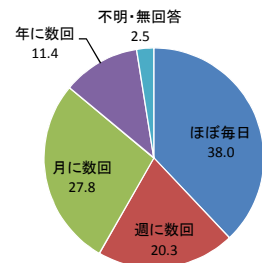


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が10分に1本、「昼」が20分に1本、「夕方」が15分に1本の意向が最も高い。

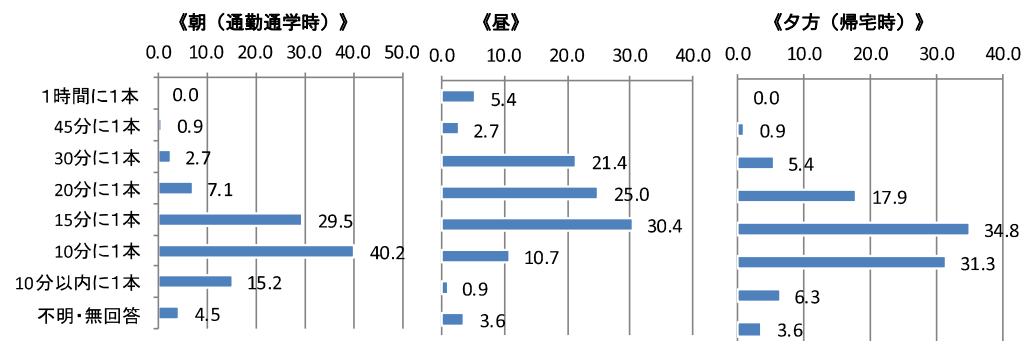


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆牧落駅勢圏（牧落駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：西小路4～5、牧落1～3、牧落5、百楽荘1～4、桜1～5
- ◆公共交通機関
鉄道：阪急箕面線（牧落駅）
路線バス 箕面中央線（石橋北口～千里中央）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：28件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約43%、「女性」が約57%である。

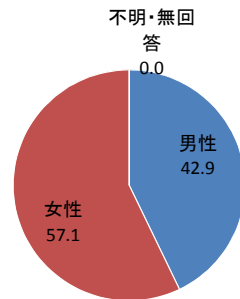


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「10歳代」が約11%、「20歳代～50歳代」が約50%、「60歳以上」が約39%である。

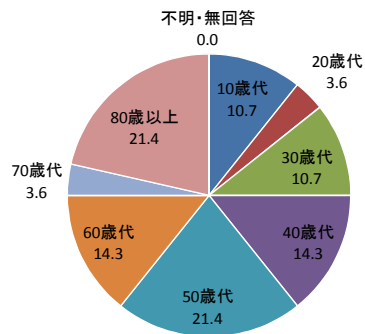


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約36%、「専業主婦（夫）」が約18%、「無職」が約21%である。

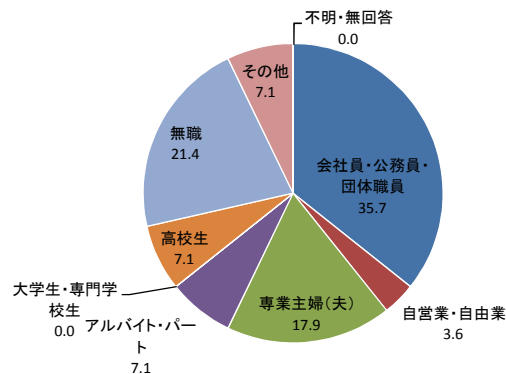


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆「千里中央（駅）」が約75%、「箕面（駅）」と「阪急石橋（駅）」がそれぞれ約11%である。

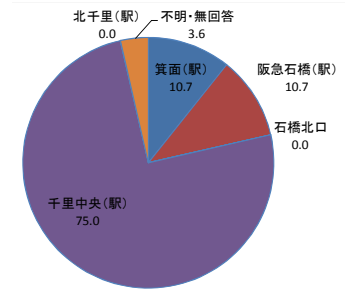


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆「通勤」が約39%で最も高く、「レジャー・趣味・ショッピング」が約25%、「日常の買い物」、「通学」、「通院」がそれぞれ約7%である。

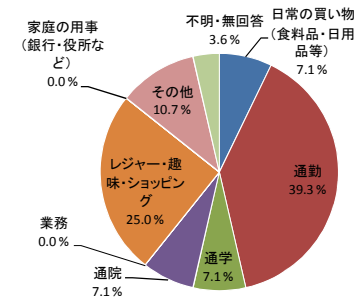


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆「ほぼ毎日」が約43%、「週に数回」が約39%、「月に数回」が約18%で、この3回答で全てを占める。

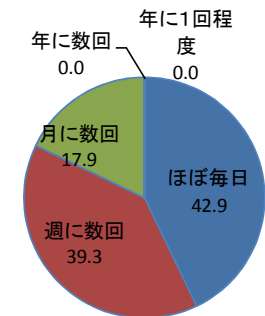


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆「大変満足」が約13%、「やや満足」が約39%で、合計約54%が満足と回答している。

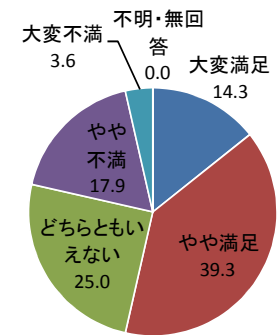


図 路線バスの満足度

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

- ◆「時刻表どおりに運行されない」が10件、「利用したい時間に運行していない」が9件と多い。
特に不満はないは4件である。

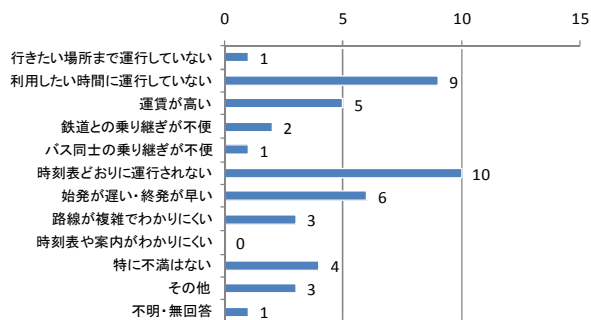


図 路線バスの不満点（複数回答 n=45）

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約25%、「バス路線があれば利用する」が約36%と、あわせて約61%が利用すると回答している。

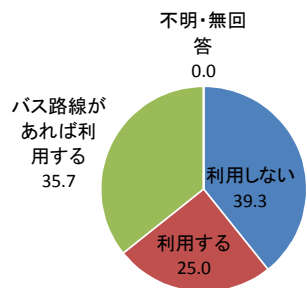


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向がある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約65%と約3分の2を占める。

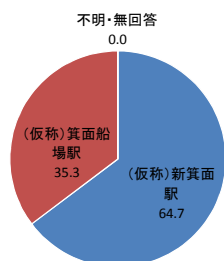


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約71%と多く、次いでバイク、自転車、徒歩が18%である。

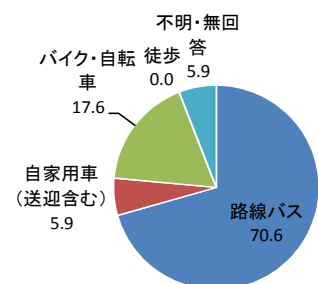


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が約41%で最も多く、「ほぼ毎日」が約29%、「年に数回」が約18%である。

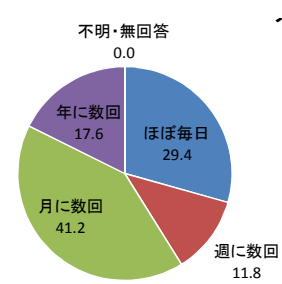


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が15分に1本に次いで10分に1本、「昼」は15分に1本に次いで20分に1本がそれぞれ多く、「夕方」は15分に1本が半数を占める。

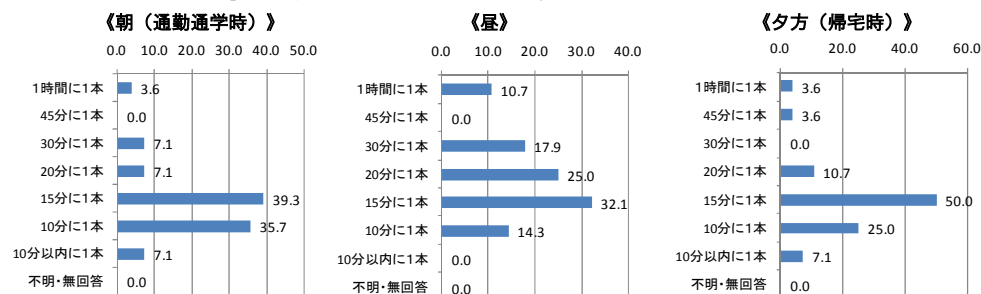


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆桜井駅・石橋駅勢圏（桜井駅、石橋駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：桜6、桜井1～3、半町1～4、瀬川1～瀬川5
- ◆公共交通機関
鉄道：阪急箕面線（桜井駅、石橋駅）
路線バス 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：9件



②基礎情報

②－１．性別

- ◆「男性」が約31%、「女性」が約69%である。

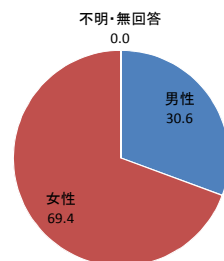


図 回答者の性別

②－２．年代

- ◆「30歳代」が約44%、「50歳代」と「70歳代」がそれぞれ約22%、「60歳代」が約11%である。

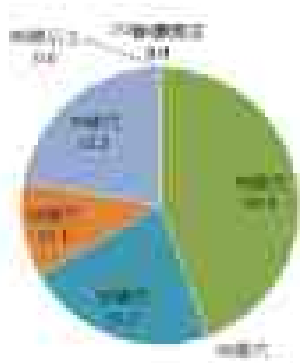


図 回答者の年代

②－３．職業

- ◆「会社員、公務員、団体職員」が約44%、「アルバイト・パート」が約33%である。

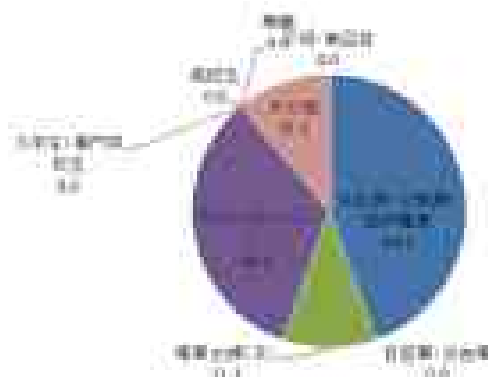


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③－１．調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆「千里中央（駅）」が約76%、「阪急石橋（駅）」が約12%である。

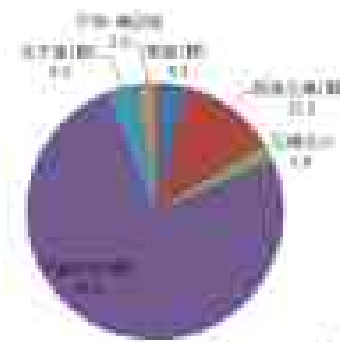


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③－２．移動の目的

- ◆「通勤」が約44%で最も高く、通院が約33%、「レジャー・趣味・ショッピング」が約11%で続いている。

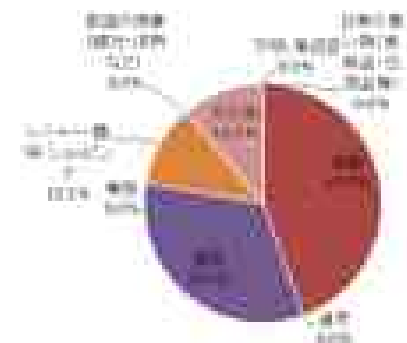


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③－３．普段の路線バスの利用頻度

- ◆「ほぼ毎日」が約67%、「週に数回」が約22%、「月に数回」が約11%で、この3回答で全てを占める。

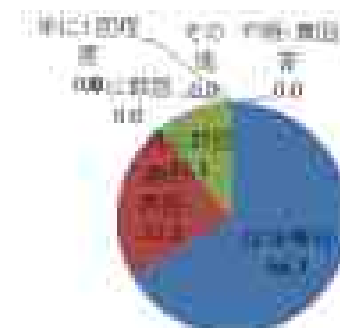


図 普段の路線バスの利用頻度

③－４．路線バスの満足度

- ◆「やや不満」が約56%と過半数を占め、「やや満足」が約11%で、不満の割合が高い。

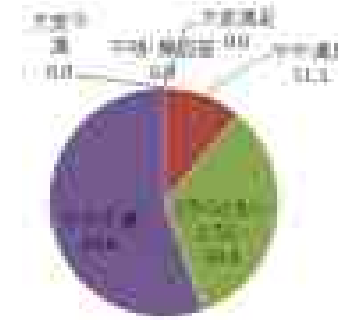


図 路線バスの満足度

◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆時刻表どおりに運行されない
が3件で最も多い。

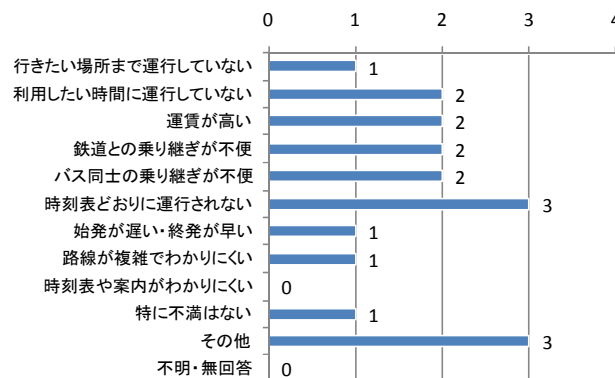


図 路線バスの不満点（複数回答 n=18）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用すると、バス路線があれば利用
すが共に約33%、あわせて約66%が利用
すると回答している。

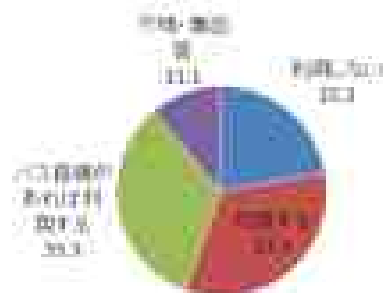


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、
(仮称)新箕面駅の利用意向が約83%と
大半を占める。



図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆全ての回答が路線バスである。



図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆月に数回が約67%で最も多く、ほぼ毎日
と年に数回が共に約17%で、日常的な移
動での利用意向は小さいといえる。

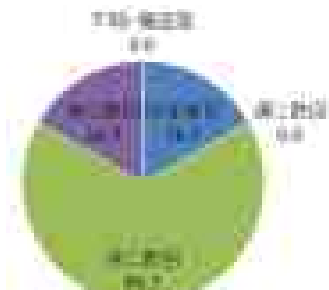


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が15分に1本に次いで10分に1本、昼は20分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。

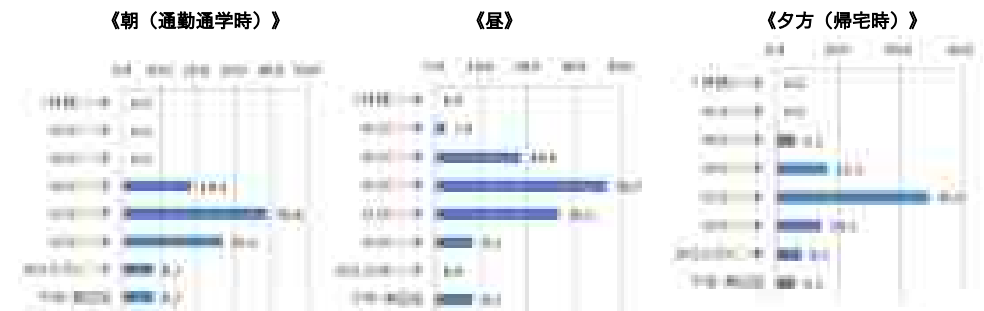
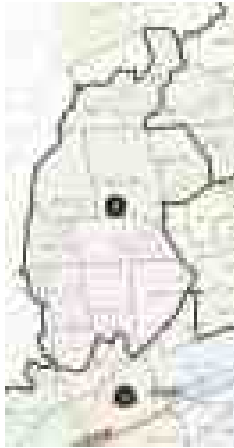


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅・牧落駅西部（箕面駅・牧落駅・桜井駅・石橋駅勢圏に含まれない箕面駅・牧落駅西部ゾーン）
- ◆町丁目：新稲2、新稲4～新稲7、桜ヶ丘1～桜ヶ丘5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：箕面中央線（石橋北口～千里中央）
- ◆アンケート回答数：49件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約31%、女性が約69%である。

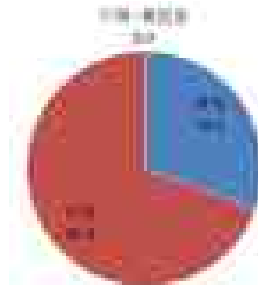


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆10～30歳代の回答がほとんどなく、50歳代が約27%、40歳代と70歳代がそれぞれ約22%、60歳代が約14%である。

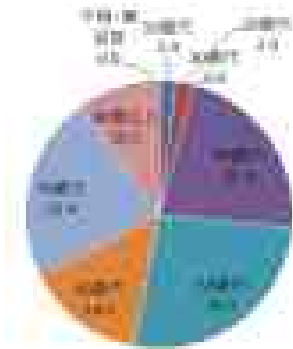


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約37%、専業主婦（夫）と無職がそれぞれ約22%である。

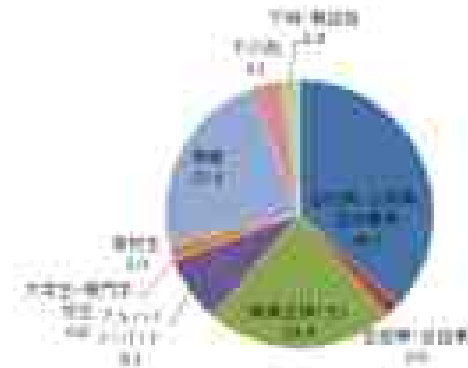


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約76%、阪急石橋（駅）がそれぞれ約12%であり、他の配布バス停も少ないながら回答がある。

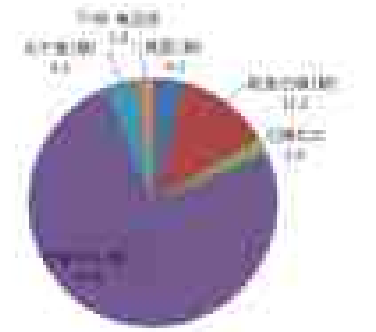


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約41%で最も高く、レジャー・趣味・ショッピングが約25%、日常の買い物が約12%である。

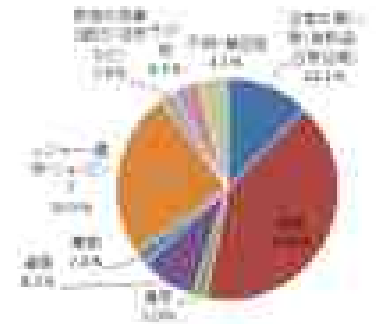


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約47%、週に数回が約29%、月に数回が約18%で、この3回答で大半を占める。

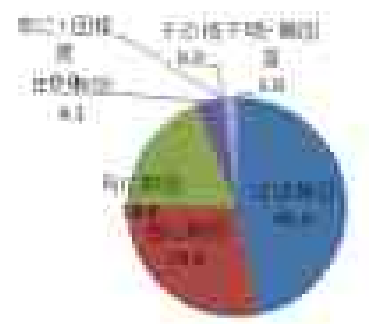


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約4%、やや満足が約63%で、合計約67%が満足と回答している。

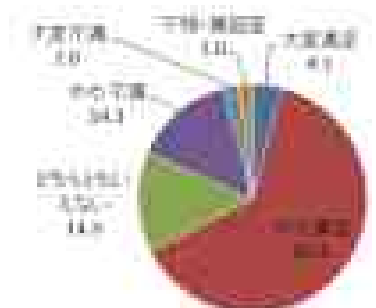


図 路線バスの満足度

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－5. 路線バスの不満点

◆利用したい時間に運行していないと、始発が遅い・終発が早いと共に17件と突出して多い。

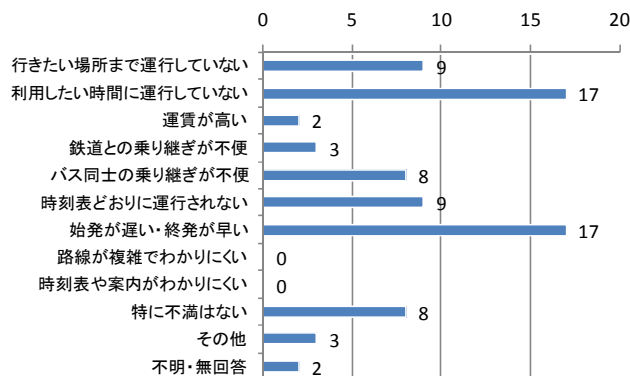


図 路線バスの不満点（複数回答 n=78）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－1. 延伸区間の利用意向

◆利用するが約20%、バス路線があれば利用するが35%と、あわせて約55%が利用すると回答している。

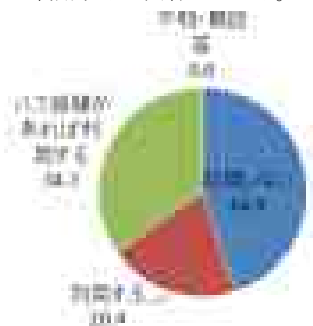


図 延伸区間の利用意向

④－2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約78%である。

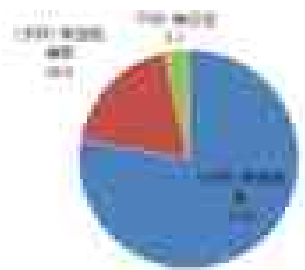


図 主に利用する新駅

④－3. 新駅までの交通手段

◆路線バスが約85%と多く、次いで自家用車が約11%である。

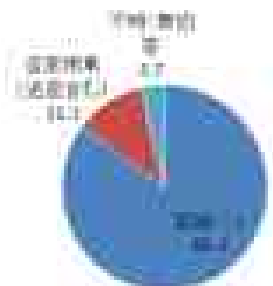


図 新駅までの交通手段

④－4. 延伸区間の利用頻度

◆月に数回が約37%で最も多く、週に数回と年に数回が共に約22%、ほぼ毎日が約19%である。

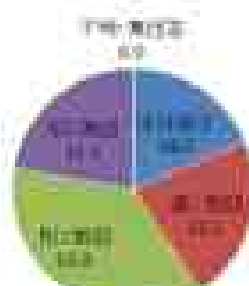


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－1. 路線バスの運行本数意向

◆朝が10分に1本、昼は15分に1本と20分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。



図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏（（仮称）新箕面駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：白島1～3、西宿1～2、萱野1～萱野4、坊島2～5、如意谷2
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：現況 なし
 - 将来 北大阪急行線（（仮称）新箕面駅）
 - 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
 - 如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
 - 箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
 - 北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
 - 箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
 - 栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
 - 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：222件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約49%、女性が約51%とほぼ半々である。

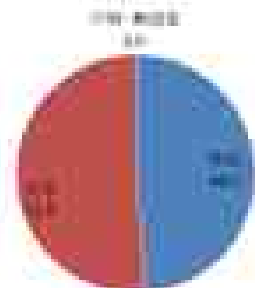


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆40歳代が約24%、50歳代が約23%と多く、次いで20歳代が約18%、30歳代が約15%である。

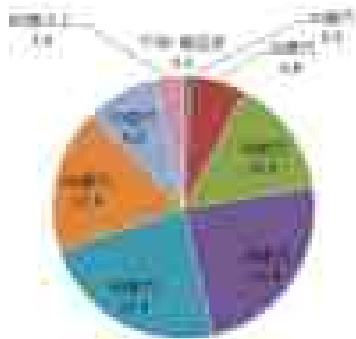


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約60%、アルバイト・パートが約16%、専業主婦（夫）が約10%である。

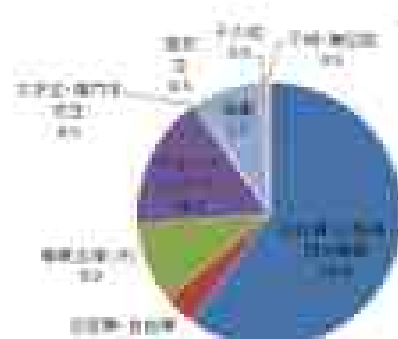


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約72%、箕面（駅）が約24%である。

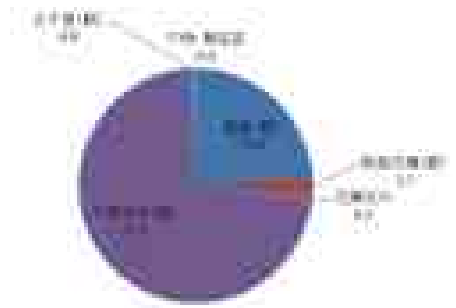


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約73%、次いでレジャー・趣味・ショッピングが約11%で、これら2つで大半を占める。



図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約73%、週に数回が約15%、月に数回が約10%で、この3回答でほとんどを占める。

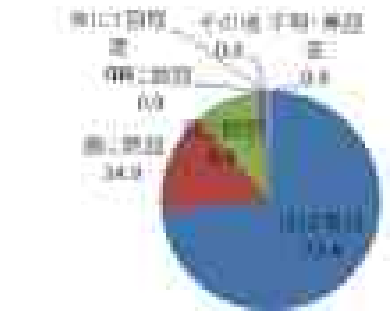


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約14%、やや満足が約50%で、合計約64%が満足と回答している。

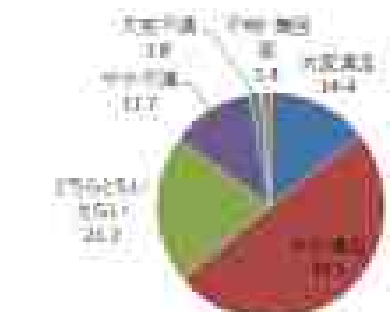


図 路線バスの満足度

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆始発が遅い・終発が早い
93件で最も多く、次いで時刻表どおりに運行されないが69件、利用したい時間に運行していないが53件と多い。

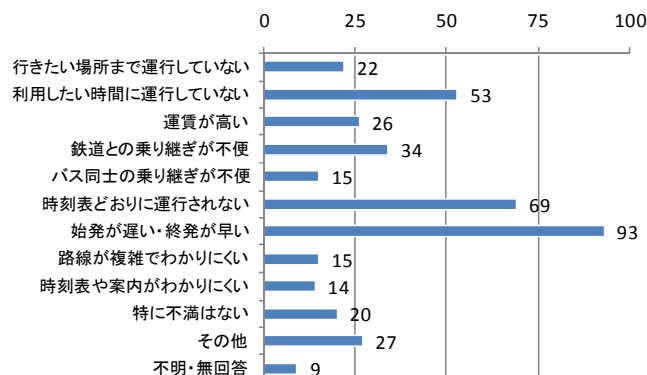


図 路線バスの不満点（複数回答 n=397）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約86%、バス路線があれば利用するが9%と、あわせて約94%が利用すると回答している。



図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約99%とほとんどを占める。



図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆徒歩が84%と大半を占め、路線バスが約12%で続く。

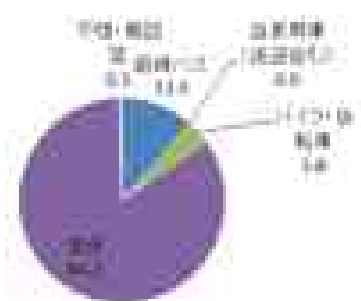


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約63%、週に数回が約16%、月に数回が約14%で続く。

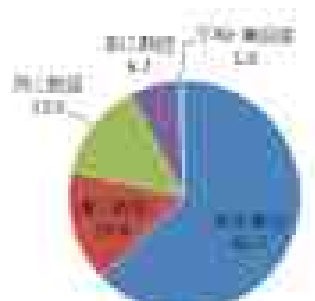


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆路線バスの運行本数意向は、朝が10分に1本、昼は20分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。

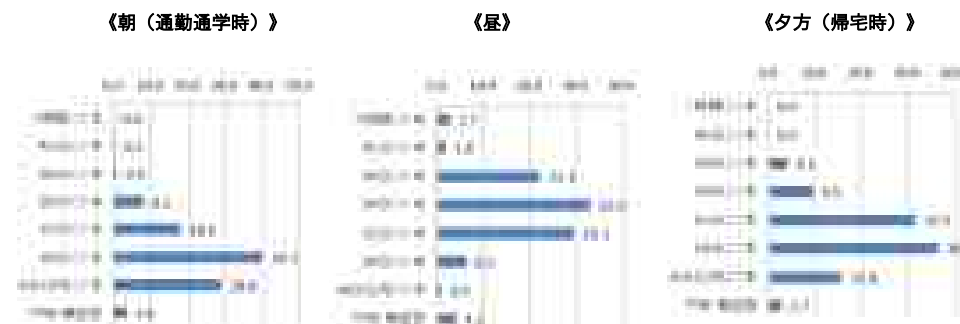


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）箕面船場駅勢圏（（仮称）箕面船場駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：船場東1～3、船場西1～3、萱野5、稲5～6
- ◆公共交通機関
鉄道：現況 なし
将来 北大阪急行線（（仮称）箕面船場駅）
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
- ◆アンケート回答数：109件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆性別は、男性が約49%、女性が約51%と、ほぼ半々である。

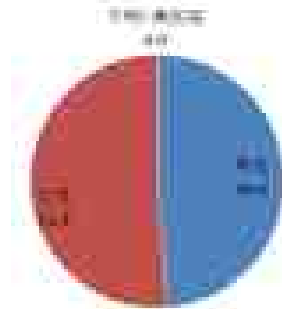


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆60歳代が約25%が最も多く、70歳代が約20%、50歳代が約19%、40歳代が約17%である。

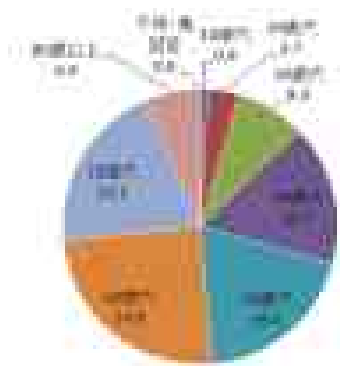


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約46%、無職と専業主婦（夫）が共に約17%、アルバイト・パートが約13%である。

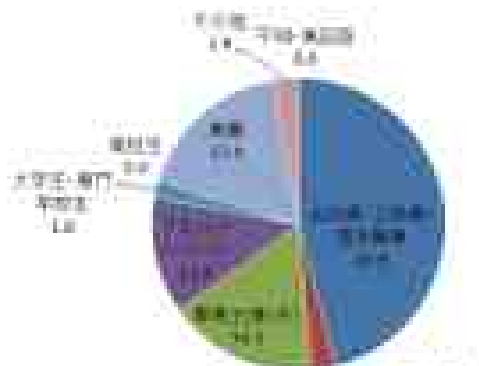


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約79%、箕面（駅）が約16%である。

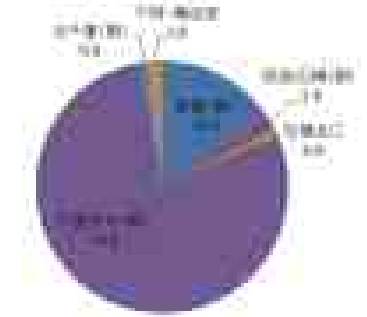


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約51%と半数を占め、レジャー・趣味・ショッピングが約20と続く。

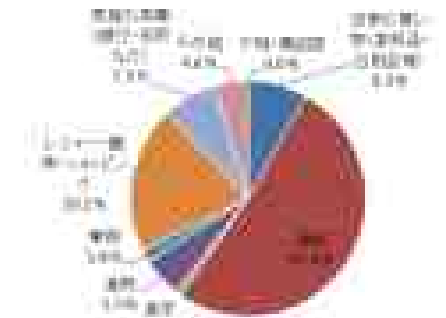


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約57%、集に数回が約25%、月に数回が約17%で、この3回答でほとんどを占める。



図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約20%、やや満足が約46%で、合計約66%が満足と回答している。

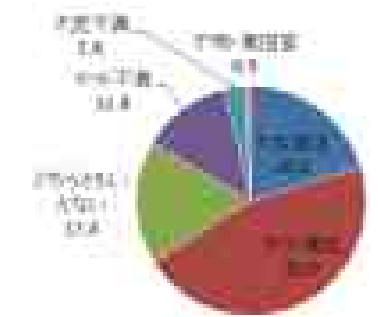


図 路線バスの満足度

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆始発が遅い・終発が早い
35件で最も多く、次いで時刻表どおりに運行されないが28件、利用したい時間に運行していないと、特に不満はないが共に21件である。

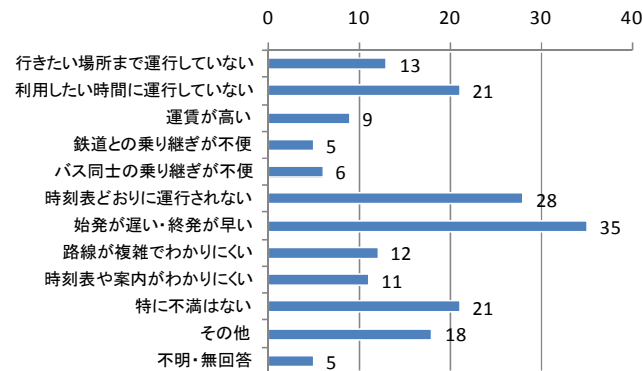


図 路線バスの不満点（複数回答 n=184）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約82%、バス路線があれば利用するが約9%、あわせて約90%と大半が利用すると回答している。



図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、（仮称）箕面船場駅の利用意向が約98%とほとんどを占める。

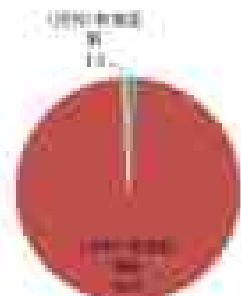


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆徒歩が約90%と大半を占める。

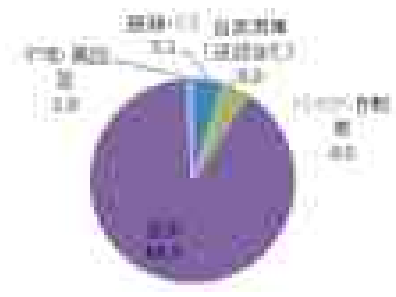


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約63%で約3分の2を占め、週に数回が約16%、月に数回が約14%である。

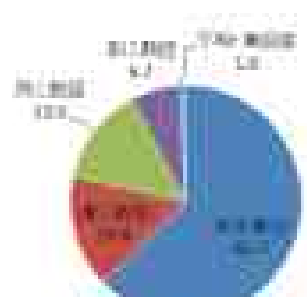


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆路線バスの運行本数意向は、朝が10分に1本、昼は20分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。

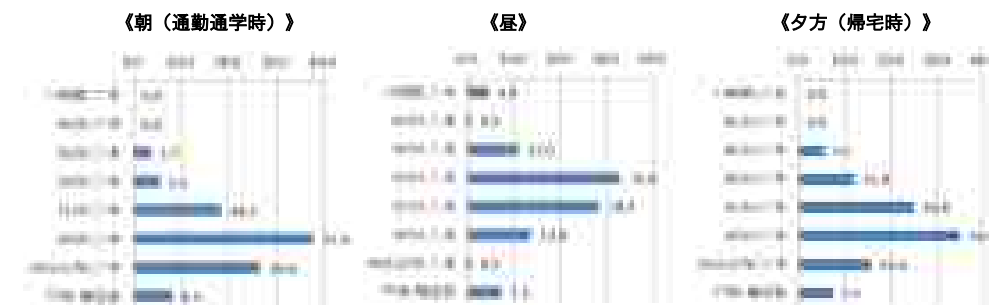
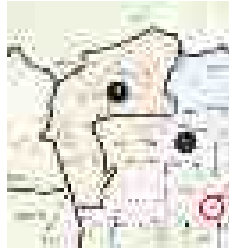


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、北西部の如意谷地域のゾーン
- ◆町丁目：如意谷1、如意谷3～5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
- ◆アンケート回答数：172件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆性別は、男性が約42%、女性が約58%である。

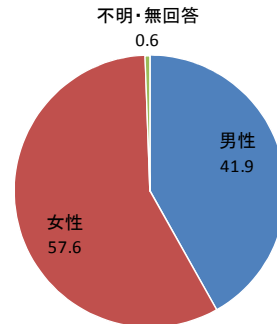


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆50歳代、60歳代、70歳代がいずれも約20%、40歳代が約17%、10～30歳代が13%である。

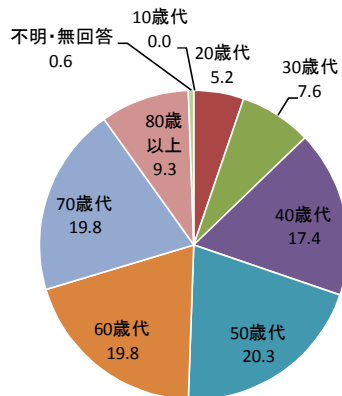


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約48%、無職が約22%、専業主婦（夫）が約15%、アルバイト・パートが約13%である。

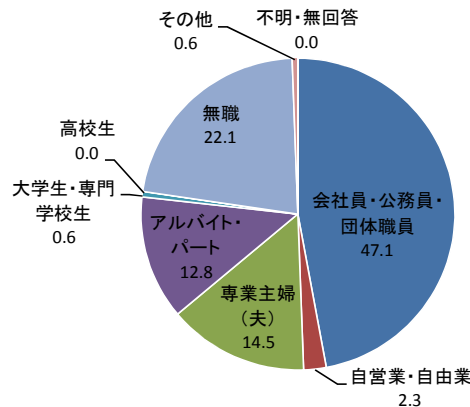


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約82%、箕面（駅）が約12%である。

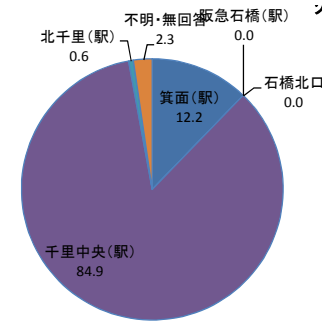


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約55%で最も高く、レジャー・趣味・ショッピングが約15%、日常の買い物が約13%である。

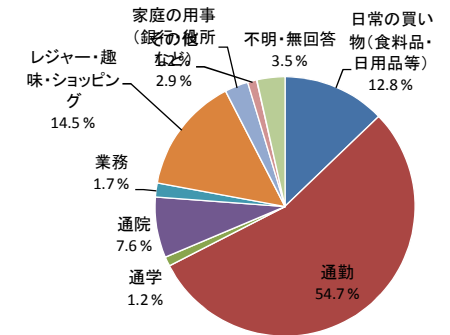


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約68%、週に数回が約25%、月に数回が約5%で、この3回答でほとんどを占める。

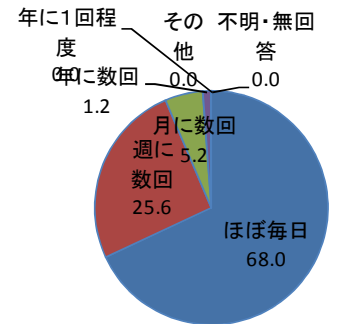


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約12%、やや満足が約47%で、合計約58%が満足と回答している。

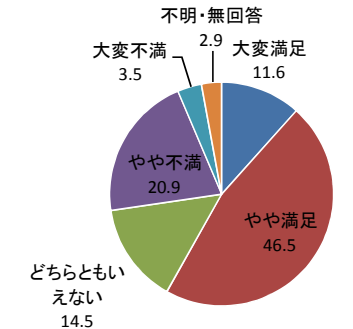


図 路線バスの満足度

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆利用したい時間に運行していないが80件と最も多く、次いで始発が遅い・終発が早いのが68件と最も多く、この2つが突出して多い。

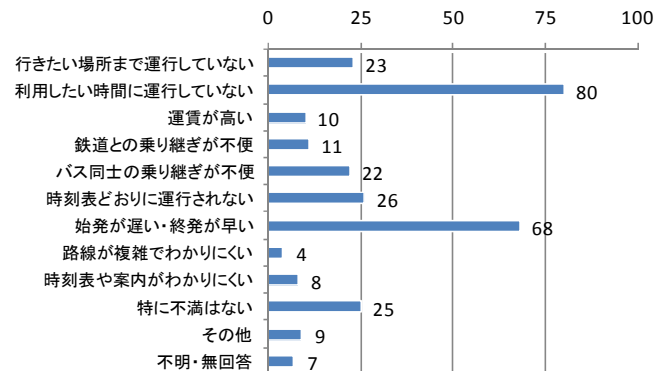


図 路線バスの不満点（複数回答 n=293）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約67%、バス路線があれば利用するが約22%と、あわせて約88%が利用すると回答している。

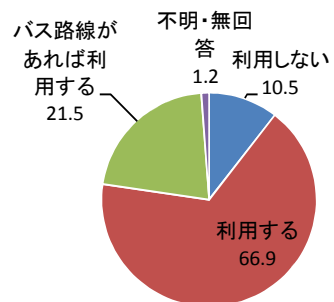


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約95%とほとんどを占める。

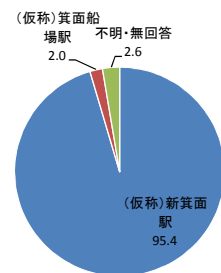


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆路線バスが約74%と多く、次いで徒歩が約16%、バイク、自転車は5%である。

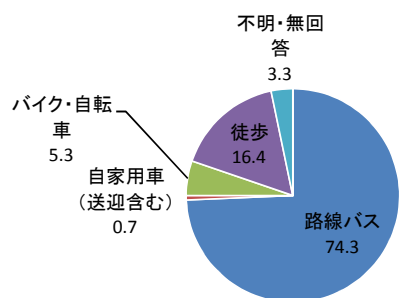


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約49%で最も多く、週に数回が約26%、月に数回が約19%である。

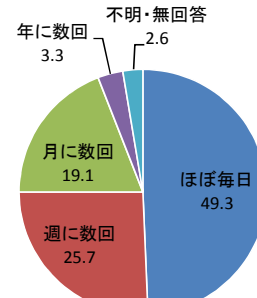


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が15分に1本、昼は30分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。

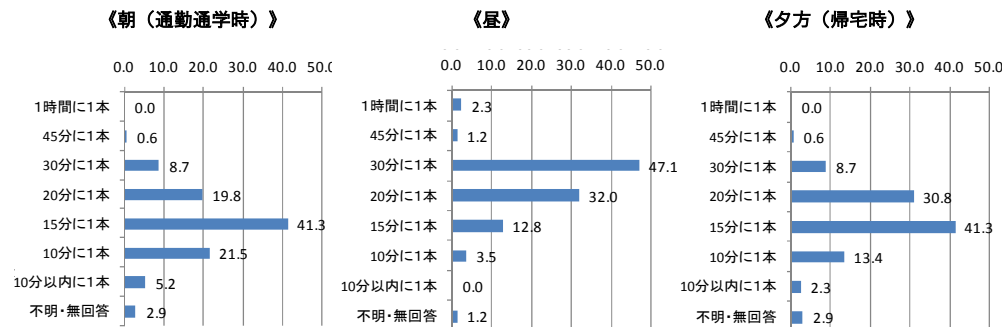


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、西部の（仮称）新箕面駅、箕面駅、牧落駅の間ゾーン
- ◆町丁目：坊島1、箕面4、稲1～4、牧落4
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：74件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約39%、女性が約61%である。

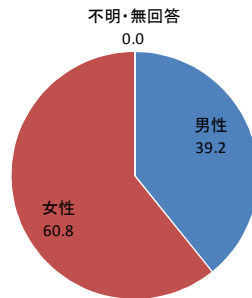


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆60歳代が約34%、50歳代が約23%、70歳代と80歳以上があわせて約22%である。

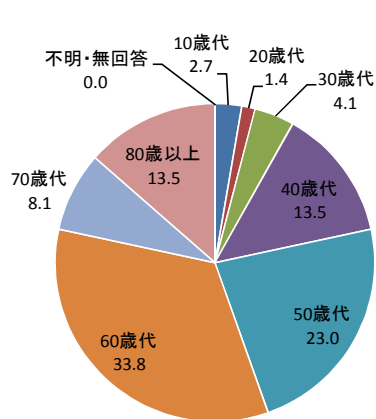


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約46%、無職が約26%、アルバイト・パートが約13%である。

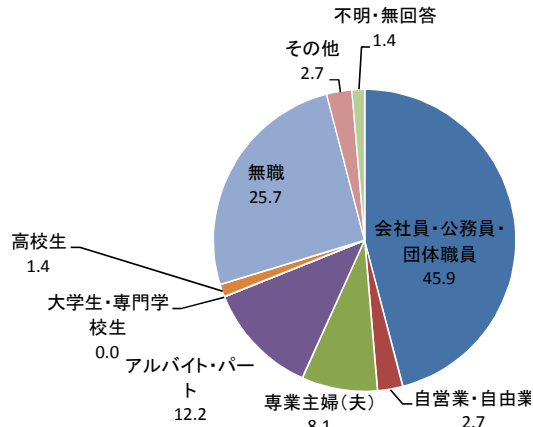


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約70%、阪急石橋（駅）が約18%、箕面（駅）が約8%である。

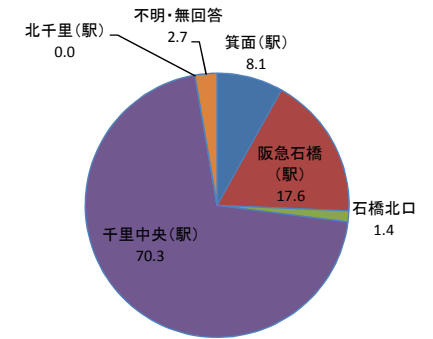


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約55%で最も高く、レジャー・趣味・ショッピングが約16%、通院が約14%である。

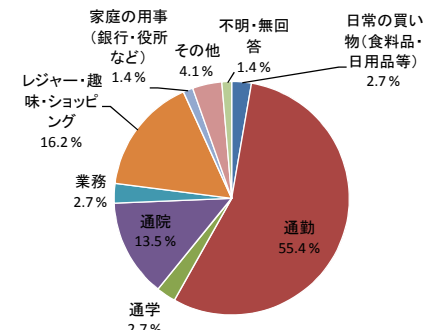


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約58%、週に数回が約20%、月に数回が約18%、年に数回が約4%、ほとんどを占める。

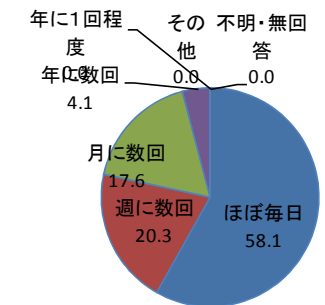


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約24%、やや満足が約42%で、合計約66%が満足と回答している。

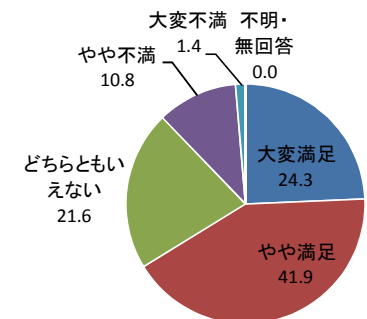


図 路線バスの満足度

◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆始発が遅い・終発が早い
25件、時刻表どおりに運行
されないが23件と多く、特
に不満はないも18件で3番
目に多い。

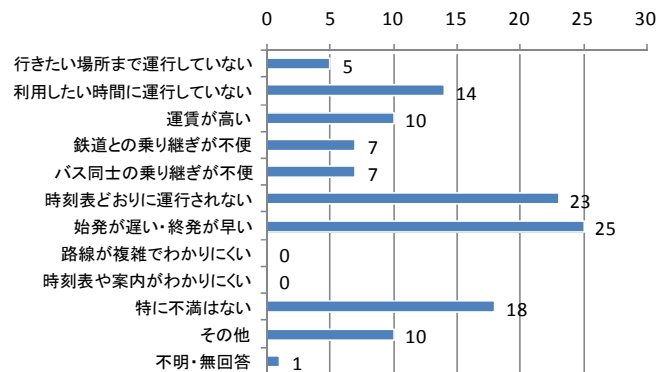


図 路線バスの不満点（複数回答 n=120）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約49%、バス路線があれば
利用するが30%と、あわせて約79%が
利用すると回答している。

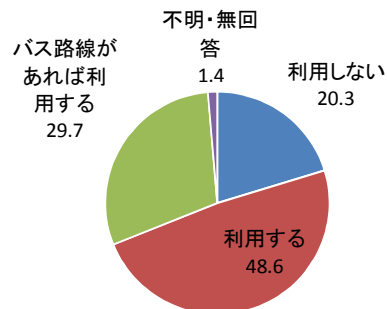


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約95%とほとんどを占める。

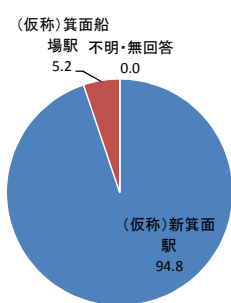


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆路線バスが約62%と多く、次いでバイク、
自転車、徒歩が約17%である。

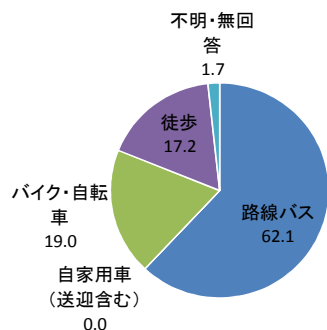


図 新駅までの交通手段

Ⅳ．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約36%で最も多く、月に数回
が約26%、週に数回が約21%、年に数回が
約14%である。

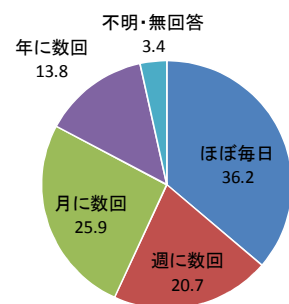


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が15分に1本、昼は15分に1本、20分に1本、と30分に1本がほぼ同程度に多く、夕方は15分に1本が最も多い。

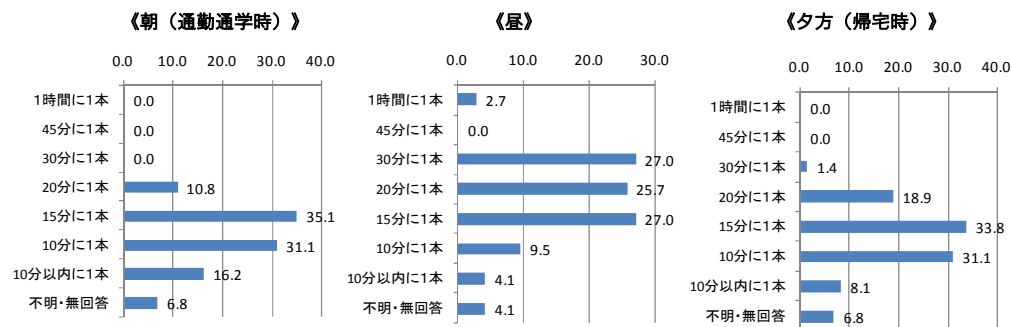


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない北東部ゾーン
- ◆町丁目：石丸1～3、外院1～3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線小野原経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：123件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約41%、女性が約59%である。

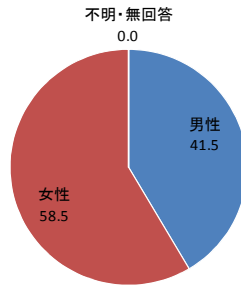


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆50歳代が約24%、40歳代が約20%、60歳代が約16%、30歳代が約13%、70歳代が約11%、20歳代が約10%と各年齢層に分散している。

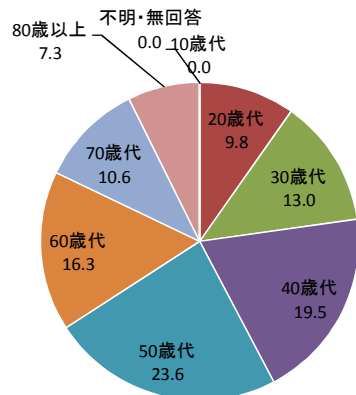


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約57%と過半数を占め、無職が約14%、専業主婦（夫）が約11%である。

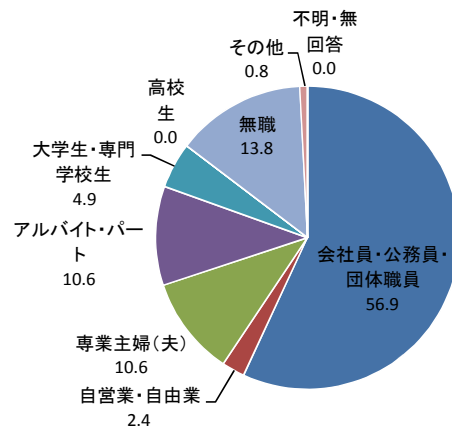


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約74%、箕面（駅）が約17%、北千里（駅）が約7%である。

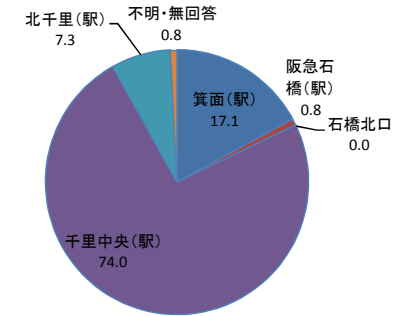


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約60%と過半数を占め、レジャー・趣味・ショッピングが約15%、家庭の用事が約10%、日常の買い物（食料品・日用品等）が約7%である。

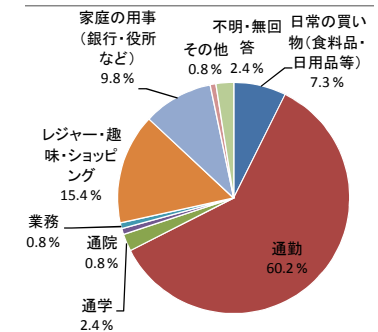


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約63%、週に数回が約21%、月に数回が約14%、年に1回程度が約1%、その他が約1%である。

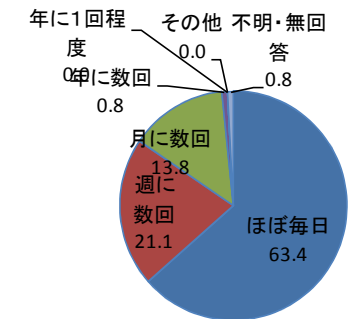


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約6%、やや満足が約31%で、合計約37%が満足と回答している。また大変不満が約10%、やや不満が約31%で、合計41%が不満と回答しており、満足回答を上回っている。

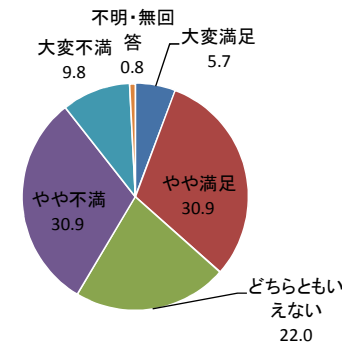


図 路線バスの満足度

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

- ◆利用したい時間に運行していないが76件、始発が遅い・終発が早いが62件と、この2つが突出して多い。

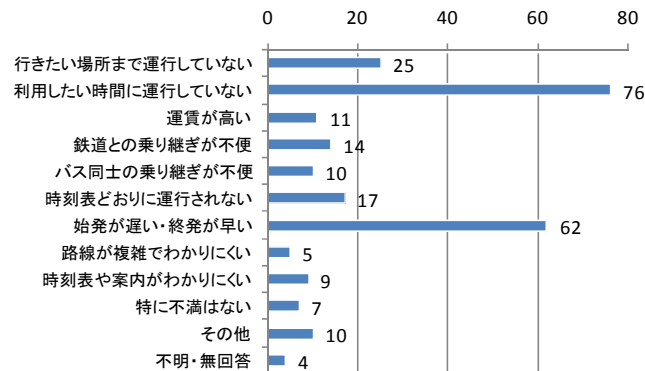


図 路線バスの不満点（複数回答 n=250）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆利用するが約77%、バス路線があれば利用するが約13%と、あわせて約90%が利用すると回答している。

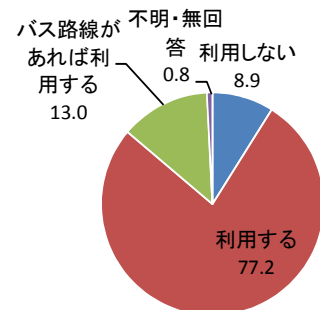


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向がある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約98%とほとんどを占める。

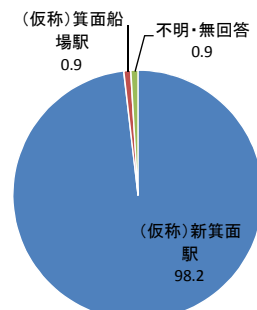


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆新駅までの交通手段は、路線バスが約60%と多く、次いで徒歩が約24%、バイク、自転車が約13%である。

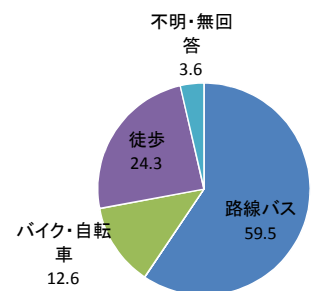


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約55%で最も多く、週に数回が約23%、月に数回が約16%である。

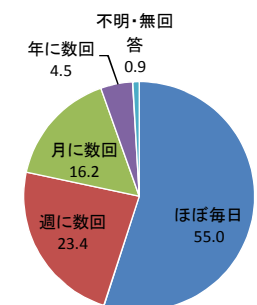


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆朝が10分に1本、昼は30分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。

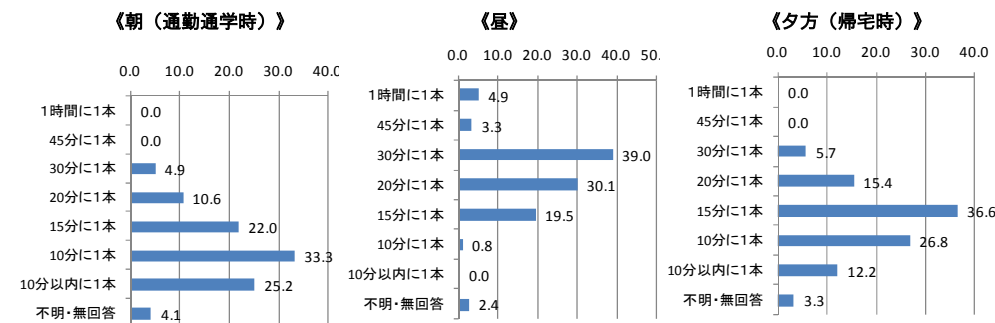


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：％）

◇ゾーン10：栗生団地バスターミナル周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆栗生団地バスターミナル周辺で、箕面山麓線沿いのゾーン
- ◆町丁目：栗生外院2～3、栗生外院5～6、栗生間谷西2～7
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線阪大口経由（千里中央～栗生団地）
- ◆アンケート回答数：270件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約40%、女性が約59%である。

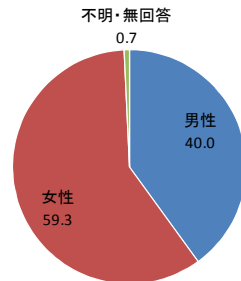


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆60歳代が約19%、70歳代が約18%、40歳代が約17%、50歳代が約16%、30歳代が約11%、80歳以上が約8%と各年齢層に分散している。

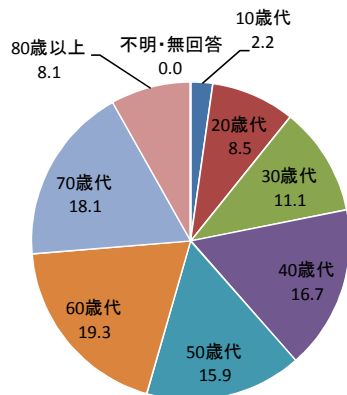


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約46%、無職が約17%、アルバイト・パートが約15%、専業主婦（夫）が約13%である。

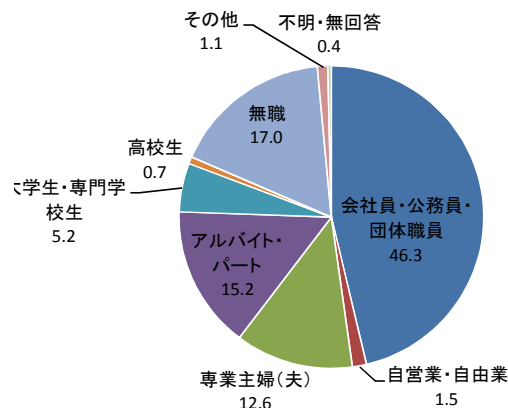


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約66%、北千里駅が約21%、箕面（駅）が約8%である。

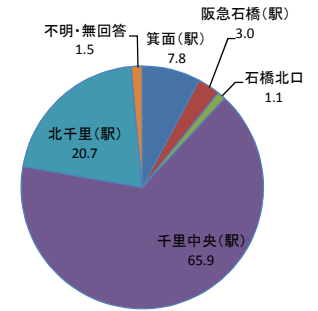


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約56%と過半数を占め、レジャー・趣味・ショッピングが約18%、日常の買い物（食料品・日用品等）が約8%である。

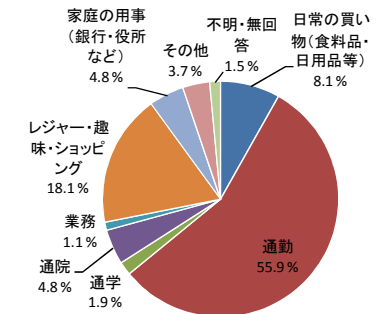


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約67%、週に数回が約22%、月に数回が約10%で、この3回答でほとんどを占める。

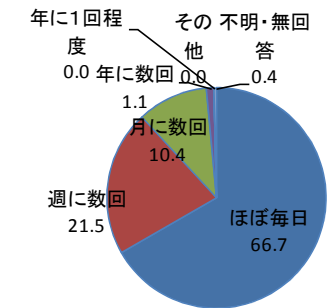


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約13%、やや満足が約46%で、合計約59%が満足と回答している。

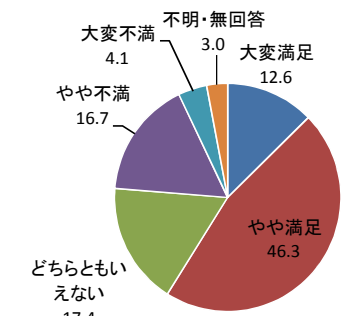
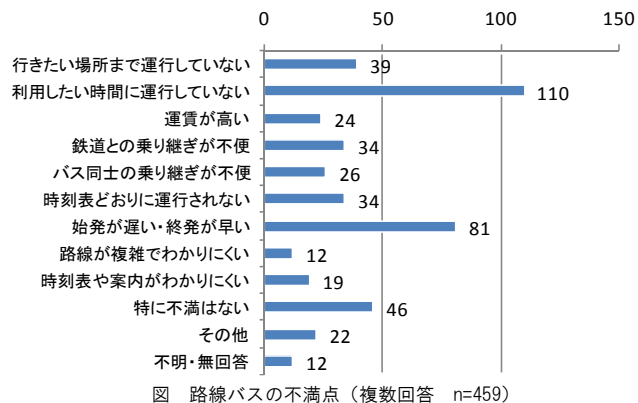


図 路線バスの満足度

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

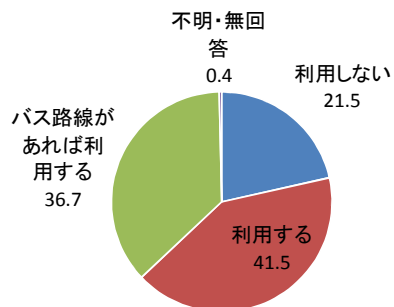
◆利用したい時間に運行していないが110件、始発が遅い・終発が早いと81件と、この2つが突出して多い。特に不満はないも46件で3番目に多い。



④北大阪急行延伸後の交通行動

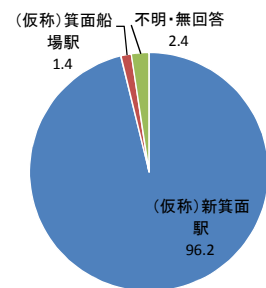
④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約42%、バス路線があれば利用するが37%と、あわせて約69%が利用すると回答している。



④－１．主に利用する新駅

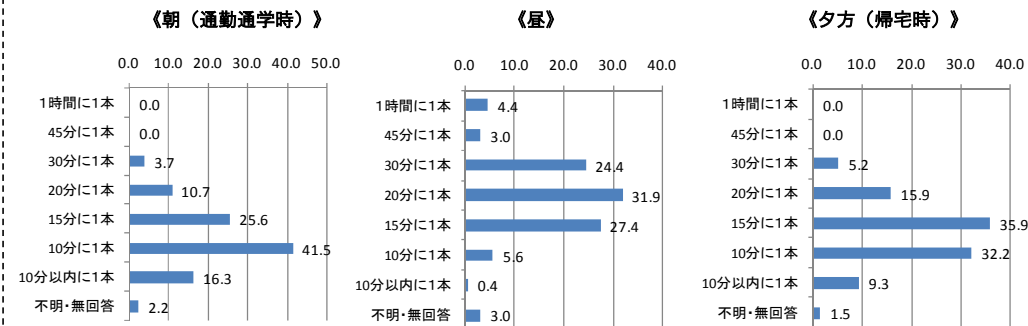
◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約96%とほとんどを占める。



⑤バス路線再編の意向

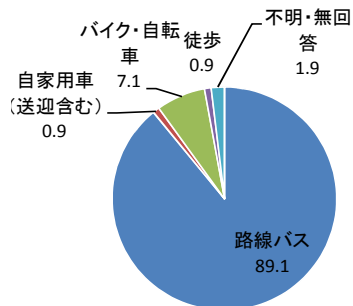
⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が10分に1本、昼は20分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。



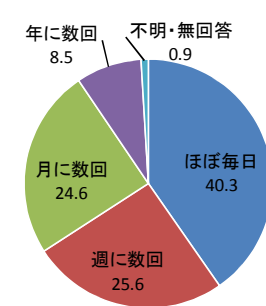
④－３．新駅までの交通手段

◆新駅までの交通手段は、路線バスが約89%と大半を占め、次いでバイク、自転車、徒歩が7%である。



④－４．延伸区間の利用頻度

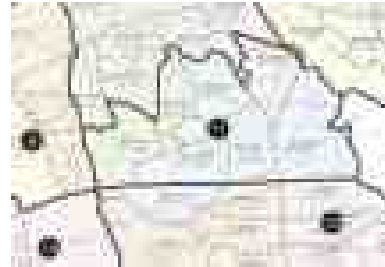
◆ほぼ毎日が約40%で最も多く、週に数回が約26%、月に数回が約25%である。



◇ゾーン11：栗生外院・栗生新家（栗生団地南、R171号以北）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆栗生外院・栗生新家周辺で、R171号以北のゾーン
- ◆町丁目：栗生外院1、栗生外院4、栗生新家2～5、栗生間谷西1
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線阪大口経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：252件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約48%、女性が約52%である。

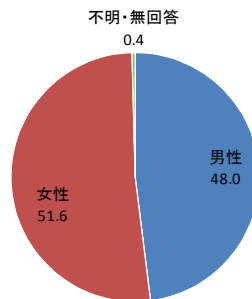


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆60歳代が約25%、70歳代が約21%、50歳代が約18%、40歳代が約12%、20～30歳代が約17%と各年齢層に分散している。

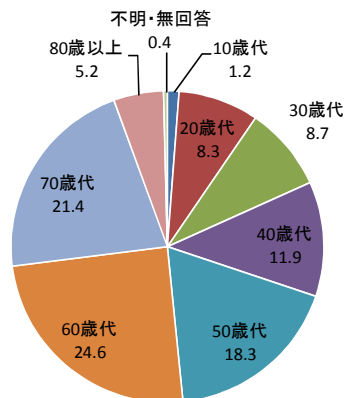


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約43%、無職が約17%、専業主婦（夫）が約12%である。

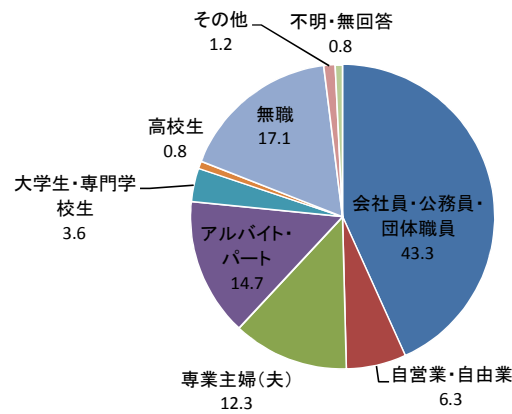


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約62%、北千里（駅）が約29%である。

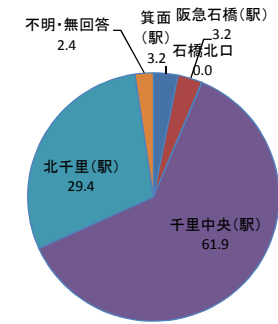


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約56%で過半数を占め、レジャー・趣味・ショッピングが約18%、通院が5%である。

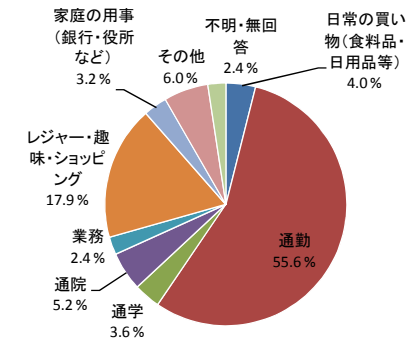


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約58%、週に数回が約29%、月に数回が約11%、年に数回が約1%、年に1回程度が約0.4%、不明・無回答が約0.8%である。

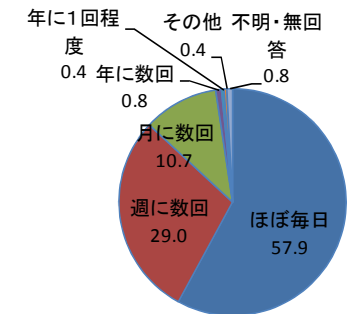


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆路線バスの満足度は、大変満足が約17%、やや満足が約48%で、合計約65%が満足と回答している。

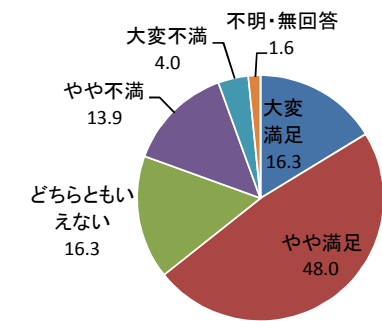


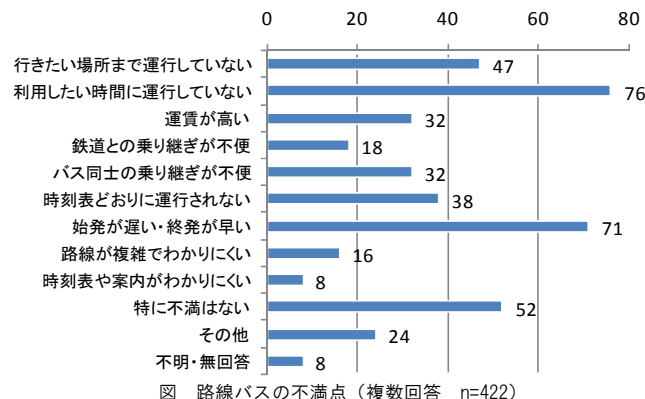
図 路線バスの満足度

◇ゾーン11：粟生外院・粟生新家（粟生団地南、R171号以北）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

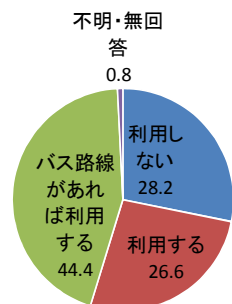
◆利用したい時間に運行していないが76件、始発が遅い・終発が早いと、この2つが突出して多い。特に不満はないも52件で3番目に多い。



④北大阪急行延伸後の交通行動

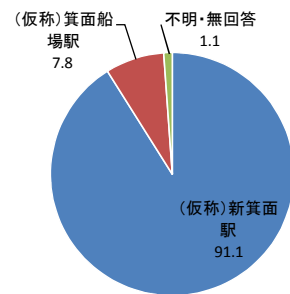
④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約27%、バス路線があれば利用するが44%と、あわせて約71%が利用すると回答している。



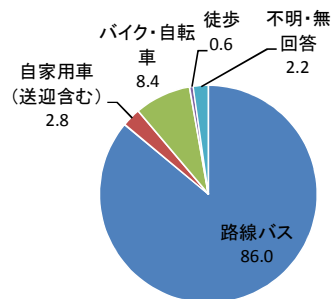
④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約91%と大半を占める。



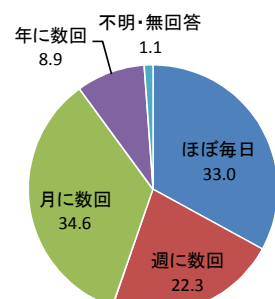
④－３．新駅までの交通手段

◆新駅までの交通手段は、路線バスが約86%と多く、次いでバイク、自転車が8%である。



④－４．延伸区間の利用頻度

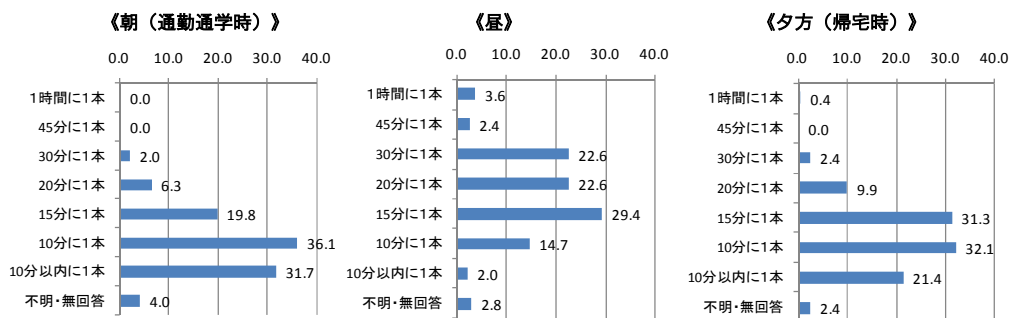
◆月に数回が約35%で最も多く、ほぼ毎日が僅かに少ない約33%で続く。週に数回が約22%である。



⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が10分に1本、昼は15分に1本が多く、夕方は10分に1本と15分に1本がほぼ同程度で多い。



◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆間谷住宅周辺で、勾配の大きいゾーン
- ◆町丁目：栗生間谷東1～8、彩都栗生南1～3
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
- ◆アンケート回答数：92件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約45%、女性が約53%である。

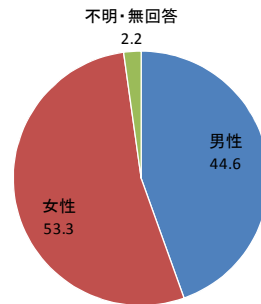


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆50歳代が約22%、70歳代が約16%、60歳代が約15%、20歳代が約12%、40歳代が約12%と各年齢層に分散している。

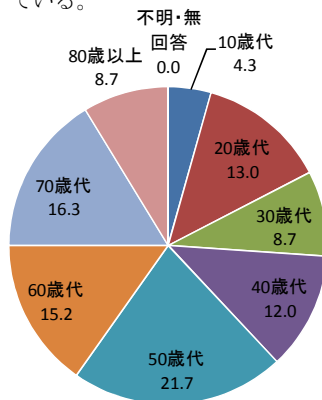


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約38%、無職が約20%、大学生・専門学校生が約14%、専業主婦（夫）が約13%である。

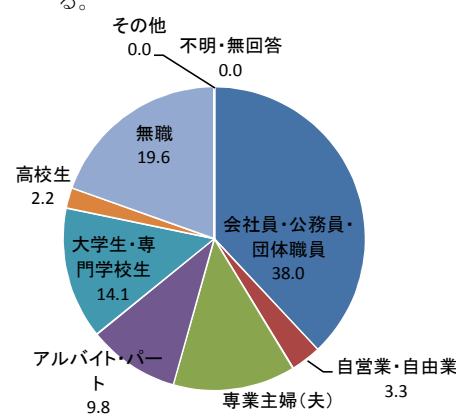


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約53%、北千里（駅）が約28%、箕面（駅）が約15%である。

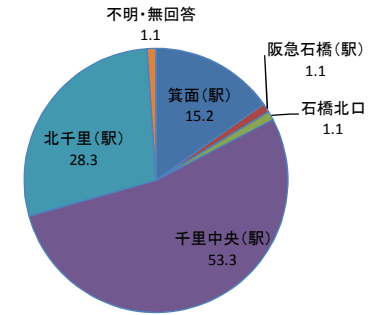


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約45%が通勤で最も高く、レジャー・趣味・ショッピングが約22%、家庭の用事が約9%である。

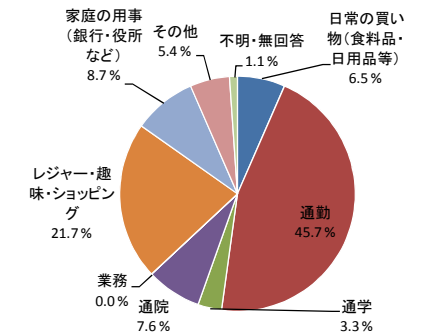


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約54%、週に数回が約29%、月に数回が約16%で、この3回答で全てを占める。

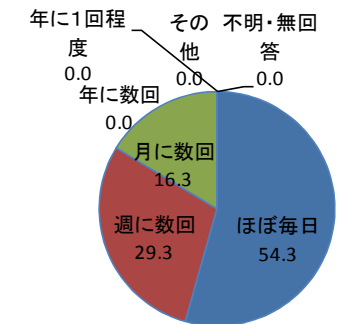


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約7%、やや満足が約54%で、合計約61%が満足と回答している。

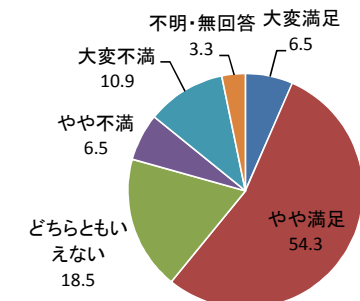


図 路線バスの満足度

◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆利用したい時間に運行していないが51件で突出して多く、次いで始発が遅い・終発が早い29件、行きたい場所まで運行していないが20件と多い。

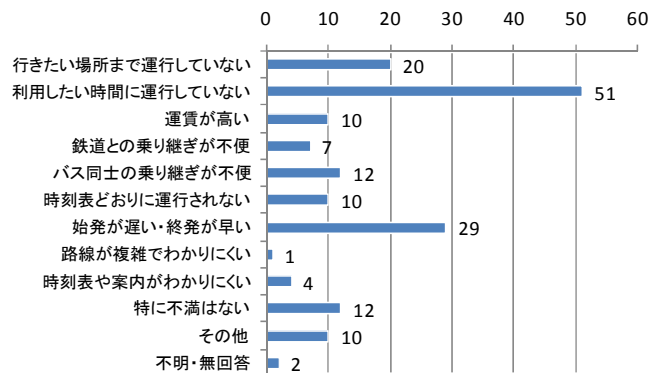


図 路線バスの不満点（複数回答 n=168）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約21%、バス路線があれば利用するが61%と、あわせて82%が利用すると回答している。

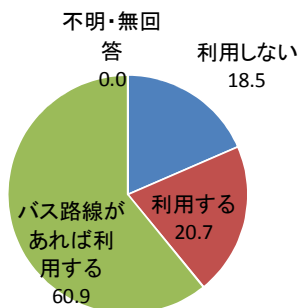


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約93%と大半を占める。

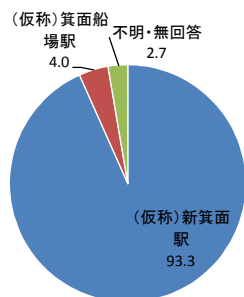


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆路線バスが約88%と多く、次いで自家用車とバイク、自転車、徒歩が共に約4%である。

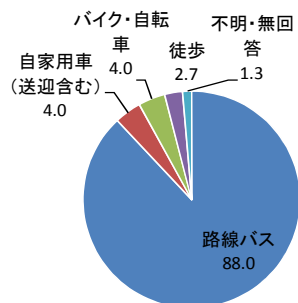


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日と月に数回が共に約32%で最も多く、週に数回が約24%である。

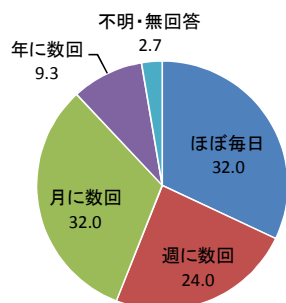


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が15分に1本、昼は20分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。

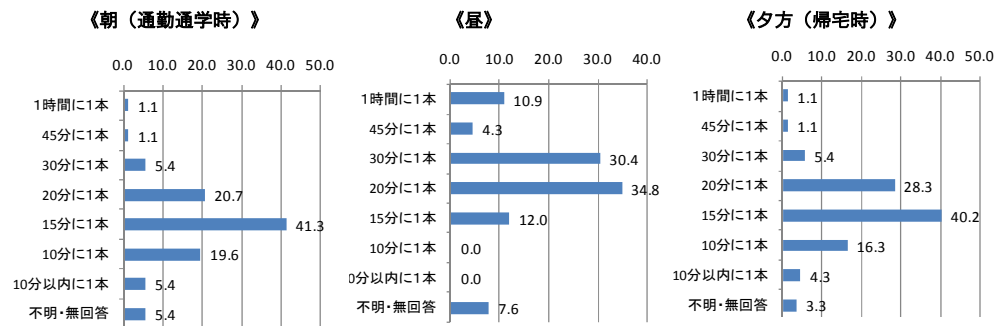
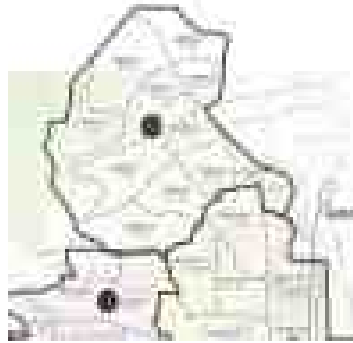


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

①ゾーン概要

- ◆彩都地域のゾーン
- ◆町丁目：彩都栗生南4～7、彩都栗生北1～7
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
- ◆アンケート回答数：16件



②基礎情報

②－１．性別

- ◆男性が約56%、女性が約44%である。

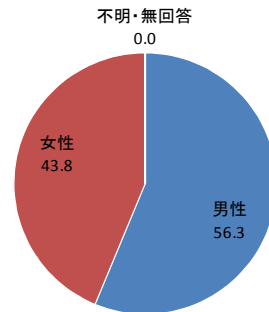


図 回答者の性別

②－２．年代

- ◆年代は、30歳代が約44%、40歳代が約31%とこの世代に集中している。

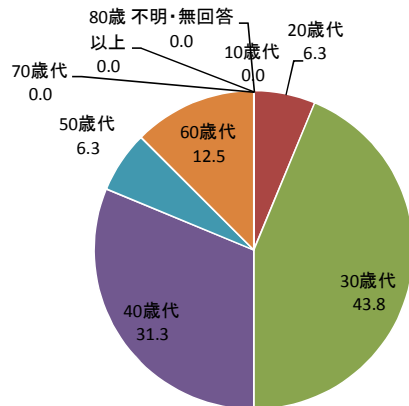


図 回答者の年代

②－３．職業

- ◆職業は、会社員、公務員、団体職員が約56%、専業主婦（夫）とアルバイト・パートが共に約19%である。

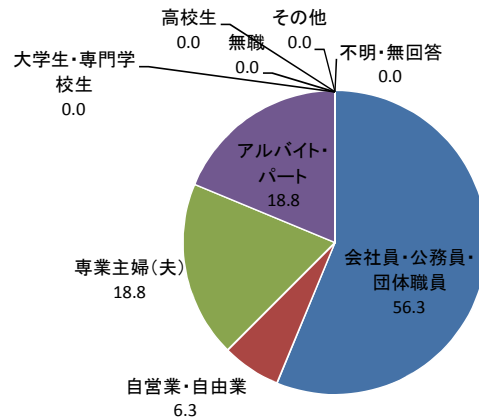


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③－１．調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約94%、北千里（駅）が約6%である。

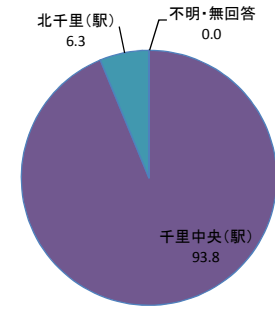


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③－２．移動の目的

- ◆通勤が約50%で最も多く、レジャー・趣味・ショッピングが約25%、家庭の用事が約19%である。

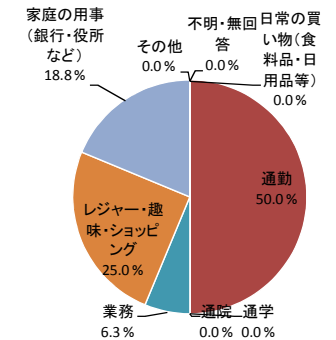


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③－３．普段の路線バスの利用頻度

- ◆週に数回が約50%、ほぼ毎日が約38%、月に数回が約12%で、この3回答で全てを占める。

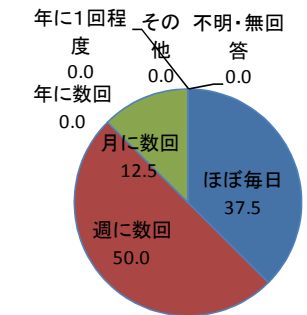


図 普段の路線バスの利用頻度

③－４．路線バスの満足度

- ◆大変不満が約6%、やや不満が約50%と、合計約56%が不満と回答しており、満足意見を大きく上回っている。

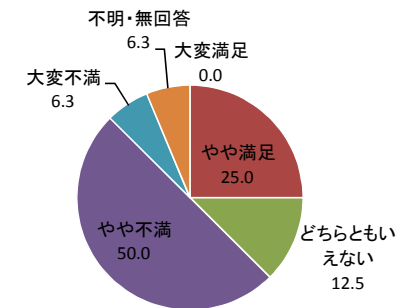


図 路線バスの満足度

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

- ◆利用したい時間に運行していないが12件、始発が遅い・終発が早いが7件、運賃が高いが4件となっている。

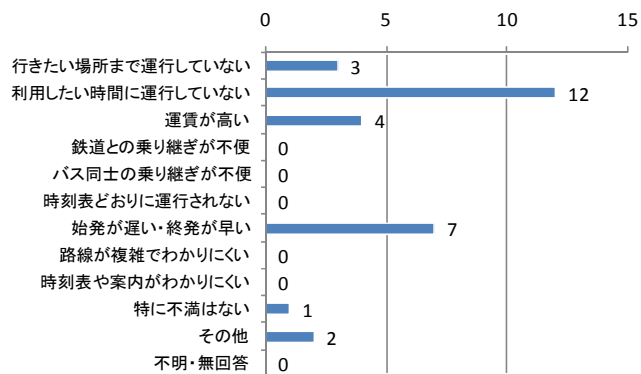


図 路線バスの不満点（複数回答 n=29）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆利用するが約69%、バス路線があれば利用するが約25%と、あわせて約94%が利用すると回答しており、利用しないは0である。

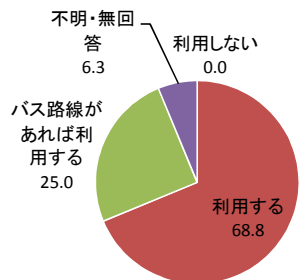


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向がある人の全てが、(仮称)新箕面駅と回答している。

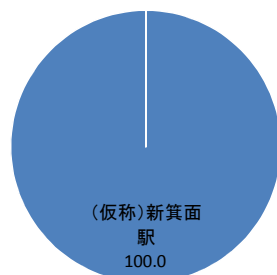


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆全てが路線バスと回答している。

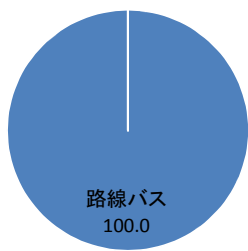


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約60%で最も多く、週に数回が約20%、月に数回が約13%である。

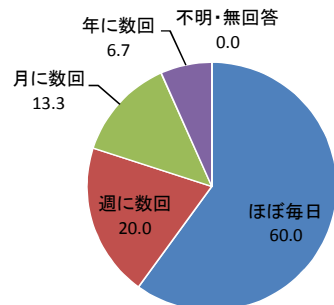


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆朝が15分に1本、昼は30分に1本、夕方は15分に1本が最も多い。

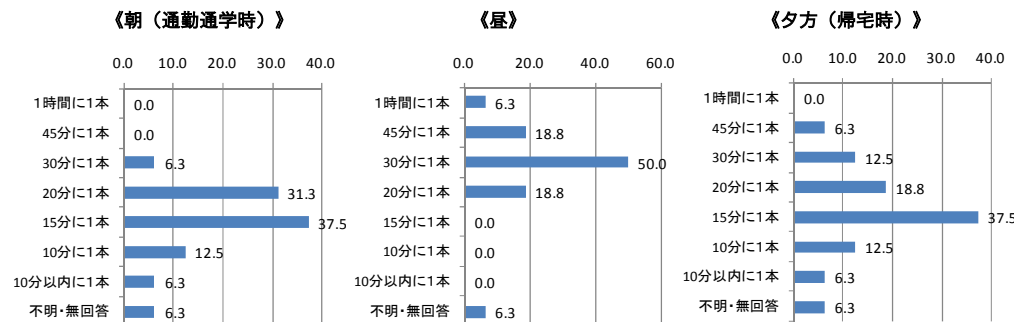


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆今宮周辺のゾーン
- ◆町丁目：今宮1～4、西宿3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
 - 粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
 - 粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
 - 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：86件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約45%、女性が約54%である。

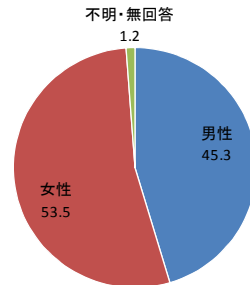


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆40歳代が約31%、50歳代が約20%、30歳代と60歳代が共に14%、70歳代が約11%と、若年層以外各年齢層に分散している。

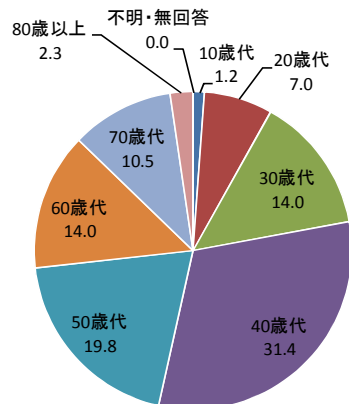


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆会社員、公務員、団体職員が約62%と過半数を占め、アルバイト・パートが約12%、専業主婦（夫）と無職が共に約7%である。

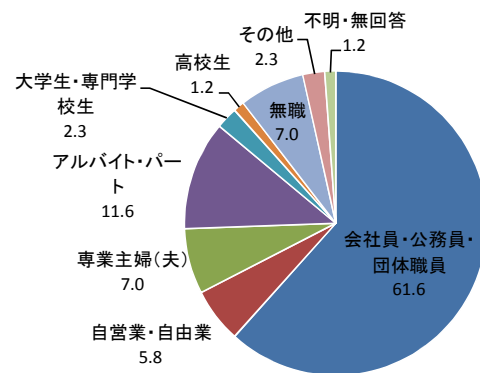


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約57%、北千里（駅）が約36%、阪急石橋（駅）が約5%である。

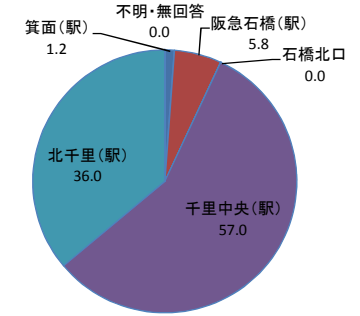


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約70%と多くを占め、レジャー・趣味・ショッピングが約14%、その他の目的は僅かずつである。

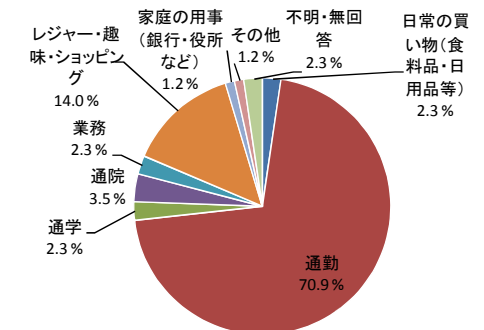


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約67%、月に数回が約14%、週に数回が約13%で、この3回答でほとんどを占める。

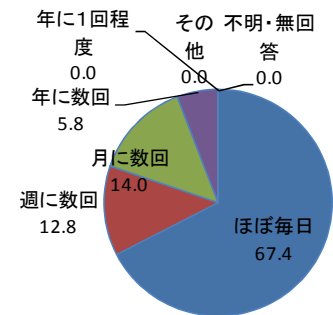


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約12%、やや満足が約52%で、合計約64%が満足と回答している。

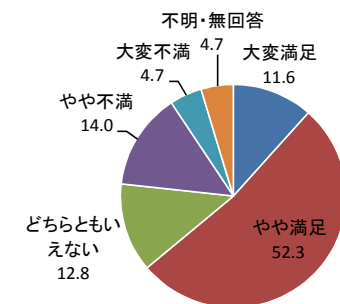


図 路線バスの満足度

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－１．路線バスの不満点

◆利用したい時間に運行していないが33件で最も多く、次いで始発が遅い・終発が早い27件、時刻表どおりに運行されないが21件と続く。特に不満はないも15件で4番目に多い。

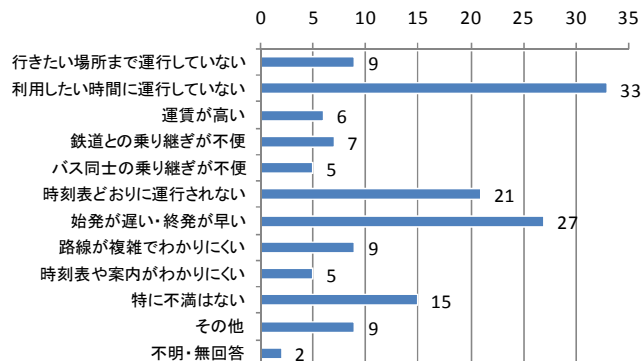


図 路線バスの不満点（複数回答 n=148）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約55%、バス路線があれば利用するが27%と、あわせて82%が利用すると回答している。

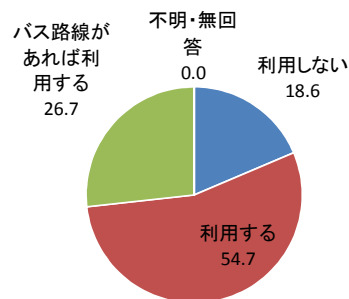


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約56%、(仮称)箕面船場駅が41%と、ほぼ2分されている。

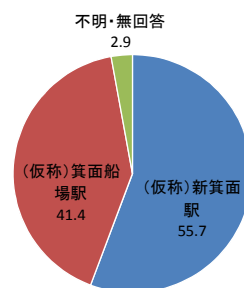


図 主に利用する新駅

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が10分に1本、昼は15分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。

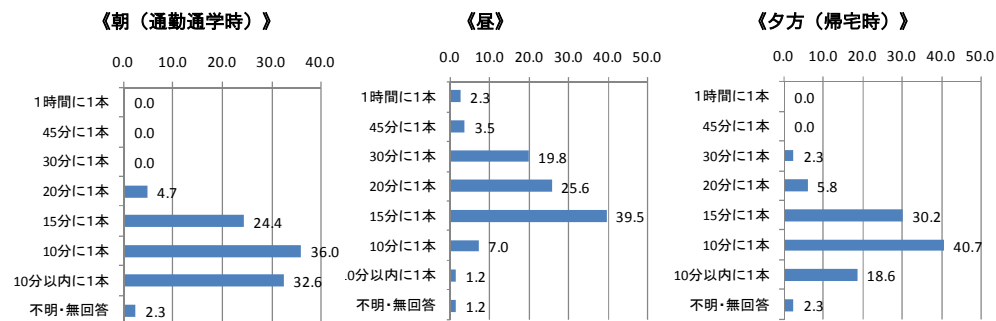


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

④－３．新駅までの交通手段

◆徒歩が約50%と多く、次いで路線バスが約27%、バイク、自転車が19%である。

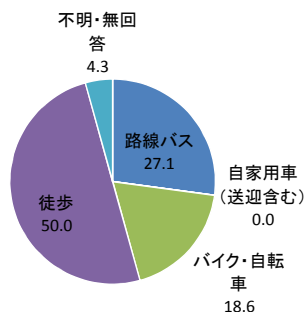


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約56%で最も多く、月に数回が約24%、週に数回が約9%である。

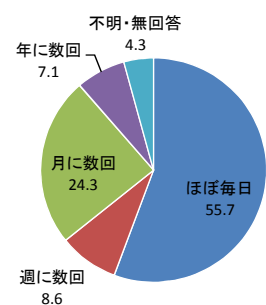


図 延伸区間の利用頻度

◇ゾーン15：小野原ゾーン

①ゾーン概要

- ◆小野原地域のゾーン
- ◆町丁目：粟生新家1、小野原西1～6、小野原東1～6
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
小野原東線（千里中央～豊川駅）
- ◆アンケート回答数：327件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約52%、女性が約47%である。

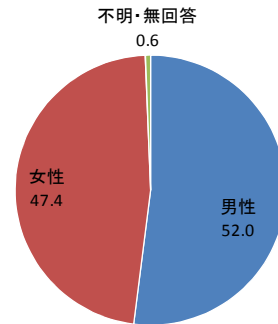


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆50歳代が約23%、40歳代が約19%、60歳代が約18%、30歳代が約13%、20歳代が約11%と各年齢層に分散している。

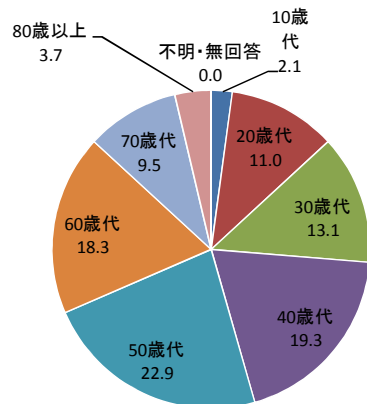


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆職業は、会社員、公務員、団体職員が約60%、アルバイト・パートが約13%、専業主婦（夫）約8%である。

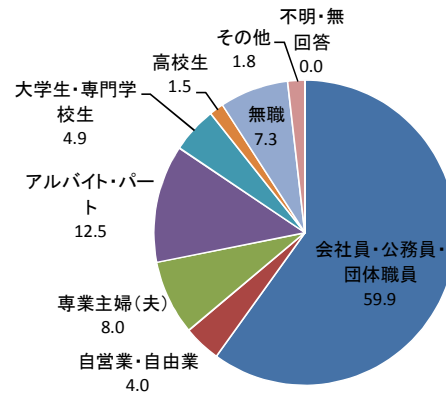


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約49%、北千里（駅）が約47%とほぼ2分される。

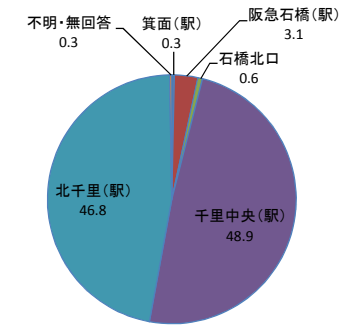


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約69%と多くを占め、レジャー・趣味・ショッピングが約13%、他の目的はいずれも僅かずつである。

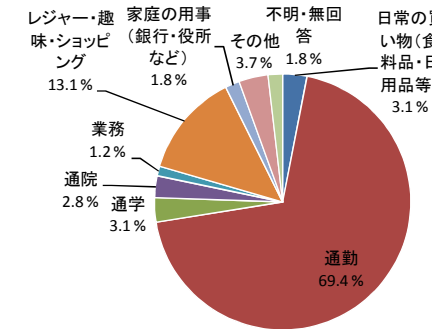


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約71%、週に数回が約19%、月に数回が約8%で、この3回答でほとんどを占める。

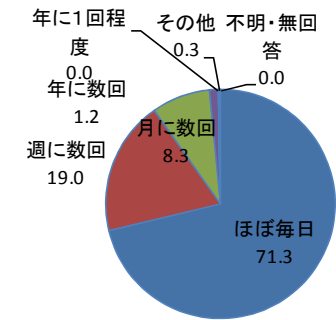


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約11%、やや満足が約51%で、合計約62%が満足と回答している。

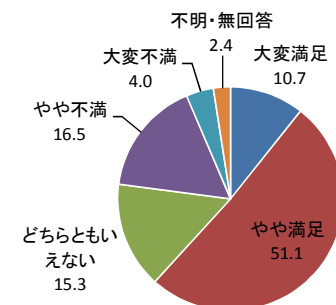


図 路線バスの満足度

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆利用したい時間に運行していないが126件、始発が遅い・終発が早い122件と、この2つが突出して多い。次いで鉄道との乗り継ぎが不便が62件で3番目に多く、特に不満はないが50件で4番目に多い。

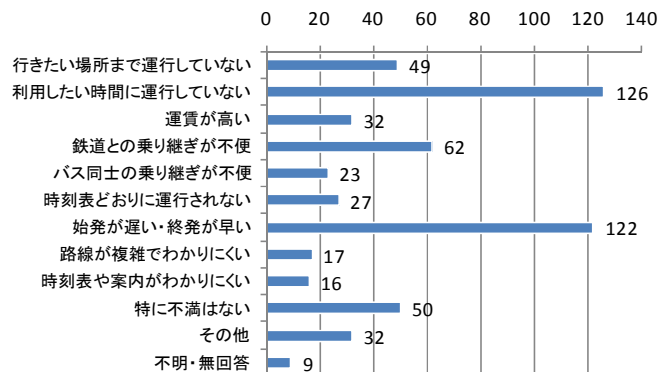


図 路線バスの不満点（複数回答 n=565）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約16%、バス路線があれば利用するが約37%と、あわせて約53%が利用すると回答している一方、利用しないも46%ある。

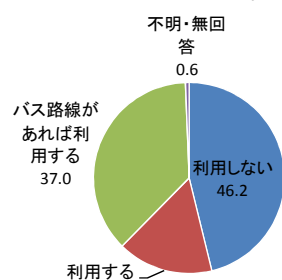


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)箕面船場駅が約51%で、(仮称)新箕面駅約46%を上回っている。

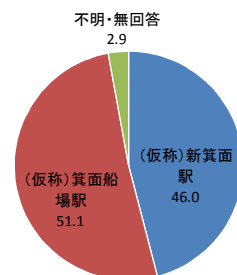


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆路線バスが約73%と多く、次いで自家用車とバイク、自転車と共に約11%である。

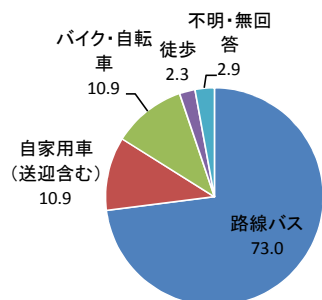


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆月に数回が約36%で最も多く、ほぼ毎日が約32%で続く。ほかは週に数回が約16%、年に数回が約15%である。

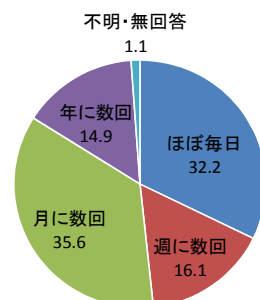


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝は10分以内に1本、昼は20分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。

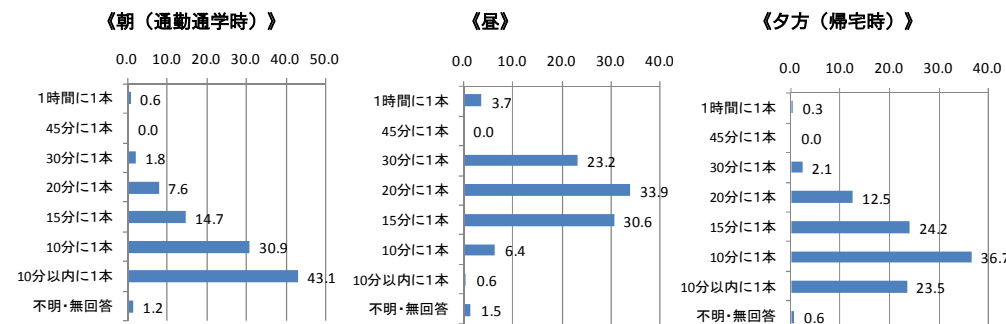


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

◇ゾーン16：北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆北部地域（箕面森町、止々呂美地域）のゾーン
- ◆町丁目：上止々呂美、下止々呂美、森町中、森町北、森町南、森町西
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
- ◆アンケート回答数：156件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆男性が約66%、女性が約34%である。

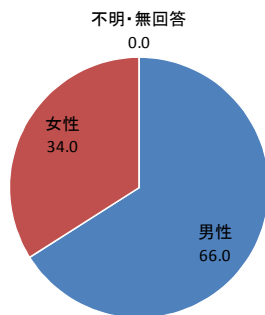


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆30歳代が約42%、40歳代が約26%とこの世代に集中している。

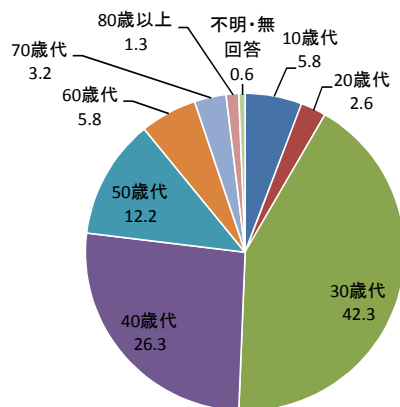


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆職業は、会社員、公務員、団体職員が約74%、アルバイト・パートが約9%、専業主婦（夫）と高校生が共に約5%である。

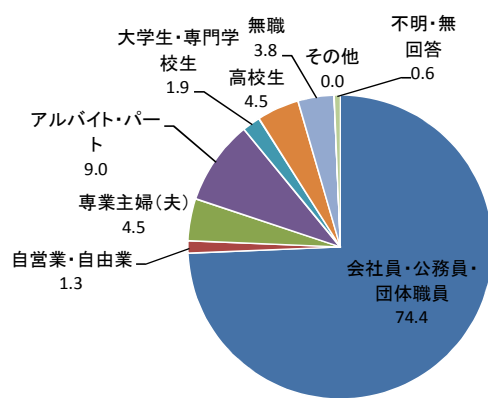


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 調査票を受け取った（乗車した）バス停

- ◆千里中央（駅）が約96%、箕面（駅）が約3%である。

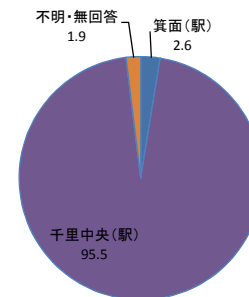


図 調査票を受け取った（乗車した）バス停

③-2. 移動の目的

- ◆通勤が約81と大半を占め、次いで通学が約6%である。

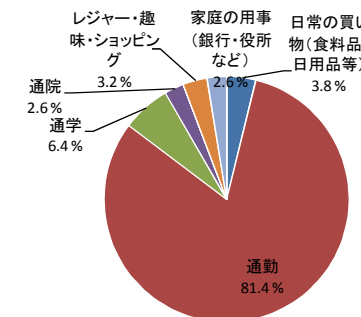


図 調査票を受け取った時の移動の目的

③-3. 普段の路線バスの利用頻度

- ◆ほぼ毎日が約87%と大半を占め、月に数回が約8%、週に数回が約4%である。

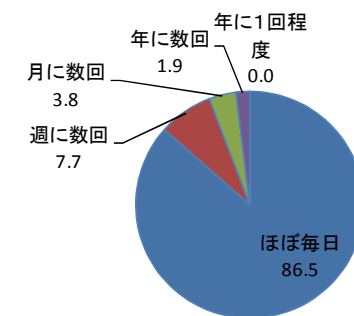


図 普段の路線バスの利用頻度

③-4. 路線バスの満足度

- ◆大変満足が約10%、やや満足が約50%で、合計約60%が満足と回答している。

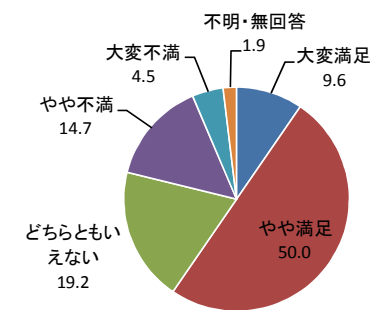


図 路線バスの満足度

◇ゾーン16：北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－５．路線バスの不満点

◆運賃が高いが102件と突出して多く、次いで利用したい時間に運行していないが61件、始発が遅い・終発が早い40件である。

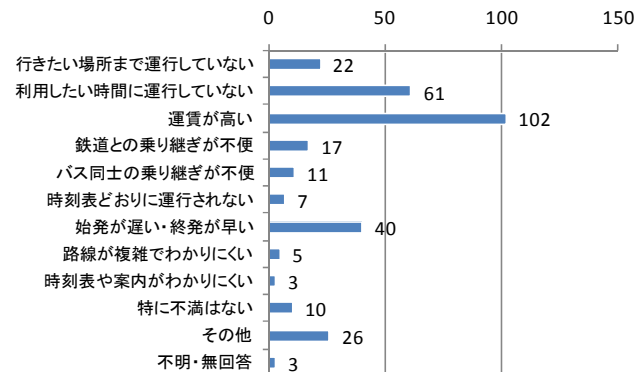


図 路線バスの不満点（複数回答 n=307）

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆利用するが約59%、バス路線があれば利用するが約19%と、あわせて約78%が利用すると回答している。

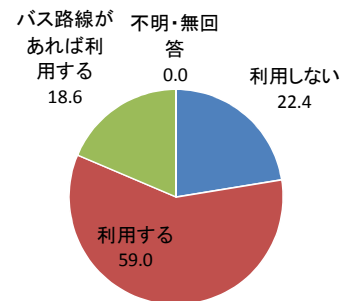


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向がある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約98%とほとんどを占める。

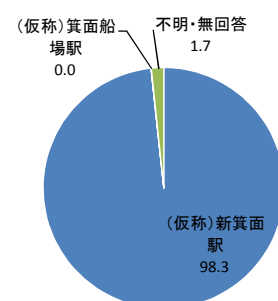


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆新駅までの交通手段は、路線バスが約99%とほとんどを占める。

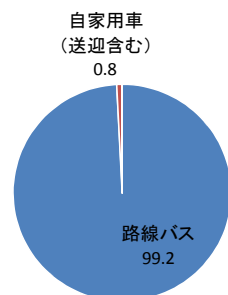


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆ほぼ毎日が約83%で大半を占め、月に数回が約7%、週に数回が約6%である。

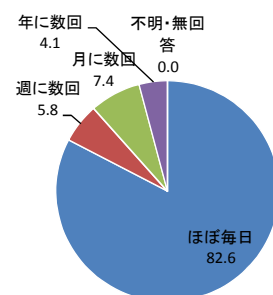


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆朝が10分に1本、昼は20分に1本、夕方は10分に1本が最も多い。

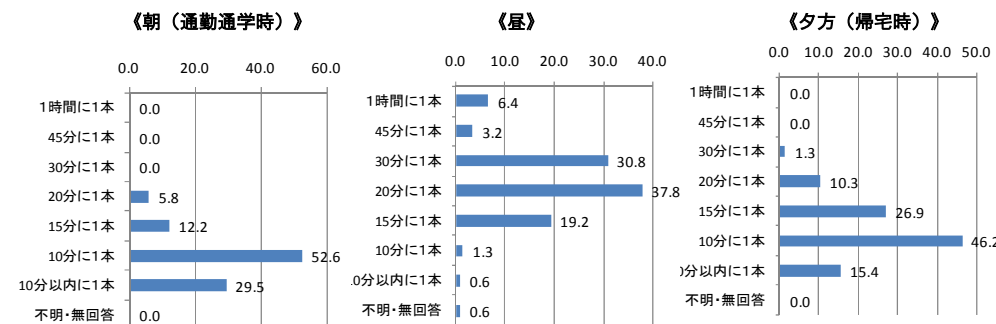


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）（単位：%）

4. 市民アンケート調査分析

《市民アンケートの単純集計結果は参考資料3 参照》

(1) アンケート調査概要

①調査概要

- 調査の対象者
箕面市在住の16歳以上（平成29年1月1日現在）の男女 5,000人
- 調査対象者の抽出方法
平成29年1月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法および調査期間
郵送配布・回収（お礼状兼督促1回あり）、無記名方式
平成29年2月21日（火）～3月6日（月）

②調査票の回収結果

- 配布件数 5,000件
- 有効回答数（率） 2,858件（57.2%）

(2) 単純集計結果（第2回路線バス網再編検討分科会の案件）

①回答者属性

- ◆年代は、「60歳代」が18.4%で最も多く、以下、「40歳代」が17.8%、「70歳代」が17.0%と続いている。
- ◆主な職業は、「会社員・公務員・団体職員」が30.0%で最も多く、以下、「専業主婦（夫）」が20.4%、「無職」が19.5%と続いている。

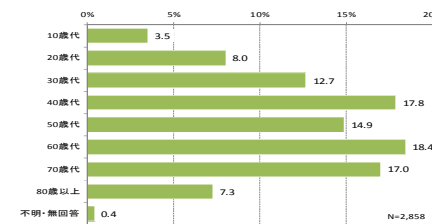


図 回答者の年代

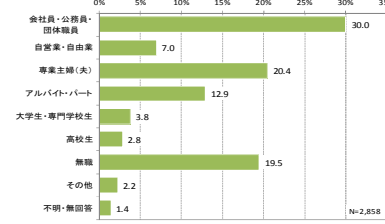


図 回答者の主な職業

②普段の外出について

②-1. 通勤・通学

- ◆通勤・通学で利用する交通手段は、「阪急箕面線・宝塚線」が27.1%で最も多く、以下、「路線バス」が25.4%、「自家用車（自分で運転）」が23.8%、「自転車」が20.8%と続いている。

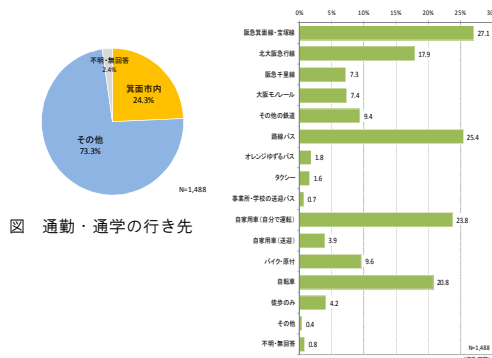


図 通勤・通学で利用する交通手段

②-2. 買い物

- ◆日常の買い物時に利用する交通手段は、「自家用車（自分で運転）」が46.8%で最も多く、以下、「路線バス」が15.7%と続いている。

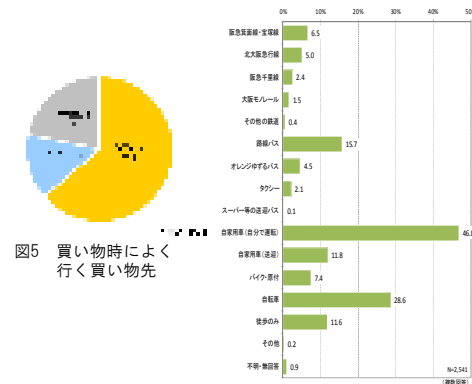
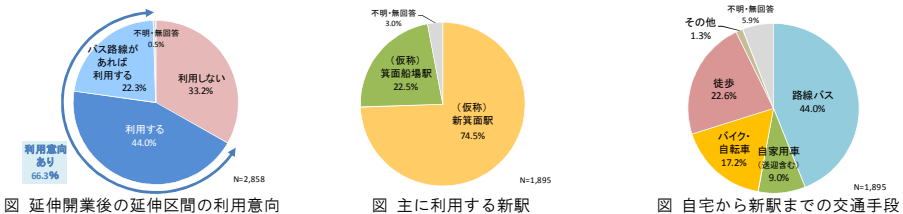


図 買い物時に利用する交通手段

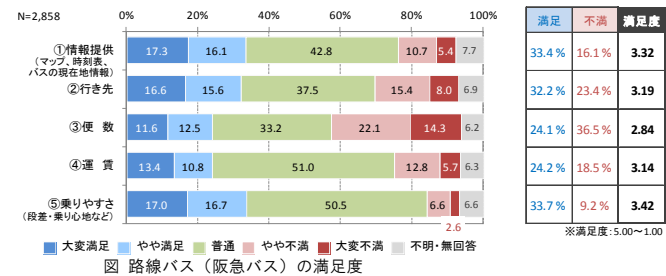
③北大阪急行線延伸後の移動について

- ◆延伸区間の利用意向は、「利用する」が44.0%で最も多く、「バス路線があれば利用する」（22.3%）と合わせると、66.3%が『利用意向あり』となっている。
- ◆利用すると回答した人が主に利用する新駅は、「（仮称）新箕面駅」が74.5%、「（仮称）箕面船場駅」が22.5%となっている。
- ◆利用すると回答した人の自宅から新駅までの交通手段は、「路線バス」が44.0%で最も多く、以下、「徒歩」が22.6%、「バイク・自転車」が17.2%と続いている。



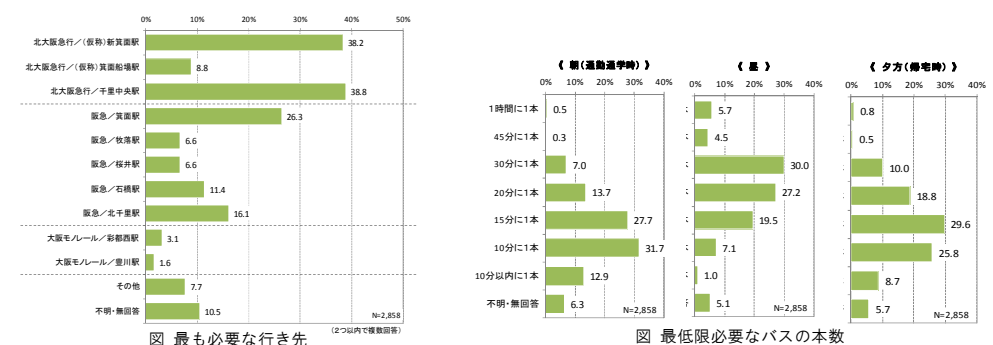
④現在の路線バスの満足度について

- ◆満足度について、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）の割合をみると、《⑤乗りやすさ（段差・乗り心地など）》が33.7%で最も高く、以下、《①情報提供（マップ、時刻表、バスの現在地情報）》が33.4%、《②行き先》が32.2%と続いている。
- ◆『満足度』でみると、《⑤乗りやすさ（段差・乗り心地など）》、《①情報提供（マップ、時刻表、バスの現在地情報）》、《②行き先》の順で高くなっている。



⑤路線バス（阪急バス）を再編することについて

- ◆最も必要な行き先は、「北大阪急行／千里中央駅」が38.8%で最も多く、以下、「北大阪急行／（仮称）新箕面駅」が38.2%、「阪急／箕面駅」が26.3%と続いている。
- ◆最低限必要なバスの本数は、朝（通勤通学時）が「10分に1本」、昼が「30分に1本」、夕方（帰宅時）が「15分に1本」が最も多い。



(3) ゾーン別地域特性分析

◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅勢圏（箕面駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：箕面1～3、箕面5～8、新稲1、新稲3、西小路1～3、温泉町、箕面公園
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：阪急箕面線（箕面駅）
 - 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：328件



②基礎情報

②－1. 性別

- ◆「男性」が約39%、「女性」が約61%である。

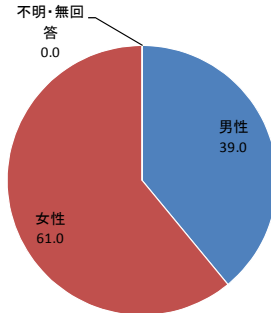


図 回答者の性別

②－2. 年代

- ◆「60歳代」が約20%で最も多く、「40歳代」と「70歳代」が共に約18%、「50歳代」が約15%、「10～30歳代」があわせて21%である。

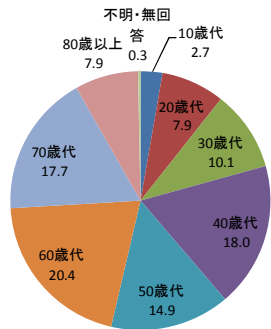


図 回答者の年代

②－3. 職業

- ◆「会社員、公務員、団体職員」が約30%、「専業主婦(夫)」が約21%、「無職」が約20%、「アルバイト・パート」が約11%である。

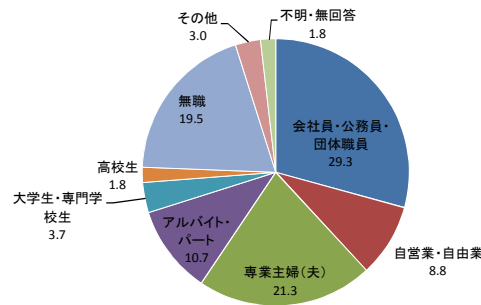


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③－1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約77%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約23%、「その他(市外)」が約74%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

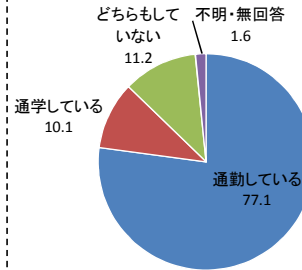


図 通勤・通学の有無

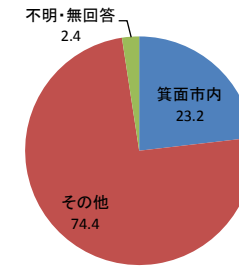


図 通勤・通学の行き先

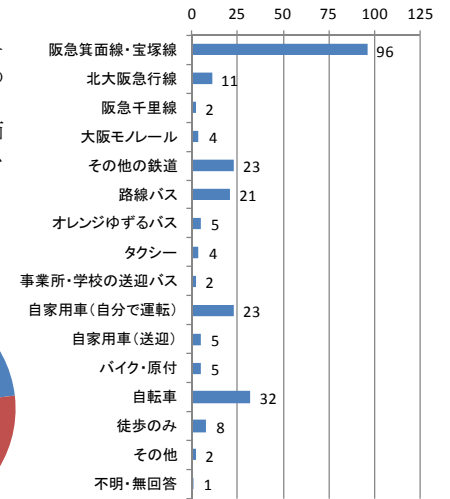


図 通勤・通学の交通手段 (複数回答 n=164)

③－2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約20%、「週に数回」が約51%、「月に数回」が約18%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

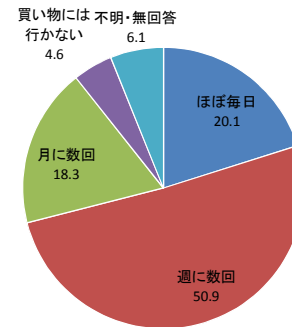


図 日常の買い物の頻度

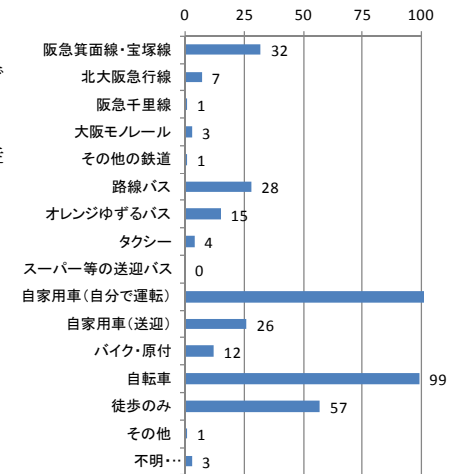


図 買い物の交通手段 (複数回答 n=164)

◇ゾーン1：箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－3. 路線バスの満足度

- ◆「大変満足」、「やや満足を含わせる」と、①情報提供、⑤乗りやすさが約40%、②行き先、③便数、④運賃が約30%を占める。

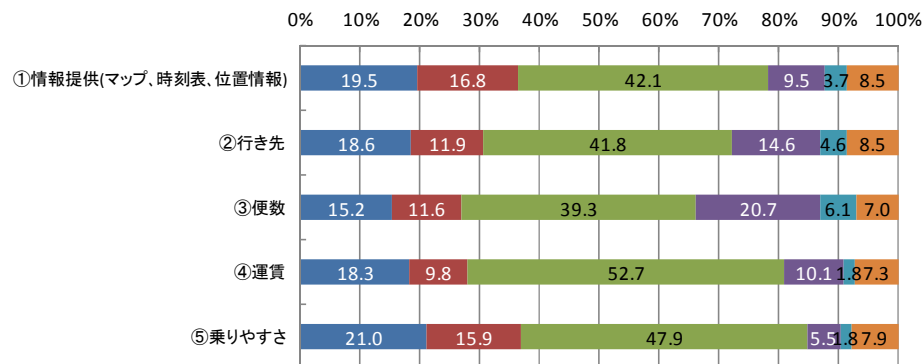


図 路線バスの満足度

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④－1. 延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約32%、「バス路線があれば利用する」が約21%と、合わせて約53%が利用すると回答している。

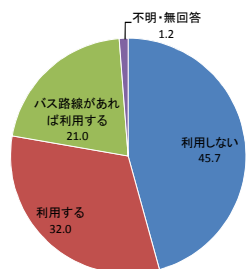


図 延伸区間の利用意向

④－2. 主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約95%と大多数を占める。

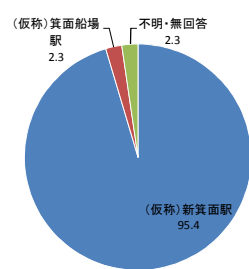


図 主に利用する新駅

④－3. 新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約63%、その他の交通手段が約31%を占める。

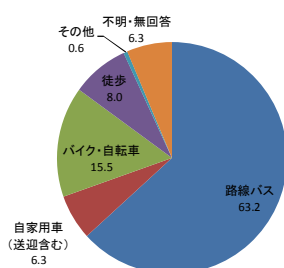


図 新駅までの交通手段

④－4. 延伸区間の利用頻度

- ◆「年に数回」が約45%、「月に数回」が約40%と高い。

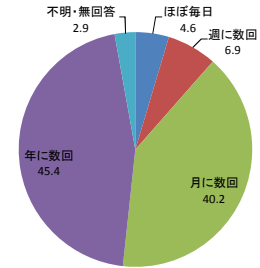


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－1. 路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

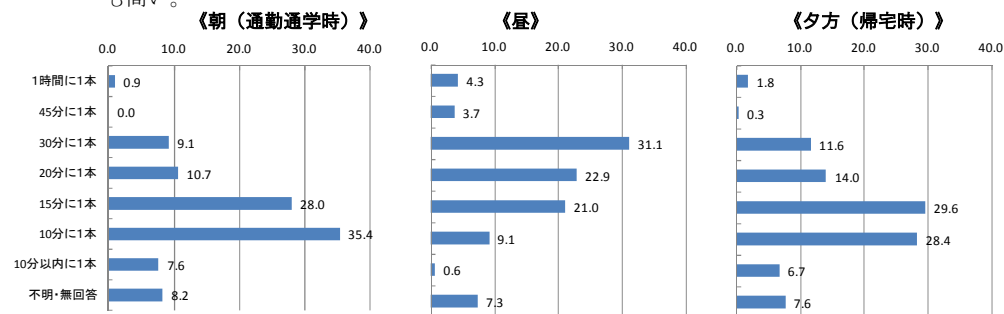


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆牧落駅勢圏（牧落駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：西小路4～5、牧落1～3、牧落5、百楽荘1～4、桜 1～5
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：阪急箕面線（牧落駅）
 - 路線バス 箕面中央線（石橋北口～千里中央）
 - 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
 - 阪北線（箕面～梅田）
- ◆アンケート回答数：240件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約43%、「女性」が約57%である。

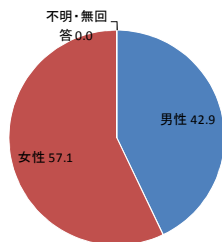


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約22%で最も多く、「60歳代」が約18%、「40歳代」が約17%、「50歳代」が約14%、「10～30歳代」をあわせて22%である。

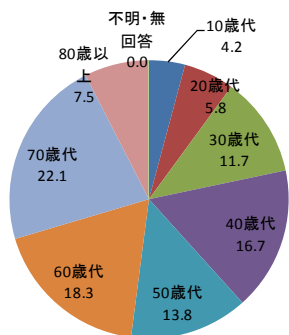


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「無職」が約24%、「専業主婦(夫)」が約17%、「アルバイト・パート」が約14%である。

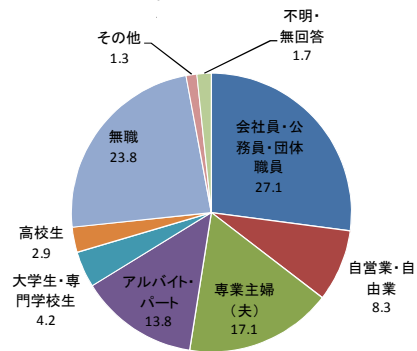


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約30%、「その他（市外）」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

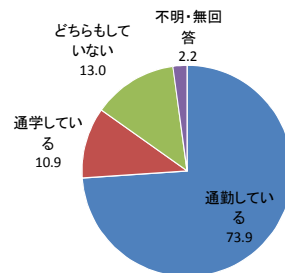


図 通勤・通学の有無

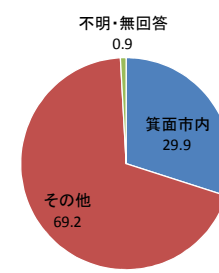


図 通勤・通学の行き先

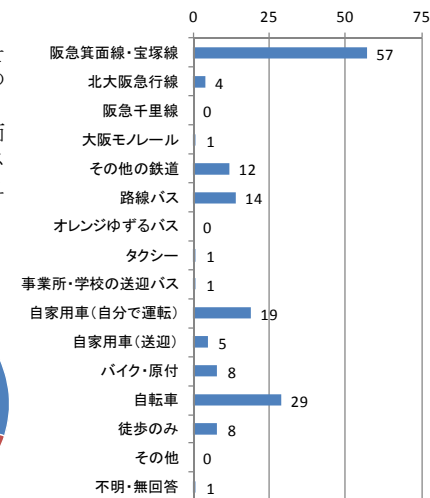


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約50%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

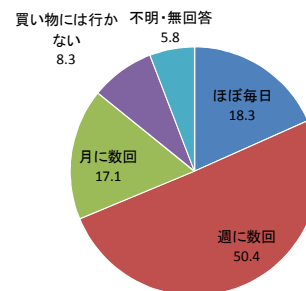


図 日常の買い物の頻度

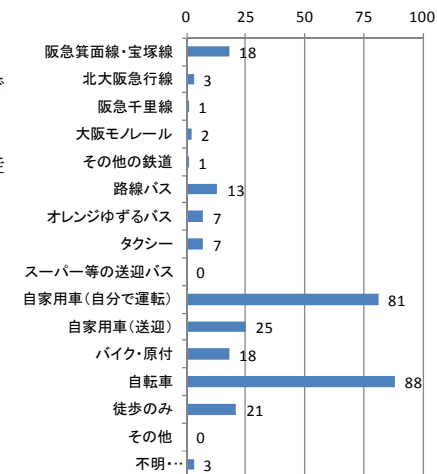


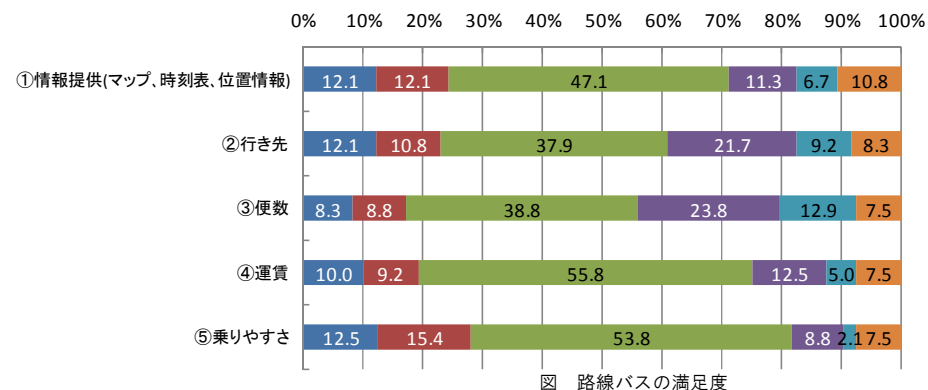
図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン2：牧落駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

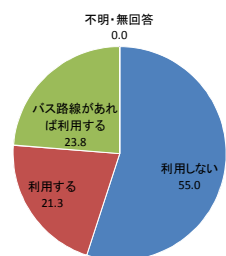
- ◆大変満足、やや満足と合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30%を占める。②行き先、③便数は、やや不満と不満を合わせた割合が満足を上回る。



④北大阪急行延伸後の交通行動

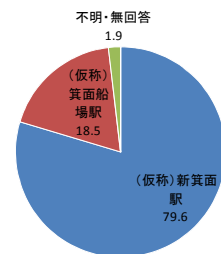
④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約22%、「バス路線があれば利用する」が約23%と、合わせて約55%が利用すると回答している。



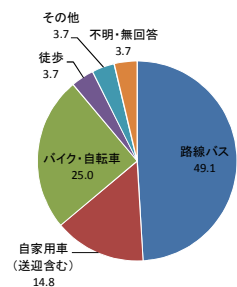
④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約80%と大多数を占める。



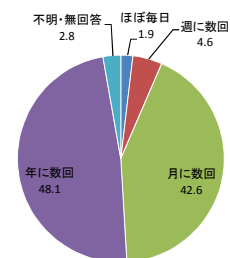
④－３．新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約49%、「バイク・自転車」が約25%、「自家用車」が約15%である。



④－４．延伸区間の利用頻度

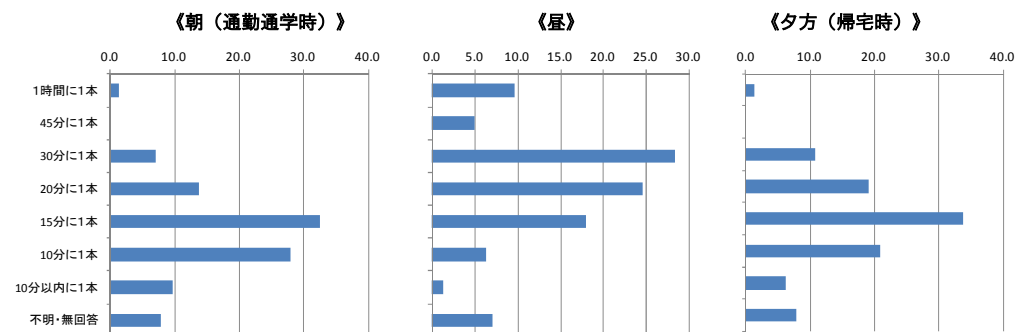
- ◆「年に数回」が約48%、「月に数回」が約43%と、この2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。



⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」は「15分に1本」、「昼」は「30分に1本」、「夕方」は「15分に1本」の意向が最も高い。



◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆桜井駅・石橋駅勢圏（桜井駅、石橋駅を中心に半径800mに含まれる地域）
- ◆町丁目：桜6、桜井1～3、半町1～4、瀬川1～瀬川5
- ◆公共交通機関
鉄道：阪急箕面線（桜井駅、石橋駅）
路線バス 石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：355件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約41%、「女性」が約58%である。

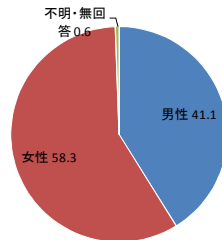


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約19%で最も多く、「40歳代」が約19%、「70歳代」が約18%、「50歳代」が約16%、「10～30歳代」をあわせて21%である。

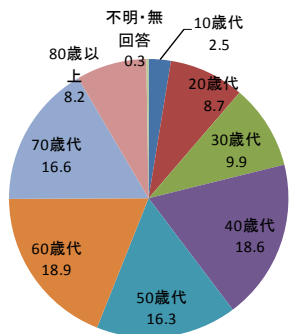


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約34%、「専業主婦（夫）」が約20%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約13%である。

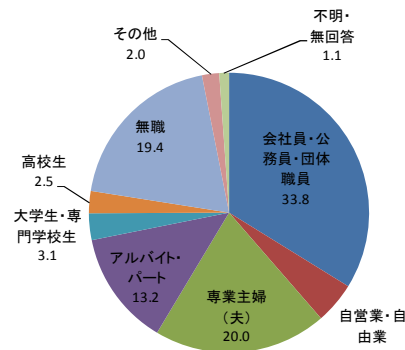


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約81%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約25%、「その他（市外）」が約74%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

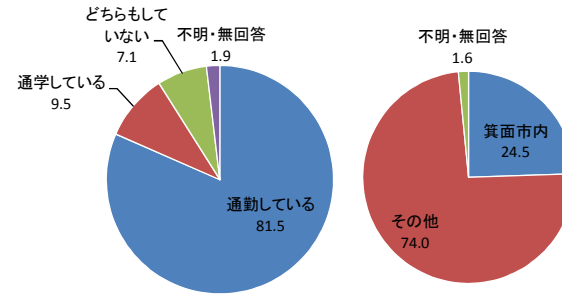


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

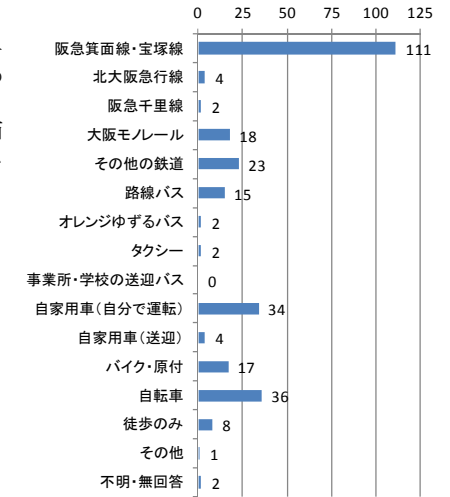


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約21%、「週に数回」が約51%、「月に数回」が約16%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」、「徒歩」でのアクセスが最も多い。

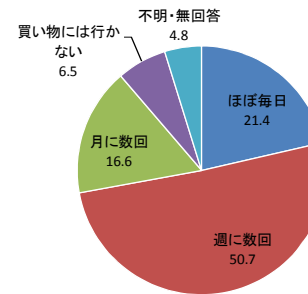


図 日常の買い物の頻度

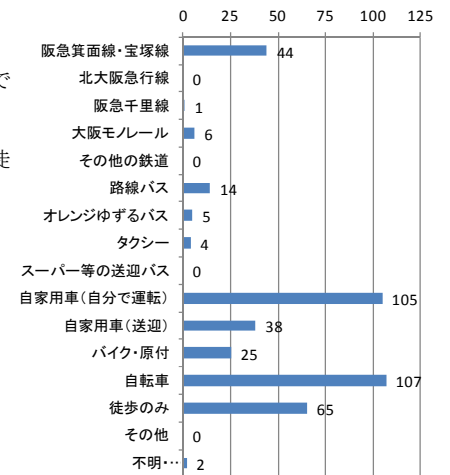


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン3：桜井駅・石橋駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30%を占める。③便数は、やや不満と不満を合わせた割合が満足を上回る。

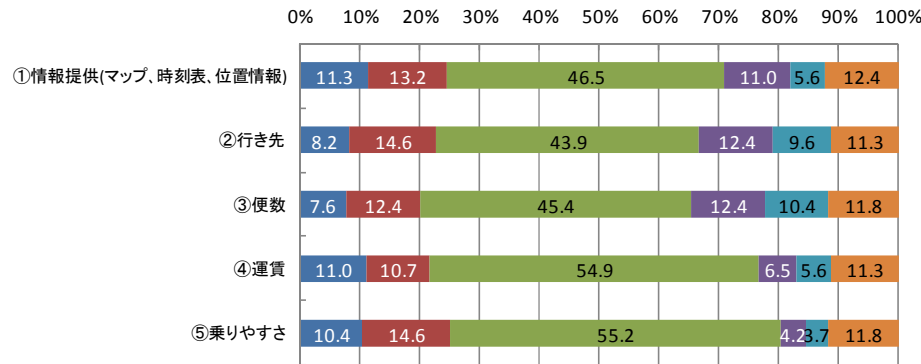


図 路線バスの満足度

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約12%、「バス路線があれば利用する」が約18%と、合わせて約30%が利用すると回答している。

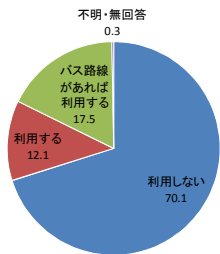


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約77%と大多数を占める。

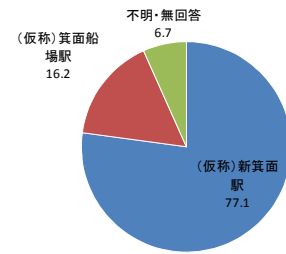


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約60%、「自家用車」が約20%、「バイク・自転車」が約11%である。

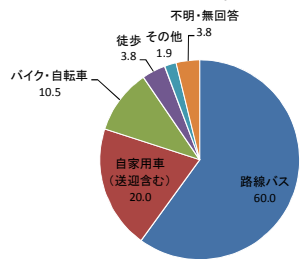


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約58%、「月に数回」が約29%とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

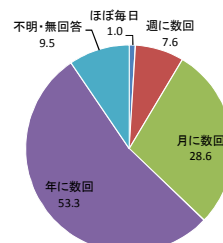


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

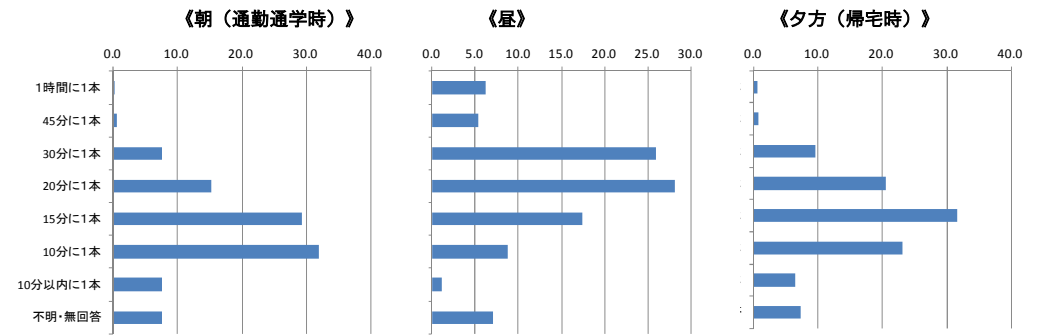
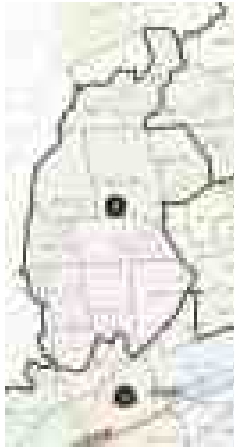


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆箕面駅・牧落駅西部（箕面駅・牧落駅・桜井駅・石橋駅勢圏に含まれない箕面駅・牧落駅西部ゾーン）
- ◆町丁目：新稲2、新稲4～新稲7、桜ヶ丘1～桜ヶ丘5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：箕面中央線（石橋北口～千里中央）
- ◆アンケート回答数：212件



②基礎情報

②－１．性別

- ◆「男性」が約40%、「女性」が約60%である。

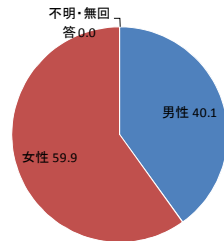


図 回答者の性別

②－２．年代

- ◆「60歳代」が約19%で最も多く、「50歳代」が約17%、「40歳代」が約16%、「70歳代」及び「80歳以上」をあわせて21%である。

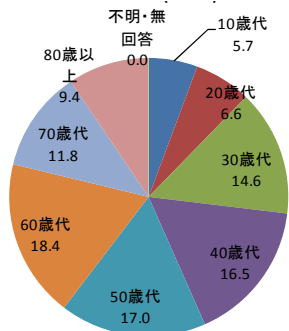


図 回答者の年代

②－３．職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約29%、「専業主婦（夫）」が約24%、「無職」が約18%、「アルバイト・パート」が約11%である。

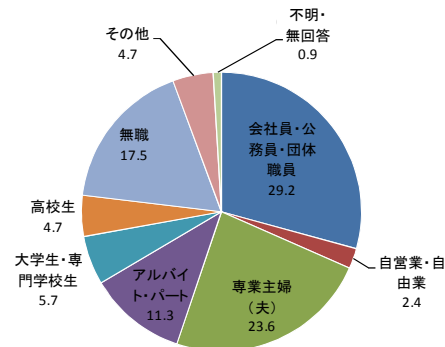


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③－１．通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約76%、「通学」が約17%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約25%、「その他（市外）」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多く、他の鉄道利用のために路線バスや自家用車、自転車等でアクセスしていると考えられる。

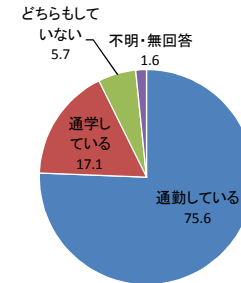


図 通勤・通学の有無

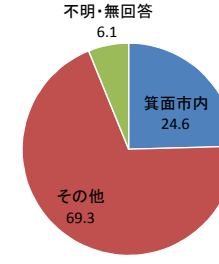


図 通勤・通学の行き先

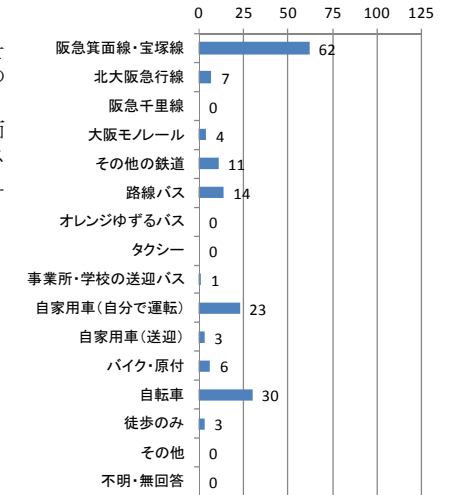


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③－２．日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%「週に数回」が約52%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、鉄道では、「阪急箕面線」が最も多いが、「自家用車」や「自転車」でのアクセスが最も多い。

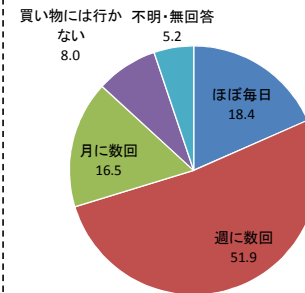


図 日常の買い物の頻度

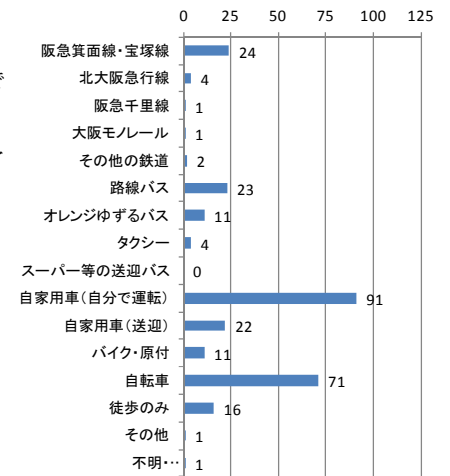


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン4：箕面駅・牧落駅西部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－3. 路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供、⑤乗りやすさが約30～40％である。③便数は、やや不満と大変不満をあわせた割合が約45％で、満足を大きく上回る。

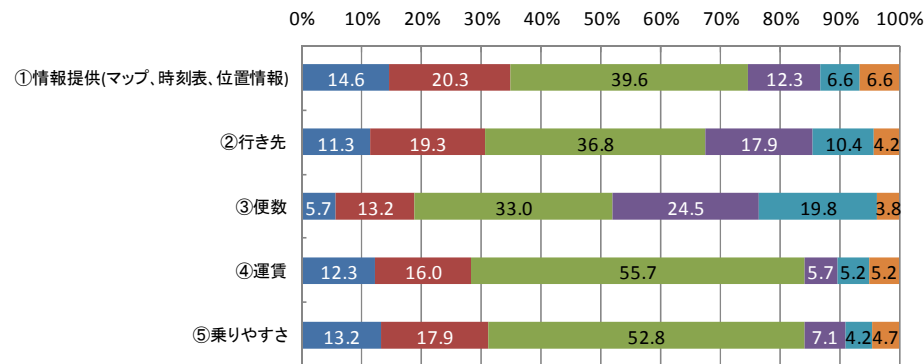


図 路線バスの満足度

④北大阪急行線延伸後の交通行動

④－1. 延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約18％、「バス路線があれば利用する」が約28％と、合わせて約46％が利用すると回答している。

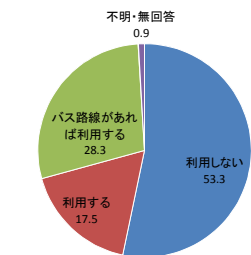


図 延伸区間の利用意向

④－2. 主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約80％と大多数を占める。

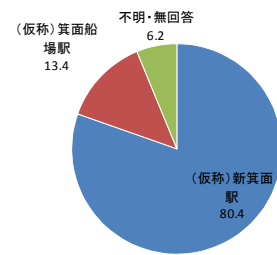


図 主に利用する新駅

④－3. 新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約51％、「自家用車」が約22％、「バイク・自転車」が約11％である。

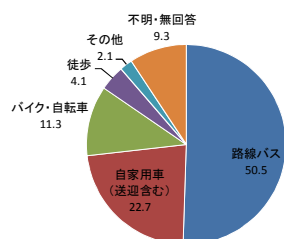


図 新駅までの交通手段

④－4. 延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約44％、「月に数回」が約47％とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

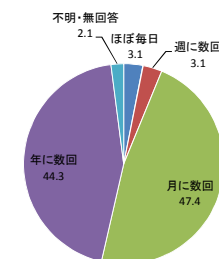


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－1. 路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」が最も高く、「夕方」は「15分に1本」と「10分に1本」の意向がほぼ同数。

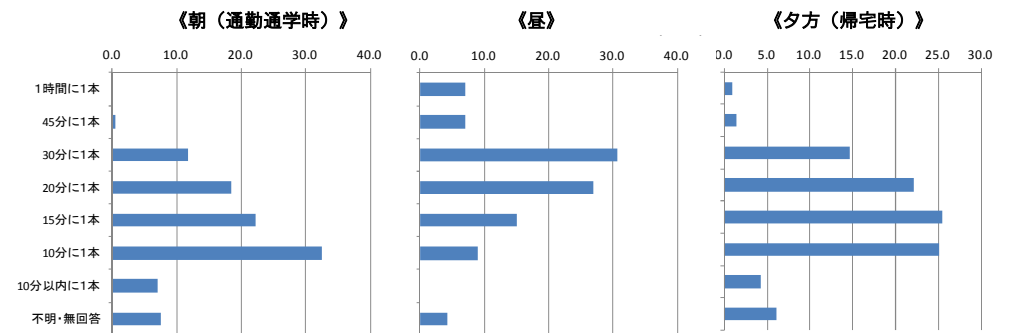


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏（（仮称）新箕面駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：白島1～3、西宿1～2、萱野1～萱野4、坊島2～5、如意谷2
- ◆公共交通機関
鉄道：現況 なし
将来 北大阪急行線（（仮称）新箕面駅）
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：197件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約40%、「女性」が約59%である。

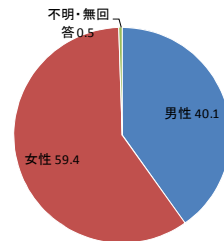


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約21%で最も多く、「40歳代」が約17%、「60歳代」が約16%、「50歳代」が約15%、「30歳代」が約13%である。

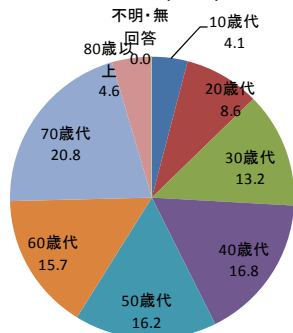


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦(夫)」が約21%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約12%である。

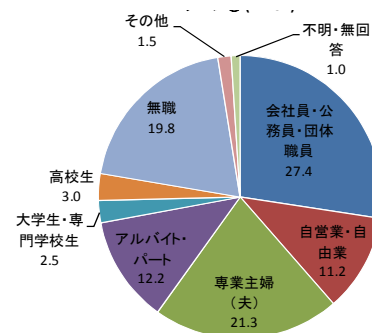


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約36%、「その他(市外)」が約63%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」と「自家用車」が共に31件で最も多く、また鉄道では「北大阪急行線」が26件と多く、北大阪急行線利用のために路線バスや自家用車でアクセスしていると考えられる。

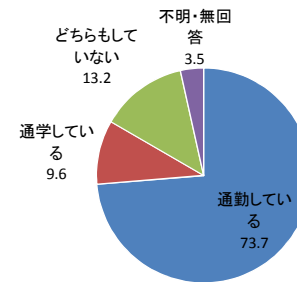


図 通勤・通学の有無

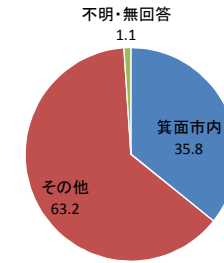


図 通勤・通学の行き先

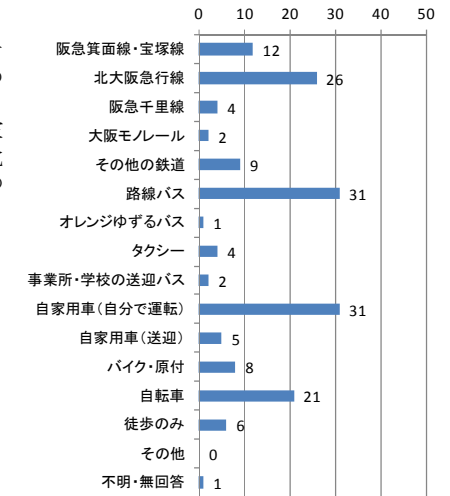


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約24%、「週に数回」が約52%、「月に数回」が約14%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」と「自転車」が多いが、公共交通機関の中では「路線バス」が最も多く、「徒歩」と並んで全体でも3番目に多い。

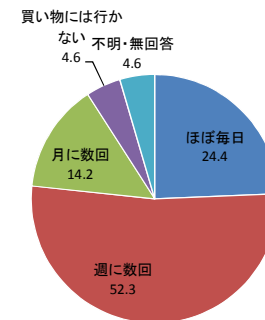


図 日常の買い物の頻度

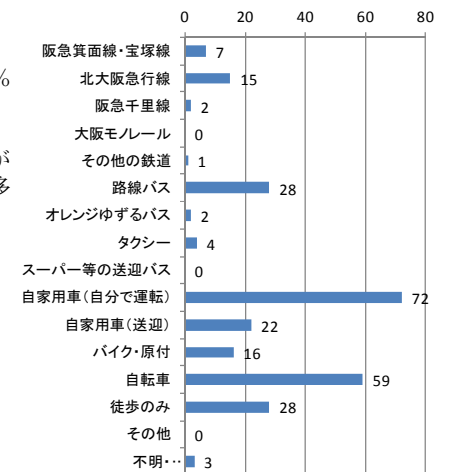


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン5：（仮称）新箕面駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさが約40%を占める。不満意見は③便数でやや多いが、満足意見を下回っている。

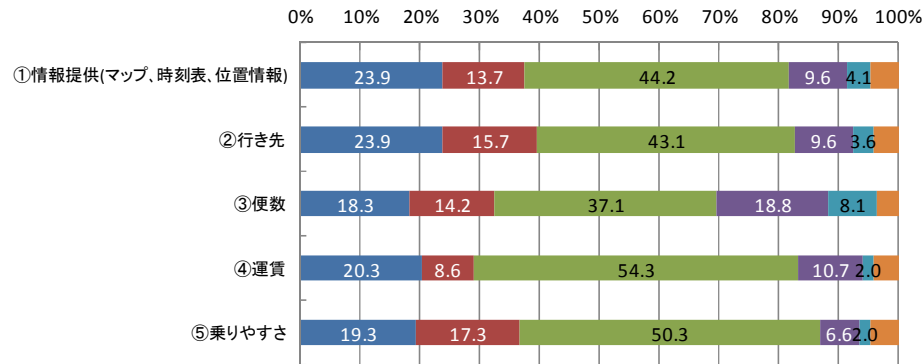


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約91%、「バス路線があれば利用する」が約3%、合わせて約94%とほとんどが回答している。

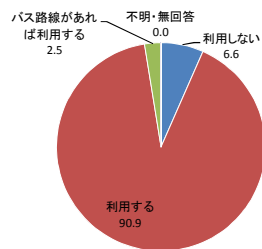


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約98%とほとんどを占める。

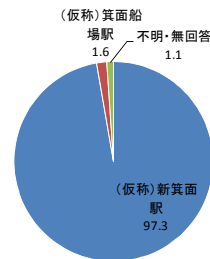


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「徒歩」が約73%と多くを占め、次いで「バイク・自転車」が約17%である。

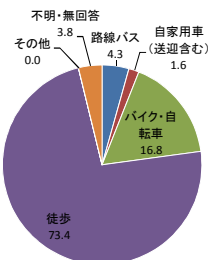


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が46%と最も多いが、「ほぼ毎日」が18%、「週に数回」が16%と日常的な利用意向も高い。

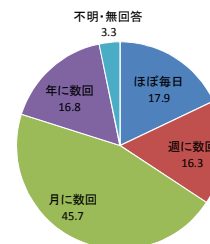


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「15分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

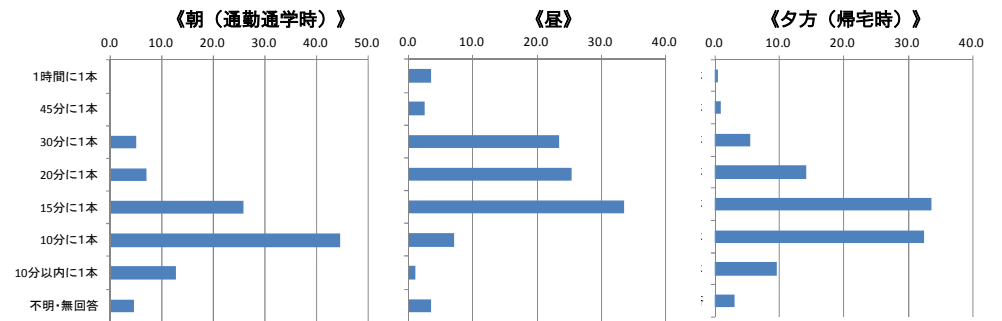
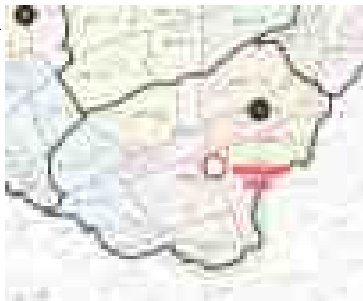


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）箕面船場駅勢圏（（仮称）箕面船場駅を中心に半径800mの区域）に含まれるゾーン
- ◆町丁目：船場東1～3、船場西1～3、萱野5、稲5～6
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：現況 なし
 - 将来 北大阪急行線（（仮称）箕面船場駅）
 - 路線バス：白島線（箕面～千里中央）
 - 如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
 - 箕面中央線（石橋北口～千里中央）
 - 北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
 - 箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
 - 栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
- ◆アンケート回答数：207件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約42%、「女性」が約59%である。

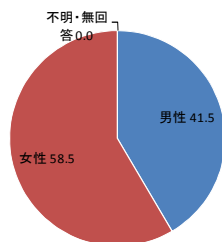


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約22%で最も多く、「50歳代」が約18%、「60歳代」が約17%、「70歳代」が約14%、「30歳代」が約13%である。

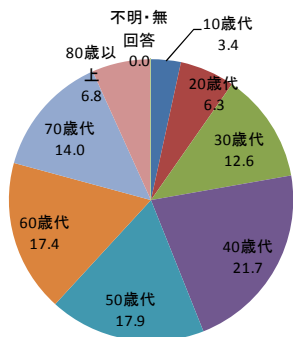


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約32%、「専業主婦（夫）」が約20%、「アルバイト・パート」が約18%、「無職」が約14%である。

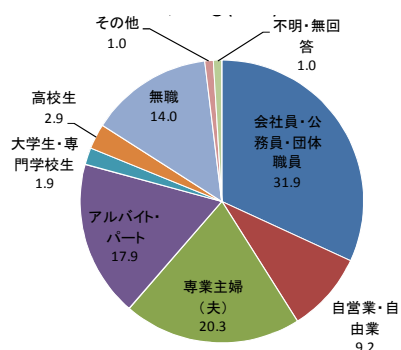


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約81%、「通学」が約7%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約19%、「その他（市外）」が約78%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、全ての手段の中で「北大阪急行線」が45件と最も多く、「路線バス」が42件で続いており、路線バスや自転車、自家用車で北大阪急行線にアクセスしていると考えられる。

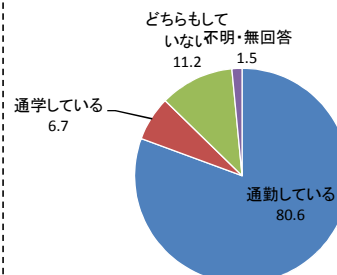


図 通勤・通学の有無

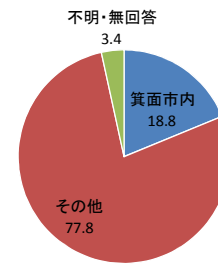


図 通勤・通学の行き先

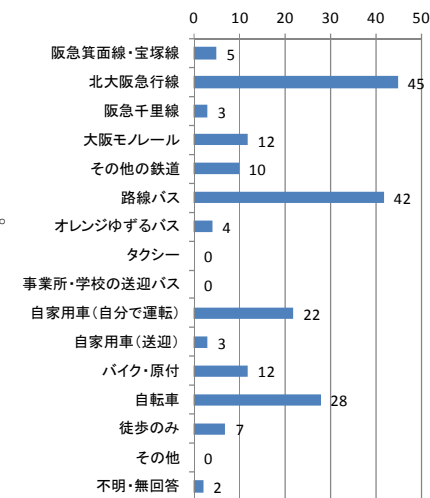


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約61%、「月に数回」が約14%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が90件で突出して多く、その他の手段では「自転車」、「路線バス」と続いている。

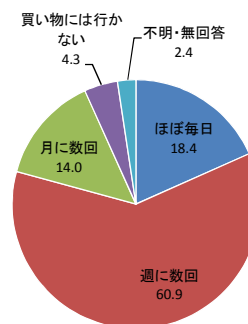


図 日常の買い物の頻度

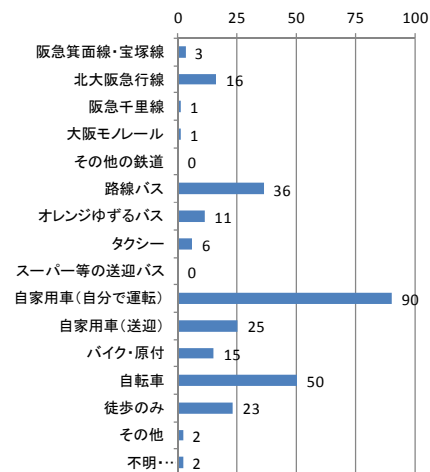


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン6：（仮称）箕面船場駅勢圏ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

- ◆④運賃以外の項目で、大変満足、やや満足を含めた割合が約30～40％ある。④運賃は、大変不満と不満をあわせて約24％で、満足意見とほぼ同程度である。

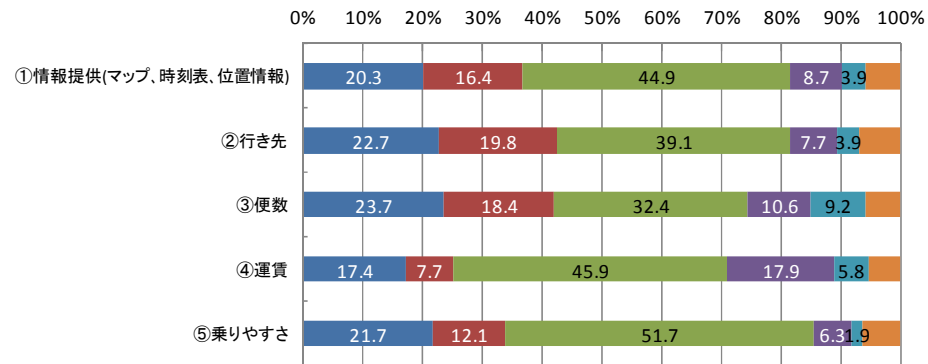


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆延伸区間の利用意向は、「利用する」が約88％、「バス路線があれば利用する」が約2％と、合わせて約90％が利用すると回答している。

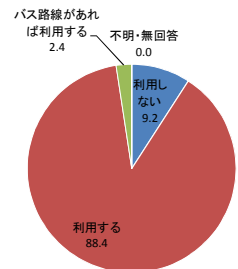


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）箕面船場駅」の利用意向が約97％とほとんどを占める。

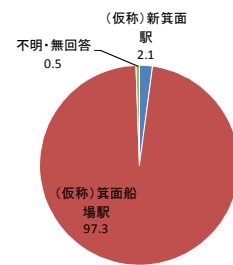


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆「徒歩」が87％とほとんどを占める。

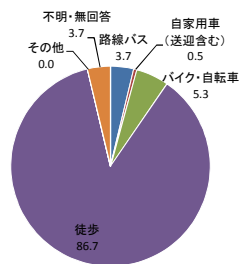


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が44％と最も多いが、「ほぼ毎日」が24％、「週に数回」が19％と日常的な利用意向も高い。

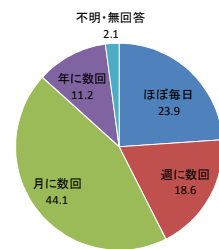


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

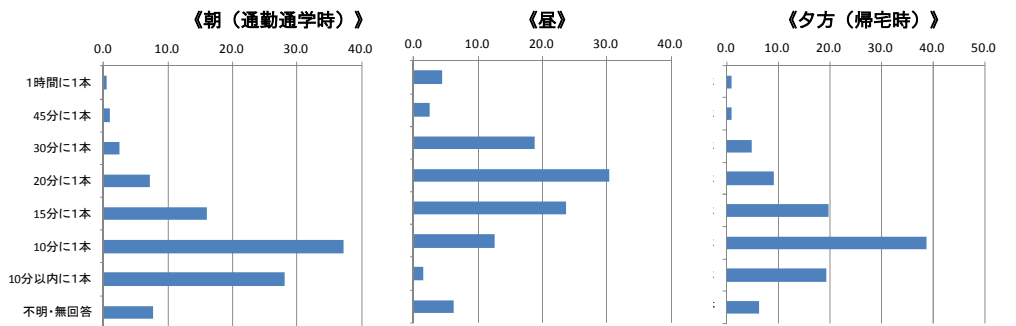
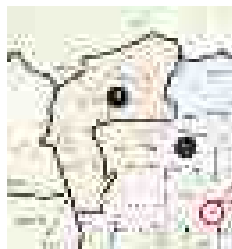


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、北西部の如意谷地域のゾーン
- ◆町丁目：如意谷1、如意谷3～5
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白鳥線（箕面～千里中央）
如意谷線（千里中央～如意谷住宅前）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
- ◆アンケート回答数：123件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約46%、「女性」が約54%である。

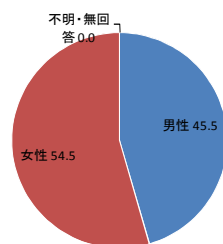


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「50歳代」が約22%で最も多く、「70歳代」が約19%、「60歳代」が約18%、「40歳代」が約15%、「20歳代」と「30歳代」が共に約9%である。

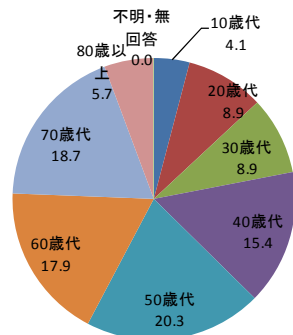


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約33%、「無職」が約21%、「専業主婦（夫）」が約20%、「アルバイト・パート」が約13%である。

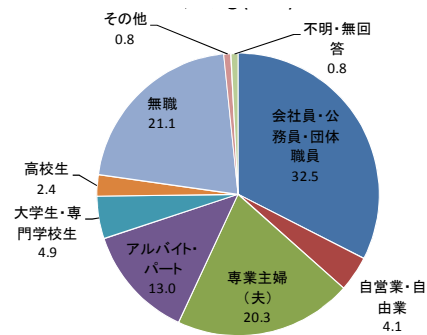


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約82%、「通学」が約12%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約24%、「その他（市外）」が約75%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」、「北大阪急行線」、「路線バス」がほぼ同程度で、「阪急箕面線」も続いており、自家用車や路線バスで鉄道駅にアクセスしている状況が考えられる。

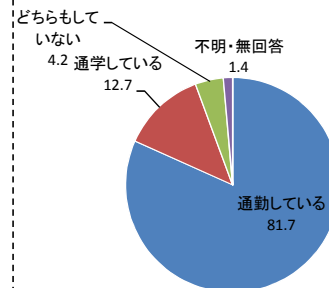


図 通勤・通学の有無

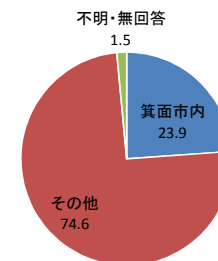


図 通勤・通学の行き先

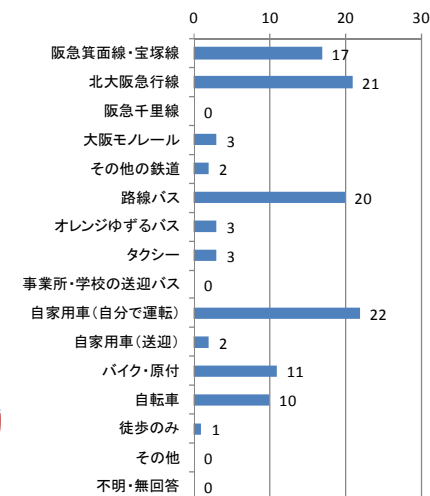


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約55%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が52件で最も多いが、「路線バス」が36件で続いている。

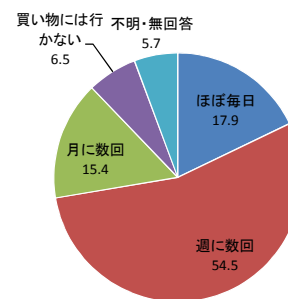


図 日常の買い物の頻度

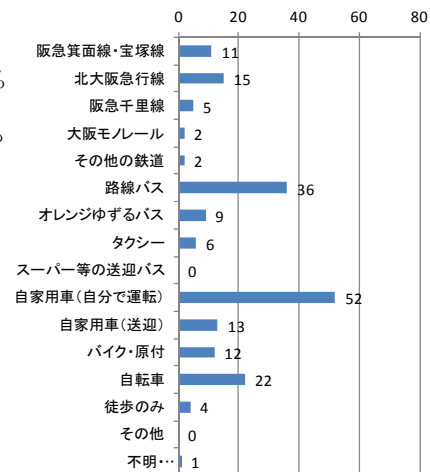


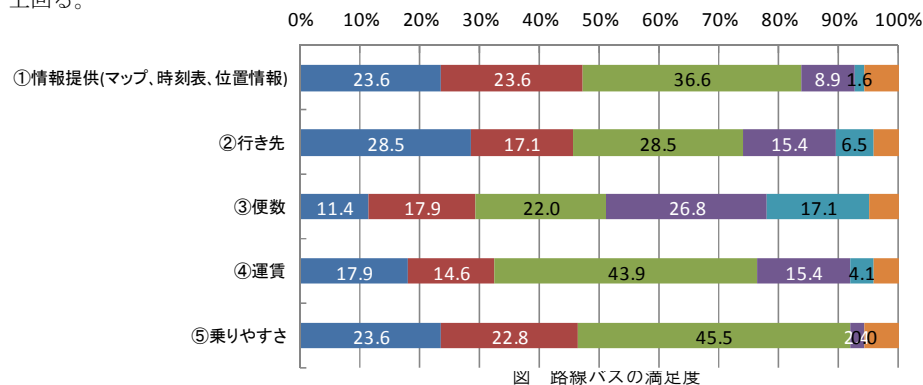
図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン7：（仮称）新箕面駅北西部（如意谷地域）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

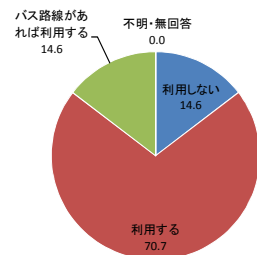
- ◆大変満足、やや満足を合わせると、①情報提供は50%弱、②行き先と⑤乗りやすさも約40%強あるが、③便数は、大変不満とやや不満を合わせた割合が40%以上あり、満足回答を上回る。



④北大阪急行線延伸後の交通行動

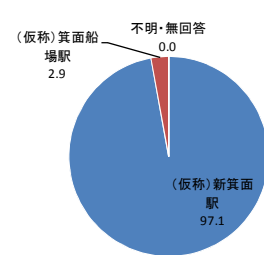
④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約71%、「バス路線があれば利用する」が約15%と、合わせて約86%が利用すると回答している。



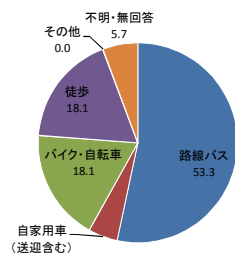
④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、（仮称）新箕面駅の利用意向が約97%とほとんどを占める。



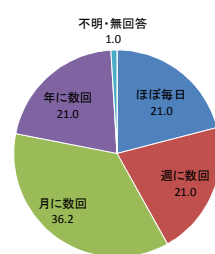
④－３．新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約59%で過半数を占め、「バイク・自転車」と「徒歩」が共に約18%で続く。



④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が約34%と最も多いが、「ほぼ毎日」と「週に数回」が共に約21%あり、日常的な利用意向も高い。



⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

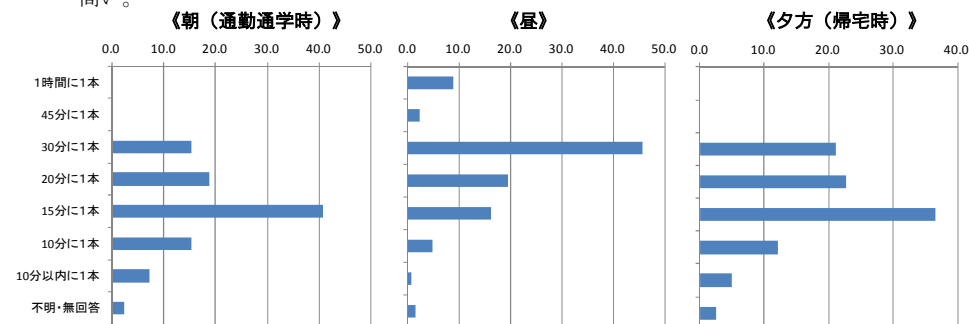


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない、西部の（仮称）新箕面駅、箕面駅、牧落駅の間ゾーン
- ◆町丁目：坊島1、箕面4、稲1～4、牧落4
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：白島線（箕面～千里中央）
箕面中央線（石橋北口～千里中央）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：150件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約43%、「女性」が約57%である。

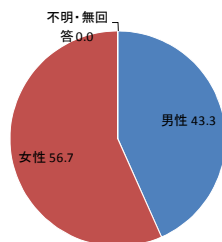


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約23%で最も多く、「60歳代」が約20%、「40歳代」が約16%、「50歳代」が約15%、「20～30歳代」をあわせると18%である。

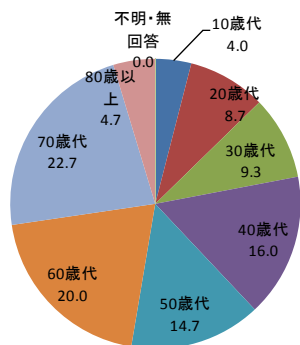


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦（夫）」が約25%、「無職」が約18%、「アルバイト・パート」が約14%である。

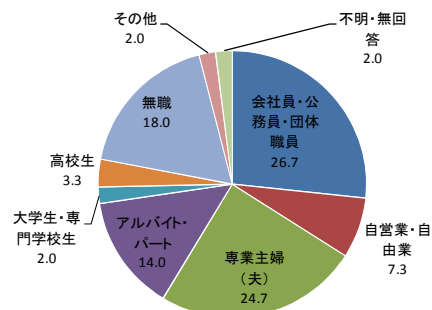


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約77%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約29%、「その他（市外）」が約71%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が32件と最も多く、鉄道も「阪急箕面線」24件、「北大阪急行線」15件と、全体的に公共交通機関の利用が多い。その他は「自転車」20件、「自家用車」14件である。

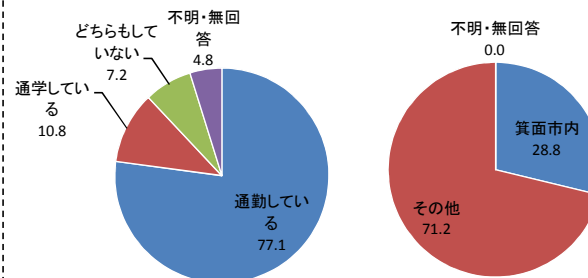


図 通勤・通学の有無 ； 図 通勤・通学の行き先

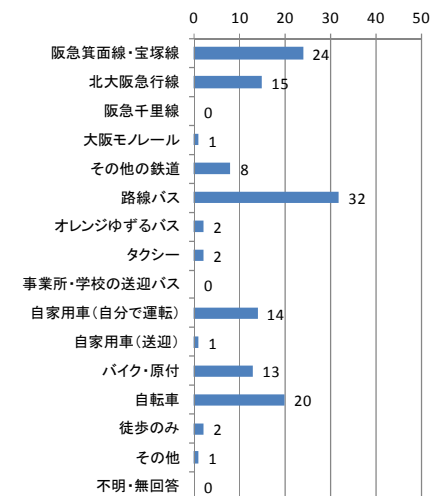


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約27%、「週に数回」が約45%、「月に数回」が約19%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自転車」が58件、「自家用車」が54件と突出して多い。「路線バス」も19件あるが、公共交通機関の回答は全体的に少ない。

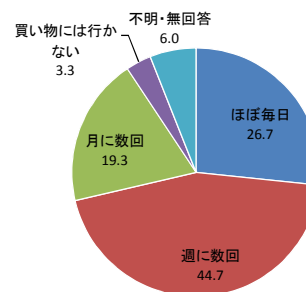


図 日常の買い物の頻度

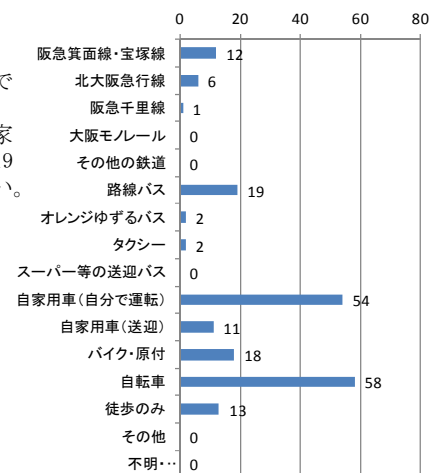


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン8：（仮称）新箕面駅西部（（仮称）新箕面駅・箕面駅・牧落駅の間）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

- ◆大変満足、やや満足と合わせると、②行き先、①情報提供、⑤乗りやすさが40%弱と多い。
③便数は、大変不満とやや不満を合わせた割合が30%弱あり、満足回答に近い割合である。

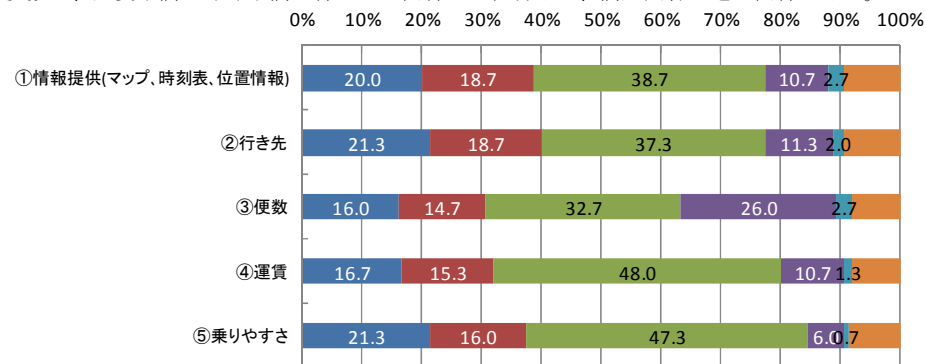


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約62%、「バス路線があれば利用する」が約20%と、合わせて約82%が利用すると回答している。

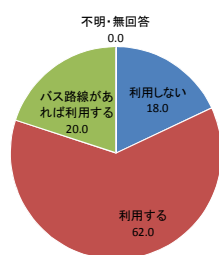


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約77%、「（仮称）箕面船場駅」が約18%である。

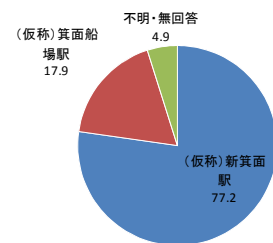


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆「バイク・自転車」が約45%で最も多く、「路線バス」が約28%、「徒歩」が14%と続く。

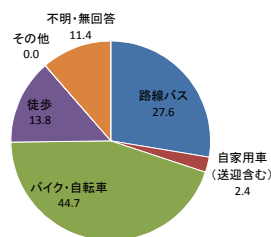


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が約36%と最も多いが、「ほぼ毎日」と「週に数回」が共に約21%あり、日常的な利用意向も高い。

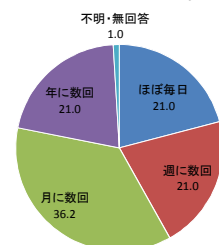


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

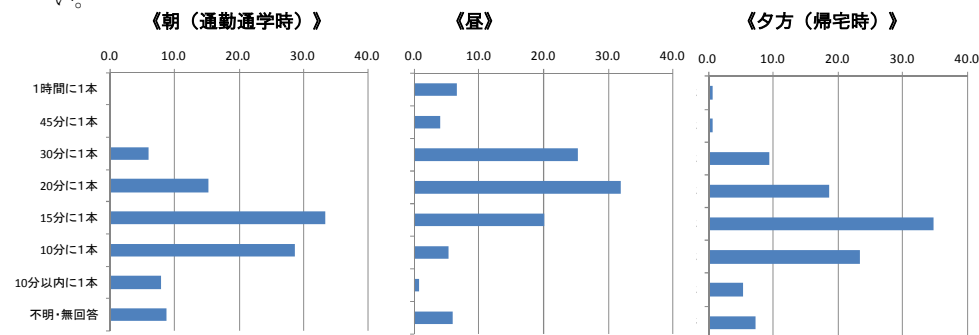


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

①ゾーン概要

- ◆（仮称）新箕面駅勢圏に含まれない北東部ゾーン
- ◆町丁目：石丸1～3、外院1～3
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線小野原経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：91件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約47%、「女性」が約53%である。

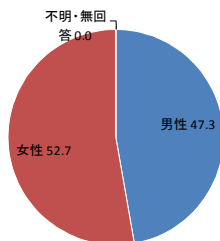


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約23%で最も多く、「70歳代」が約18%、「40歳代」が約17%、「50歳代」が約15%、「20～30歳代」をあわせると12%である。

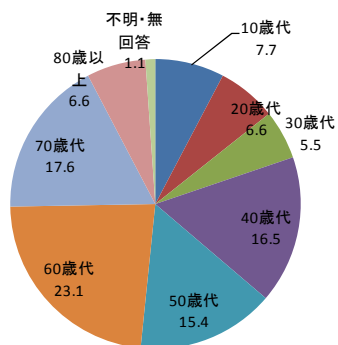


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「専業主婦（夫）」が約19%、「アルバイト・パート」が約18%、「無職」が約14%である。

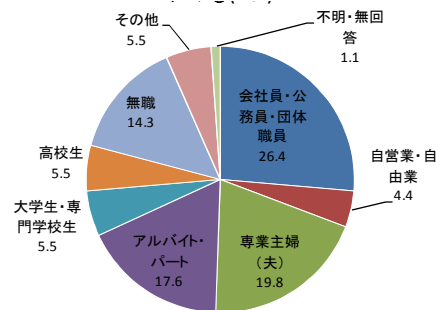


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約70%、「通学」が約17%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約26%、「その他（市外）」が約73%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が22件と最も多く、「北大阪急行線」が19件で続くなど、全体的に公共交通機関の利用が多い。その他は「自家用車」13件、「自転車」12件である。

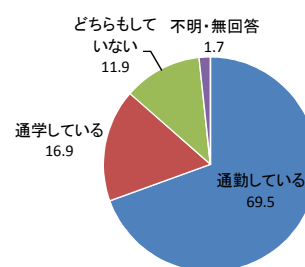


図 通勤・通学の有無

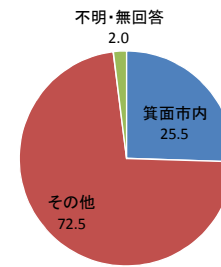


図 通勤・通学の行き先

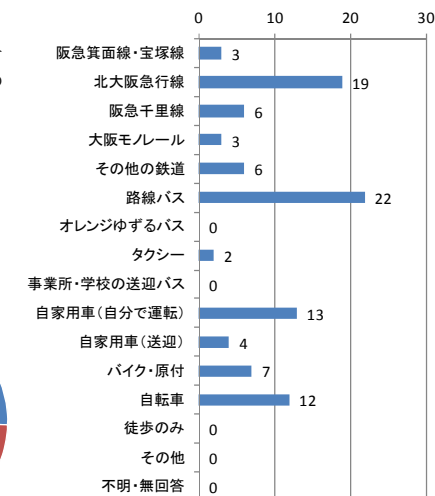


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約20%、「週に数回」が約48%、「月に数回」が約25%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が53件と突出して多く、「自転車」が20件で続き、「路線バス」は15件である。

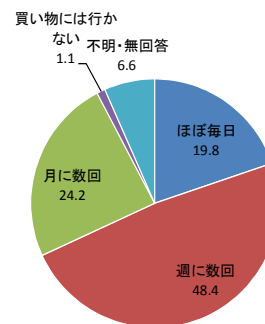


図 日常の買い物の頻度

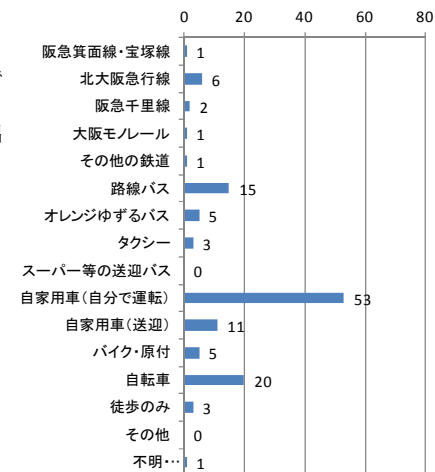


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン9：（仮称）新箕面駅北東部ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、⑤乗りやすさ、①情報提供が約30%ある。③便数は、満足回答が約14%に対し、大変不満と不満を合わせた割合が約68%と非常に不満度が高い。

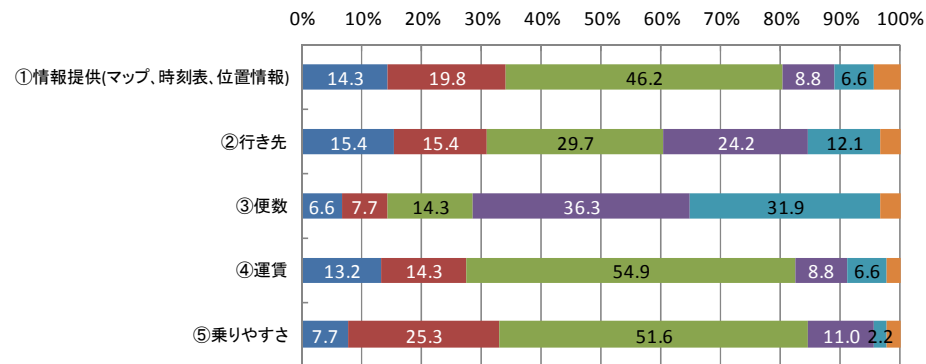


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約88%、「バス路線があれば利用する」が約11%、合わせて約99%とほとんどが利用意向を示す。

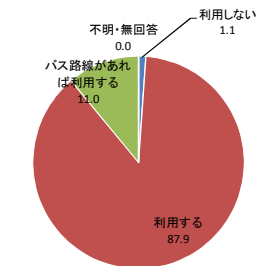


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「（仮称）新箕面駅」の利用意向が約96%とほとんどを占める。

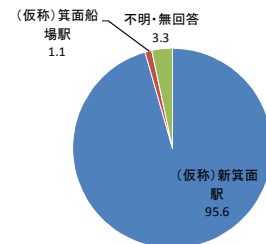


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約41%で最も多く「バイク・自転車」が約27%、「徒歩」が約20%と続く。

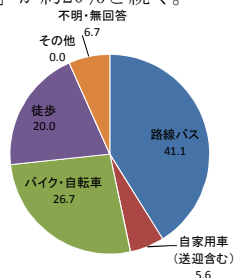


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約45%、「年に数回」が約33%とこの2つで大半を占め、「ほぼ毎日」など日常的な利用意向は小さい。

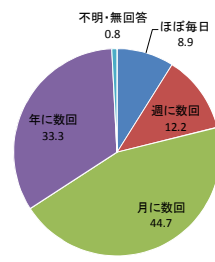


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

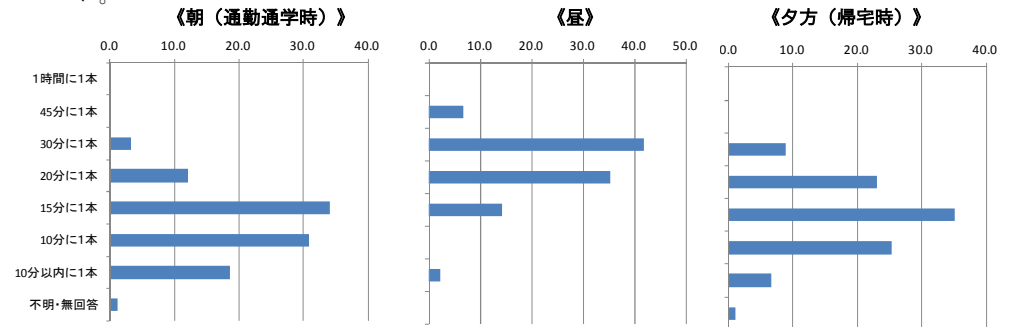


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン10：栗生団地バスターミナル周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆栗生団地バスターミナル周辺で、箕面山麓線沿いのゾーン
- ◆町丁目：栗生外院2～3、栗生外院5～6、栗生間谷西2～7
- ◆公共交通機関
 - 鉄道：なし
 - 路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
 - 箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
 - 栗生団地線白島経由（千里中央～栗生団地）
 - 栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
 - 栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
 - 栗生団地線阪大口経由（千里中央～栗生団地）
- ◆アンケート回答数：177件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約45%、「女性」が約55%である。

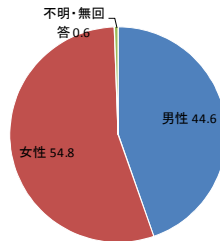


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約27%で最も多く、「60歳代」が約20%、「40歳代」が約14%、「50歳代」が約11%、「20～30歳代」をあわせると15%である。

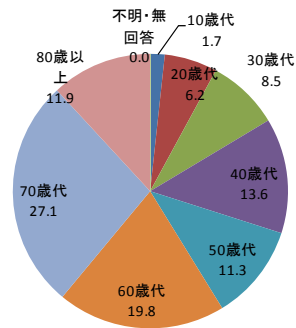


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「無職」が約35%と最も多く、「会社員・公務員・団体職員」が約20%、「専業主婦(夫)」が約16%、「アルバイト・パート」が約13%である。

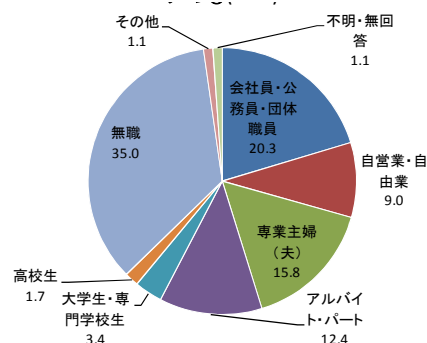


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約74%、「通学」が約11%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約33%、「その他(市外)」が約64%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」と「自家用車」が29件で同数。鉄道では「北大阪急行線」16件と「阪急千里線」13件と続き、路線バスや自家用車でこれら鉄道駅へアクセスしていると考えられる。

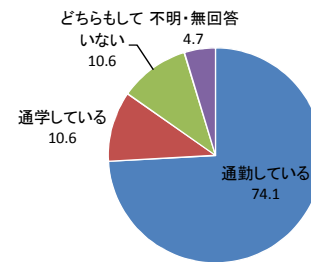


図 通勤・通学の有無

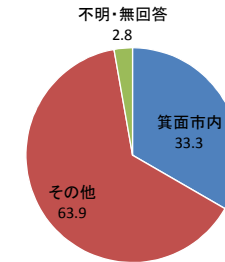


図 通勤・通学の行き先

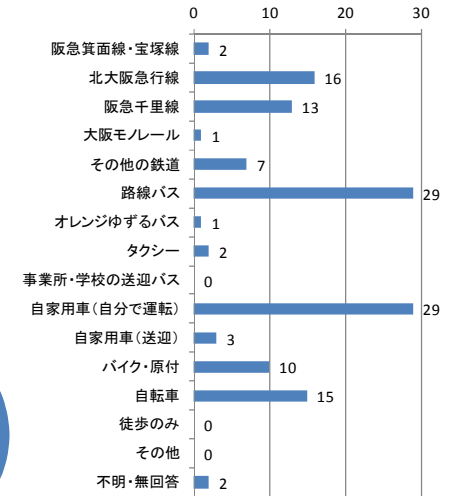


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約22%、「週に数回」が約54%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が75件で突出して多く、次いで「路線バス」が30件である。「自転車」及び「徒歩」が22件で続く。

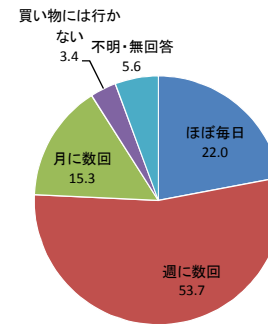


図 日常の買い物の頻度

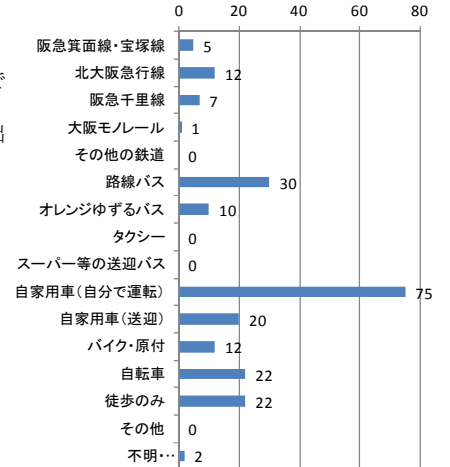


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン10：乗生団地バスターミナル周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足を含わせると、①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさが約30%。③便数は、満足回答が約17%に対し大変不満と不満を含合わせた割合が約44%と非常に不満度が高い。

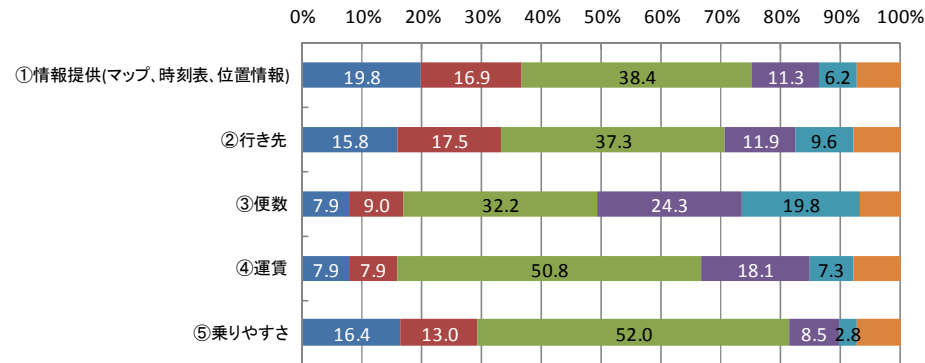


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約50%、「バス路線があれば利用する」が約38%と、合わせて約88%が利用すると回答している。

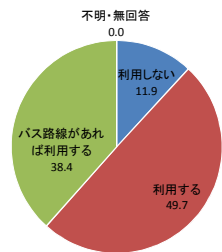


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約92%とほとんどを占める。

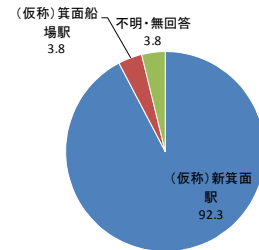


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約69%と多くを占め、「バイク・自転車」が約13%、「自家用車」が約10%である。

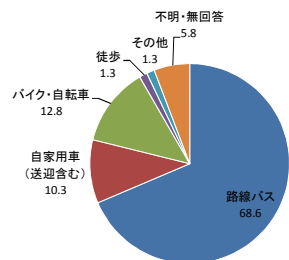


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約49%と最も多く、「ほぼ毎日」と「年に数回」が共に約17%、「週に数回」が11%である。

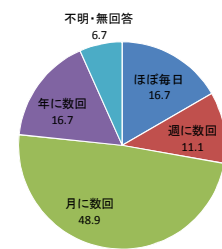


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

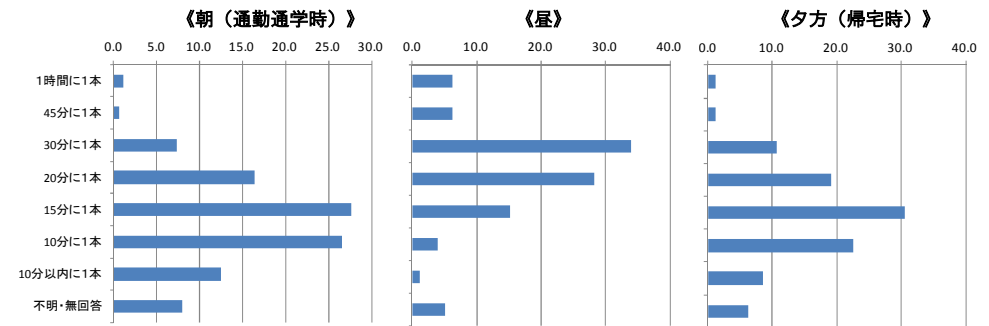


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン11：栗生外院・栗生新家（栗生団地南、R171号以北）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆栗生外院・栗生新家周辺で、R171号以北のゾーン
- ◆町丁目：栗生外院1、栗生外院4、栗生新家2～5、栗生間谷西1
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線阪大口経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：182件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約41%、「女性」が約59%である。

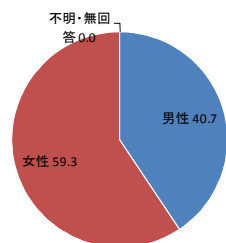


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「60歳代」が約25%で最も多く、「40歳代」が約18%、「70歳代」が約17%、「50歳代」が約10%、「30歳代」と「80歳以上」が共に9%である。

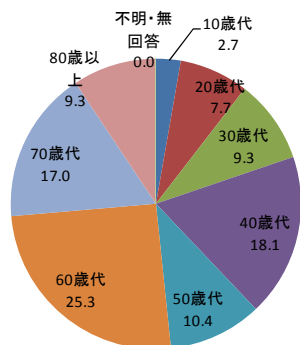


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約30%、「無職」が約24%、「専業主婦(夫)」が約19%、「アルバイト・パート」が約13%である。

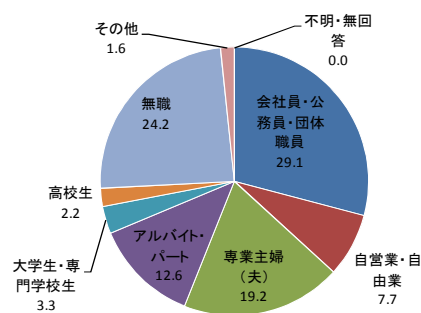


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約82%、「通学」が約10%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約22%、「その他(市外)」が約75%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が44件で最も多く、「自家用車」26件、「北大阪急行線」25件、「阪急千里線」23件と同程度で続いており、これらの鉄道駅へ路線バスや自家用車でアクセスしていると考えられる。

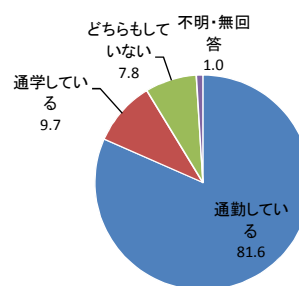


図 通勤・通学の有無

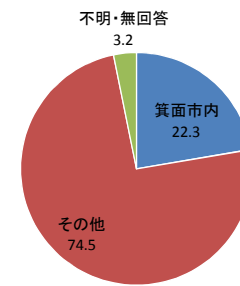


図 通勤・通学の行き先

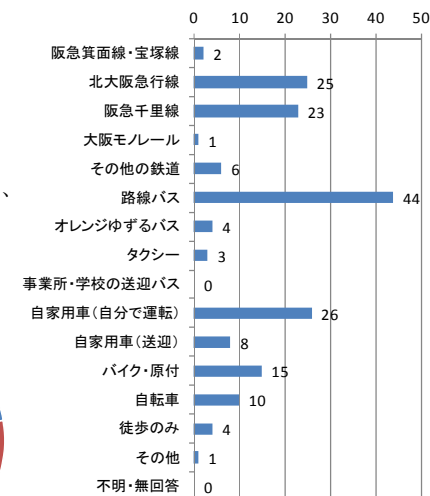


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約16%、「週に数回」が約53%、「月に数回」が約13%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が78件、次いで「路線バス」が50件、「自家用車(送迎)」が27件。自家用車への依存が高い傾向。

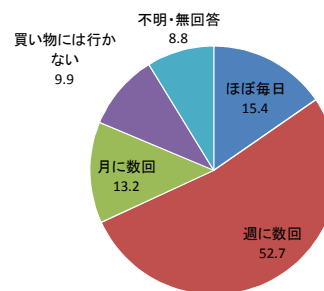


図 日常の買い物の頻度

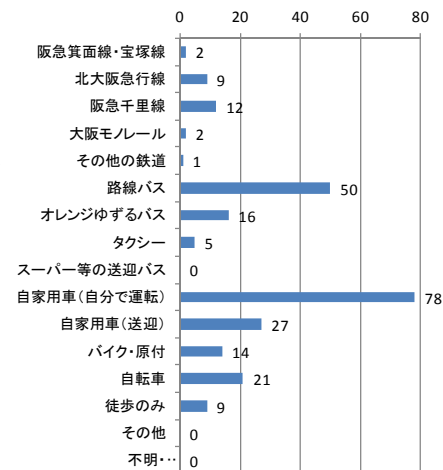


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン11：粟生外院・粟生新家（粟生団地南、R171号以北）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、⑤乗りやすさが約30%と高い。大変不満と不満を合わせた割合は、③便数が約36%、④運賃が約25%で、満足意見より不満意見のほうが高い。

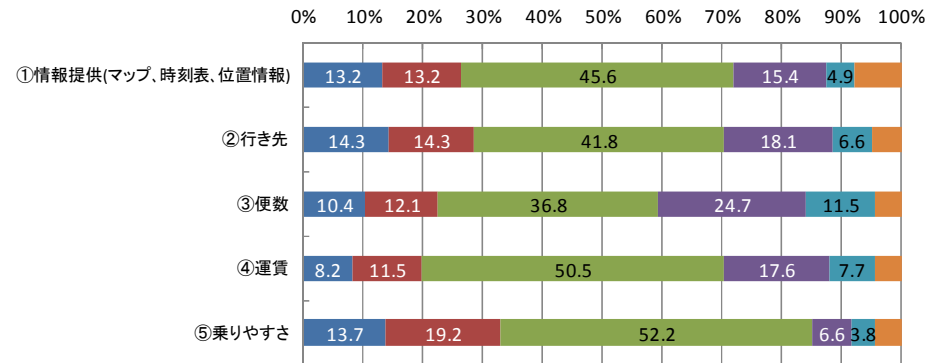


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約39%、「バス路線があれば利用する」が約41%と、合わせて約80%が利用すると回答している。

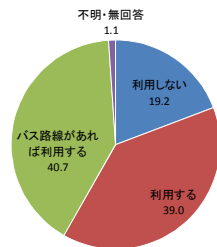


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約92%と大多数を占める。

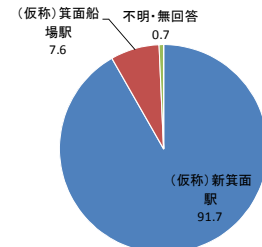


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約65%と最も多く、「自転車・バイク」が約18%、「自家用車」が約6%である。

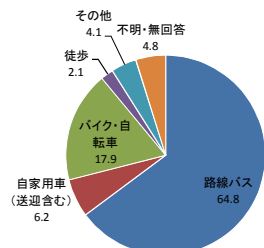


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約43%、「年に数回」が約31%、あわせて約74%を占める。「ほぼ毎日」は約10%、「週に数回」が約12%で、日常的な利用意向は高くない。

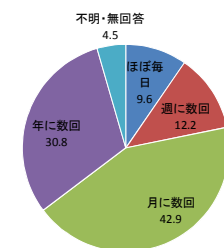


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

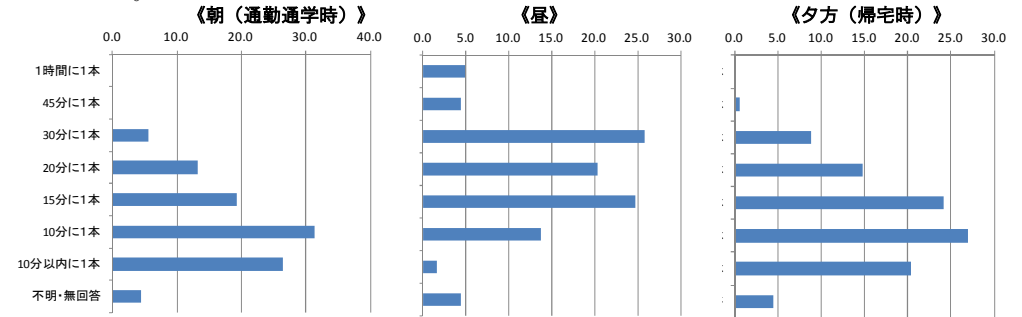


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆間谷住宅周辺で、勾配の大きいゾーン
- ◆町丁目：粟生間谷東1～8、彩都粟生南1～3
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面山麓線（箕面～間谷住宅）
粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線白島経由（千里中央～粟生団地）
- ◆アンケート回答数：101件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約45%、「女性」が約55%である。

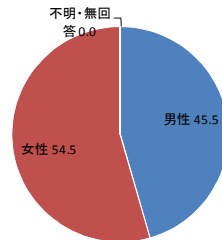


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約20%で最も多く、「60歳代」が約19%、「20歳代」と「70歳代」が共に約16%、「30歳代」が約13%、「50歳代」が8%である。

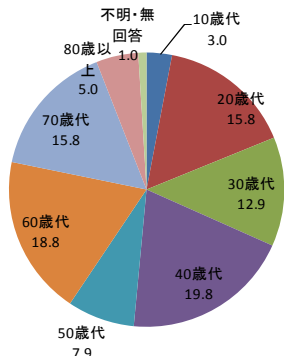


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約35%、「専業主婦(夫)」が約30%、「無職」が約12%、「自営業・自由業」が約8%である。

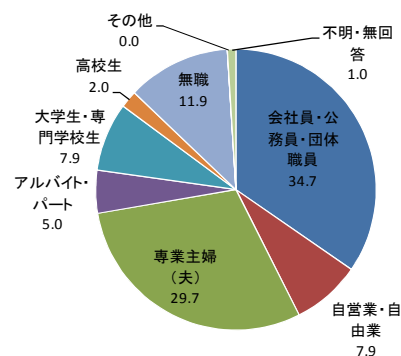


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約71%、「通学」が約16%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約22%、「その他(市外)」が約70%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」が20件で最も多く、「路線バス」が11件、「大阪モノレール」が10件で続いている。

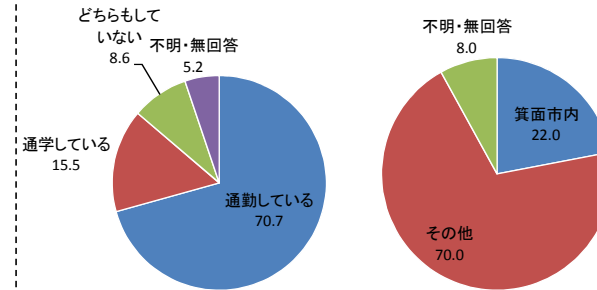


図 通勤・通学の有無

図 通勤・通学の行き先

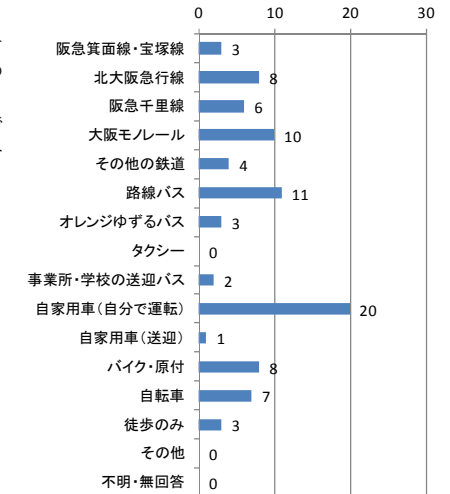


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約16%、「週に数回」が約55%、「月に数回」が約21%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が56件で突出して多く、次いで「路線バス」が24件、「自家用車(送迎)」が12件。自家用車への依存が高い傾向。

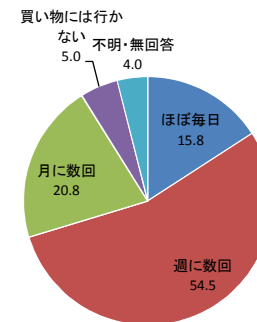


図 日常の買い物の頻度

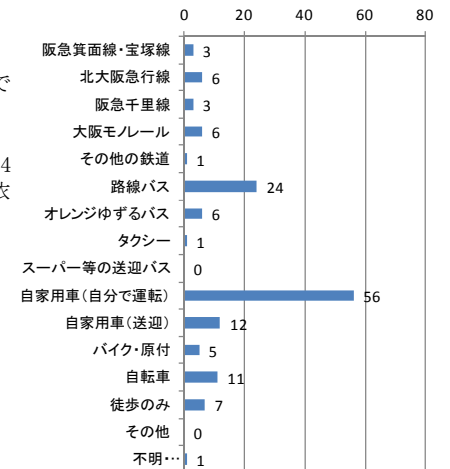


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン12：間谷住宅周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆大変満足、やや満足と合わせると、⑤乗りやすさが約40%と高い。大変不満と不満を合わせた割合は、③便数が約58%、②行き先が約32%、④運賃が約24%で、いずれも満足意見より不満意見のほうが高い。

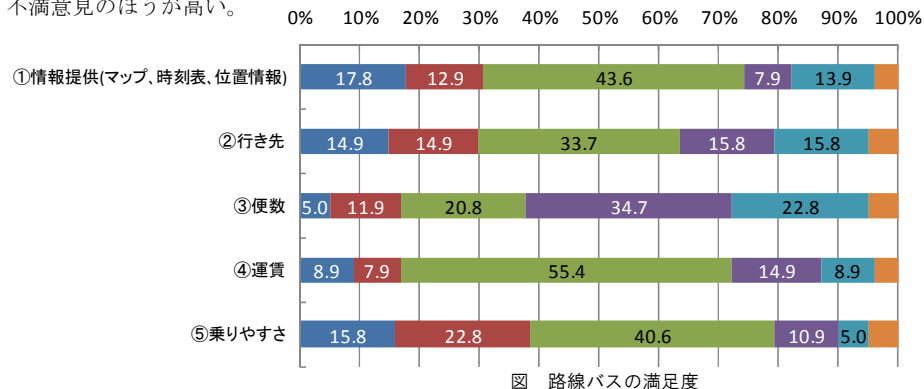


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約41%、「バス路線があれば利用する」が約37%と、合わせて約78%が利用すると回答している。

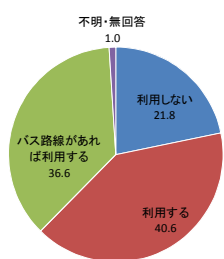


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、(仮称)新箕面駅の利用意向が約92%と大多数を占める。

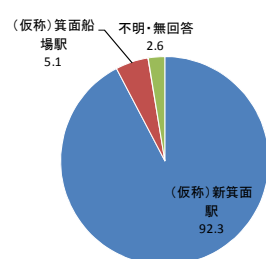


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約56%、「自家用車」が28%、「バイク・自転車」が約28%である。

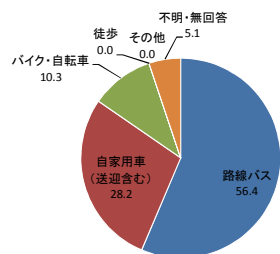


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約46%、「年に数回」が約26%、あわせて約74%を占める。「ほぼ毎日」は約14%、「週に数回」が約13%で、日常的な利用意向は高い。

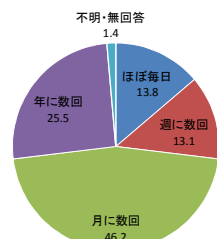


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

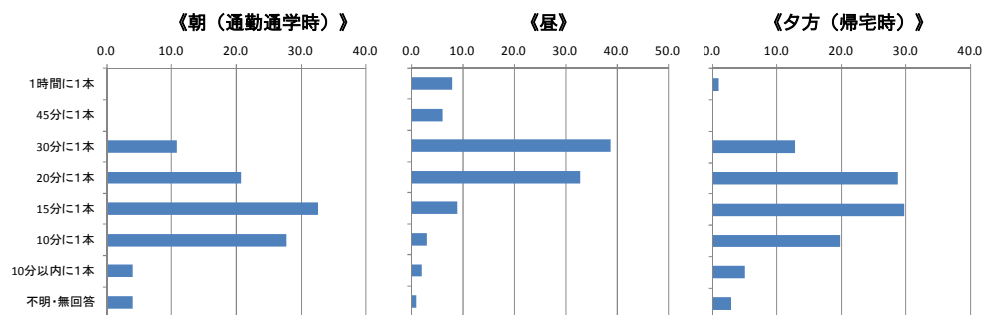


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

①ゾーン概要

- ◆彩都地域のゾーン
- ◆町丁目：彩都粟生南4～7、彩都粟生北1～7
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
- ◆アンケート回答数：72件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約47%、「女性」が約53%である。

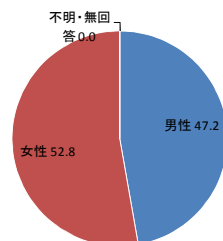


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「30歳代」が約40%で最も多く、「40歳代」が約33%で続き、この2つの年齢層で約79%を占めている。

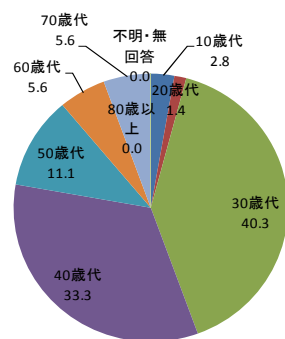


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約53%と過半数で、「アルバイト・パート」が約19%、「専業主婦(夫)」が約11%である。

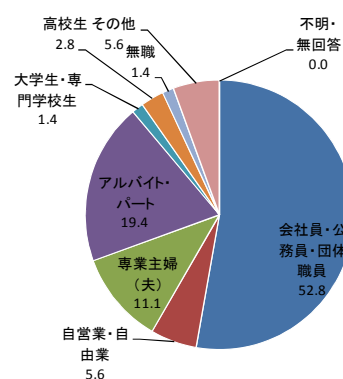


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約89%、「通学」が約5%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約14%、「その他(市外)」が約86%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「大阪モノレール」が31件と突出して多く、「自家用車」が19件、「路線バス」が14件で続く。その他「北大阪急行線」が10件あるが、モノレール以外の鉄道は少ない。

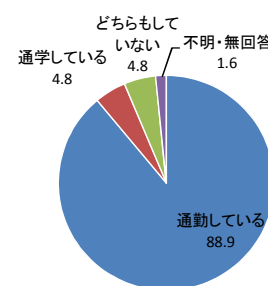


図 通勤・通学の有無

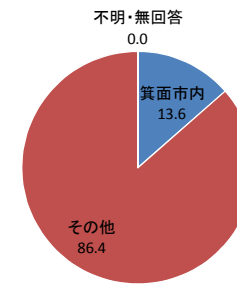


図 通勤・通学の行き先

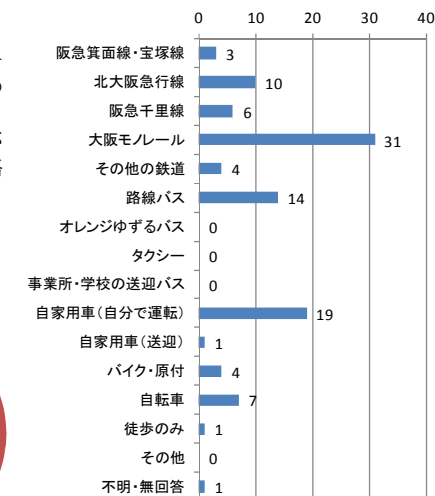


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約19%、「週に数回」が約58%、「月に数回」が約20%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が56件と非常に突出しており、他の手段は非常に少ない。

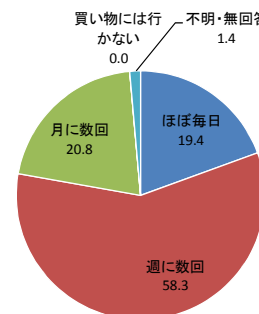


図 日常の買い物の頻度

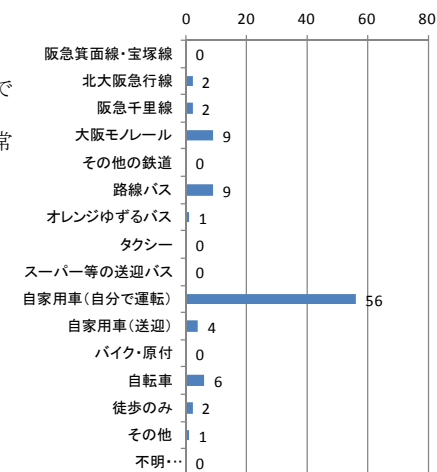


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン13：彩都地域ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

- ◆全体的に、大変不満とやや不満を合わせた不満意見の割合が高く、特に③便数が約75%と非常に高い。他の不満意見は、②行き先が約43%、④運賃が約32%と高い。

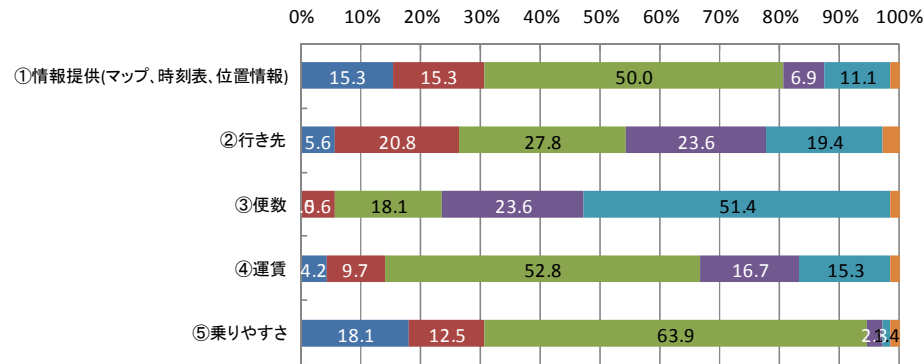


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約24%、「バス路線があれば利用する」が約43%と、合わせて約67%が利用すると回答している。

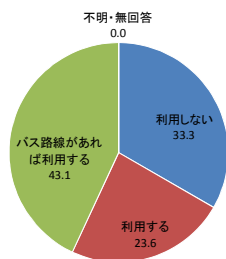


図 延伸区間の利用意向

④－３．新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約63%と多くを占め、その他は「自家用車」が21%である。

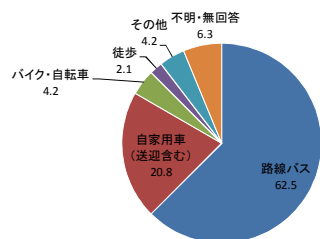


図 新駅までの交通手段

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約96%と大多数を占める。

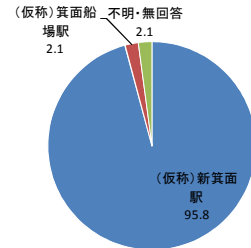


図 主に利用する新駅

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が約44%、「年に数回」が約22%、あわせて約66%を占める。「ほぼ毎日」は約18%、「週に数回」が約13%で、日常的な利用意向は高くない。

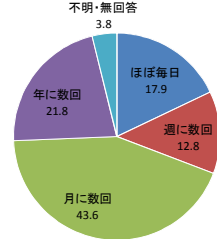


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「15分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「20分に1本」の意向が最も高い。

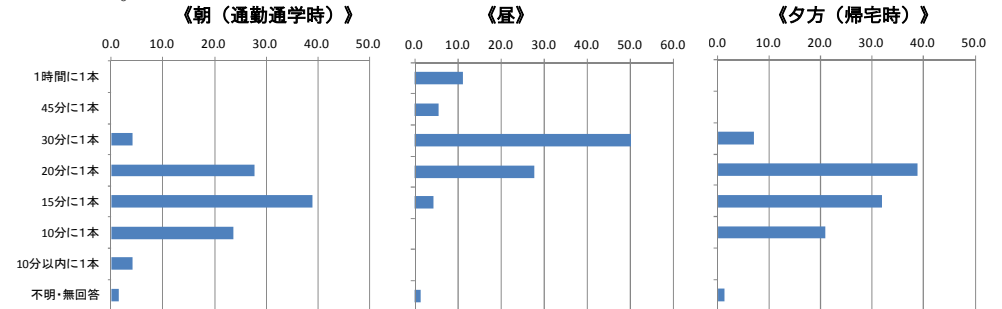


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

①ゾーン概要

- ◆今宮周辺のゾーン
- ◆町丁目：今宮1～4、西宿3
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：粟生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
粟生団地線外院の里経由（千里中央～粟生団地）
粟生団地線阪大口経由（千里中央～粟生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
- ◆アンケート回答数：78件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約32%、「女性」が約68%である。

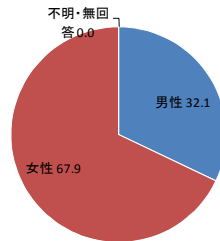


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「70歳代」が約19%で最も多いが、ほとんどの年代の割合がいずれも10%台でほぼ同等である。

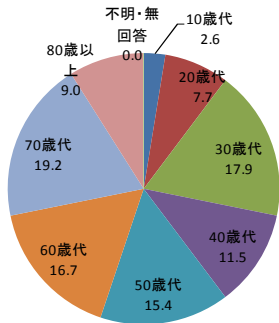


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約27%、「無職」が約21%、「アルバイト・パート」が約19%、「専業主婦(夫)」が約17%である。

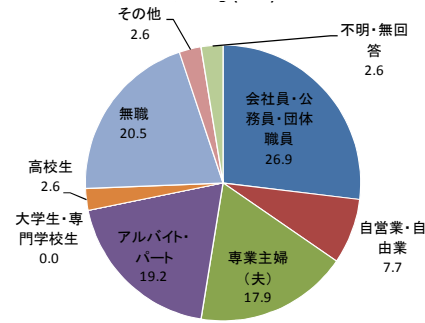


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約87%、「通学」が約4%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約29%、「その他(市外)」が約69%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「自家用車」、「路線バス」、「自転車」、「北大阪急行線」が多く、千里中央駅へ自家用車や路線バスでアクセスしていると考えられる。

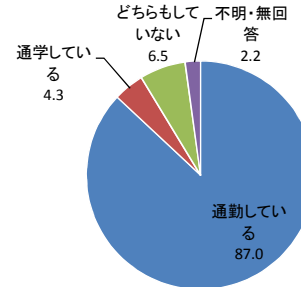


図 通勤・通学の有無

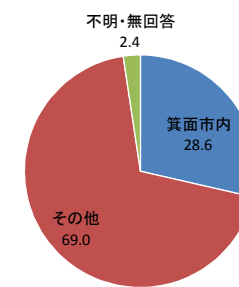


図 通勤・通学の行き先

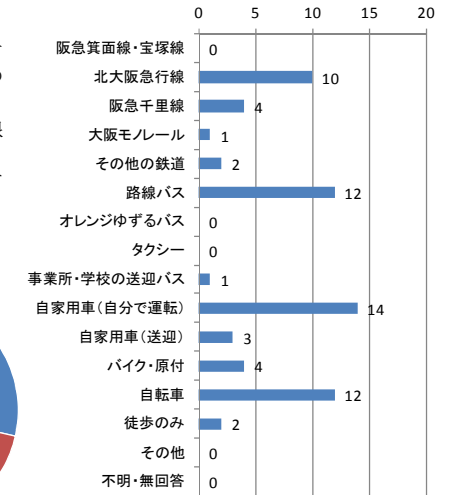


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約56%、「月に数回」が約17%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が42件と突出して多く、「自転車」が18%、「路線バス」が11%で続く。

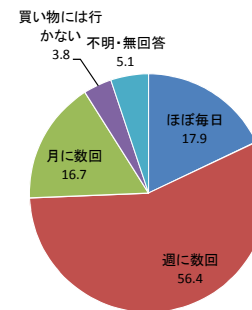


図 日常の買い物の頻度

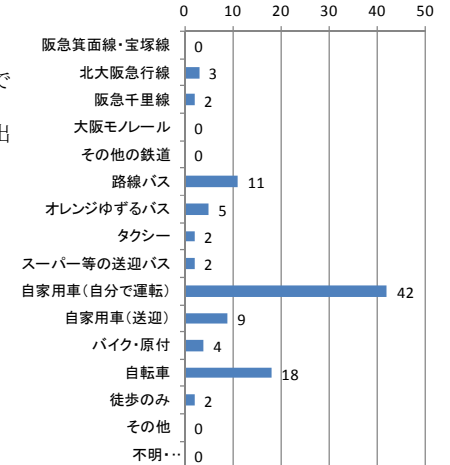


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン14：今宮周辺ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆①情報提供と⑤乗りやすさは、大変満足とやや満足をあわせた意見が高いが、他の項目は大変不満とやや不満を合わせた意見のほうが、③便数が約39%。②行き先が約32%、④運賃が約25%と高い。

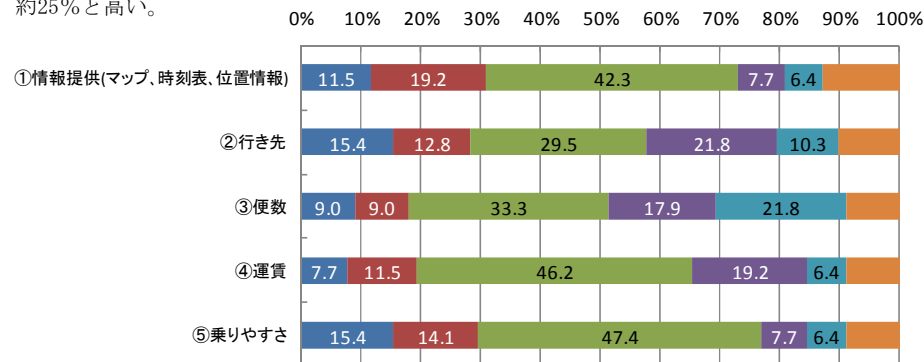


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約71%、「バス路線があれば利用する」が約18%と、合わせて約89%が利用すると回答している。

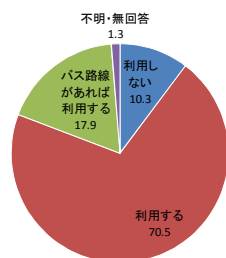


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)箕面船場駅」の利用意向が77%、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約22%である。

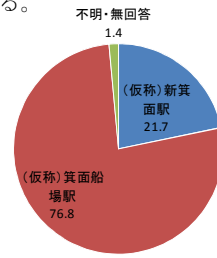


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「徒歩」が約48%、「バイク・自転車」が約25%、「路線バス」は約16%である。

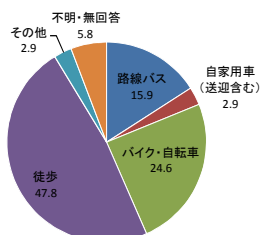


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「月に数回」が約40%と最も多く、「ほぼ毎日」が約19%、「週に数回」と「年に数回」が共に約21%である。

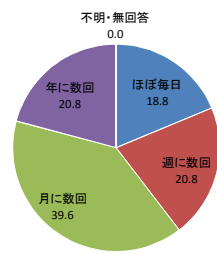


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

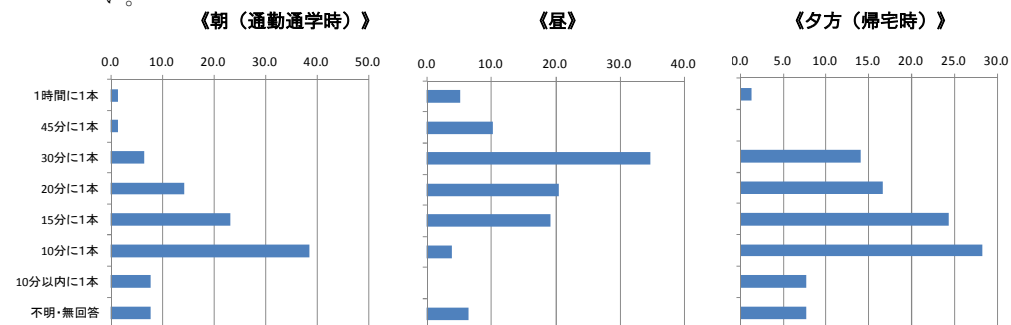


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン15：小野原ゾーン

①ゾーン概要

- ◆小野原地域のゾーン
- ◆町丁目：栗生新家1、小野原西1～6、小野原東1～6
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：栗生団地線小野原経由（千里中央～間谷住宅）
栗生団地線外院の里経由（千里中央～栗生団地）
栗生団地線阪大口経由（千里中央～栗生団地）
石橋・郡山団地線（阪急石橋～阪急茨木市）
小野原東線（千里中央～豊川駅）
- ◆アンケート回答数：230件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約48%、「女性」が約52%である。

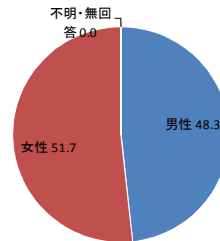


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「40歳代」が約18%で最も多く、「50歳代」と「60歳代」が共に約17%、「30歳代」が約14%、「20歳代」が約12%、「70歳代」が11%と、各年代がほぼ同程度に混在している。

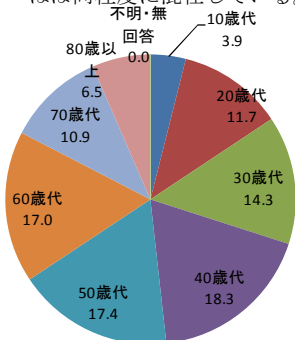


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約30%、「専業主婦（夫）」が約21%、「無職」が約19%、「アルバイト・パート」が約12%である。

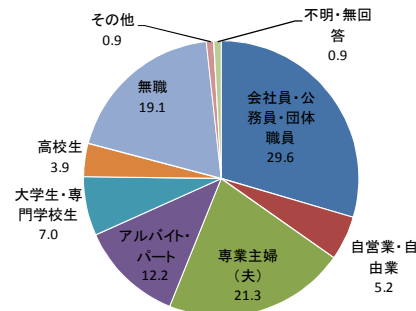


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約73%、「通学」が約19%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約19%、「その他（市外）」が約81%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、公共交通では「阪急千里線」が35件、「路線バス」が34件、「北大阪急行線」が21件と多く、それ以外では「自転車」が33件、「自家用車」が27件と多い。

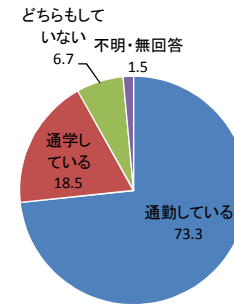


図 通勤・通学の有無

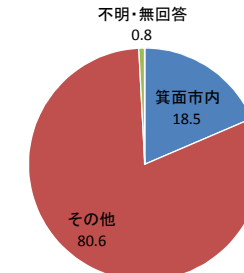


図 通勤・通学の行き先

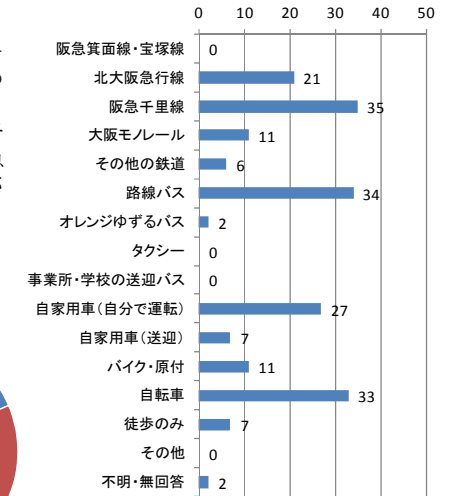


図 通勤・通学の交通手段（複数回答 n=164）

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約18%、「週に数回」が約56%、「月に数回」が約15%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車」が107件と突出して多く、次いで「自転車」が59件で、公共交通機関の利用は少ない。

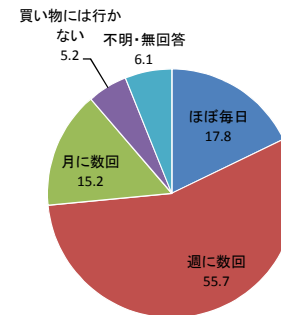


図 日常の買い物の頻度

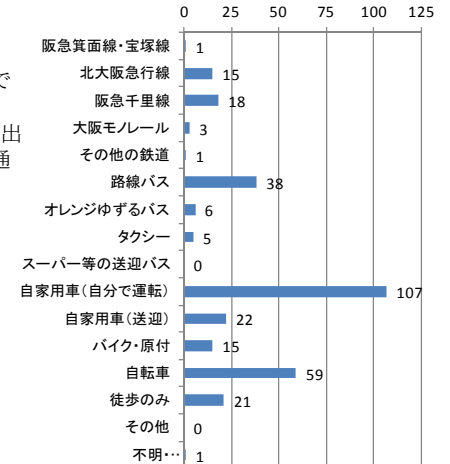


図 買い物の交通手段（複数回答 n=164）

◇ゾーン15： 小野原ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

- ◆①情報提供、②行き先、⑤乗りやすさは、④運賃は、大変満足とやや満足をあわせた意見が高いが、③便数は、大変不満とやや不満を合わせた意見が約41%で、満足意見を上回る。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

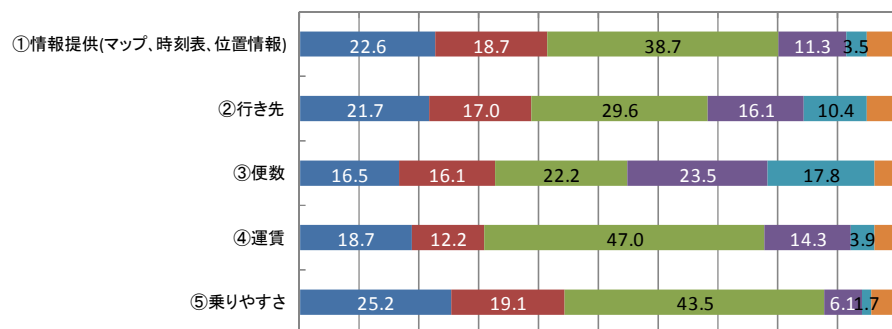


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

- ◆「利用する」が約27%、「バス路線があれば利用する」が約33%と、合わせて約60%が利用すると回答している。

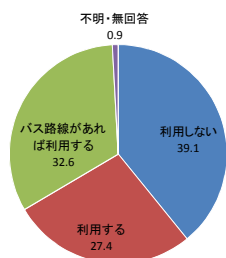


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

- ◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)箕面船場駅」の利用意向が約51%、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約44%である。

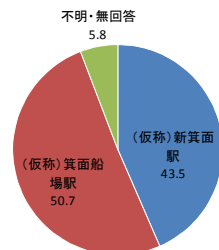


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

- ◆「路線バス」が約51%、「バイク・自転車」が約25%、「自家用車」が約12%である。

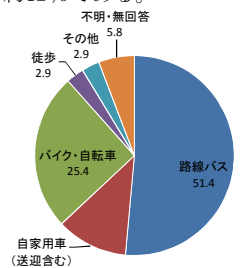


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

- ◆「月に数回」が約42%と最も多く、「年に数回」が約23%、「週に数回」が約19%、「ほぼ毎日」が約13%と、日常的な利用意向は少ない。

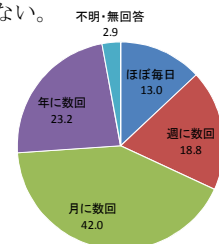


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

- ◆「朝」が「10分に1本」と「15分に1本」がほぼ同程度で多く、「昼」が「20分に1本」、「夕方」が「10分に1本」の意向が最も高い。

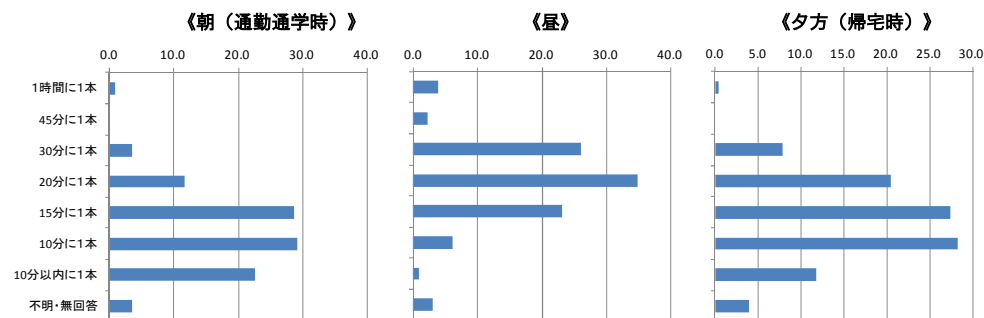


図 路線バスの運行本数意向（朝、昼、夕方）

◇ゾーン16：北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン

①ゾーン概要

- ◆北部地域（箕面森町、止々呂美地域）のゾーン
- ◆町丁目：上止々呂美、下止々呂美、森町中、森町北、森町南、森町西
- ◆公共交通機関
鉄道：なし
路線バス：北大阪ネオポリス線（千里中央～余野）
箕面森町線（千里中央～箕面森町近隣公園前）
- ◆アンケート回答数：53件



②基礎情報

②-1. 性別

- ◆「男性」が約62%、「女性」が約38%である。

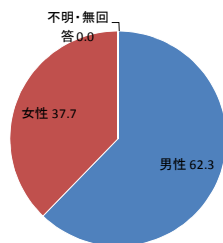


図 回答者の性別

②-2. 年代

- ◆「30歳代」が約42%で最も多く、「40歳代」と「50歳代」が約17%で、それより若年及び高齢の年齢層は少ない。

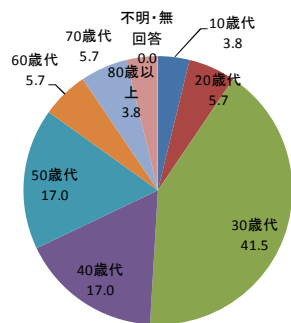


図 回答者の年代

②-3. 職業

- ◆「会社員・公務員・団体職員」が約51%、「専業主婦(夫)」が約17%、「アルバイト・パート」が約12%である。

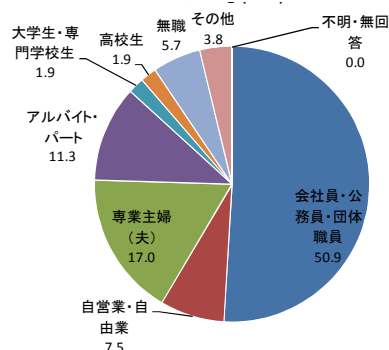


図 回答者の主な職業

③現状の交通行動

③-1. 通勤・通学の交通行動

- ◆「通勤」が約83%、「通学」が約5%であり、そのうち行き先は、「箕面市内」が約8%、「その他(市外)」が約92%である。
- ◆通勤・通学の交通手段は、「路線バス」が18件、「北大阪急行線」が17件、「自家用車」が16件で他の手段は少ない。路線バスや自家用車で北大阪急行線にアクセスしていると考えられる。

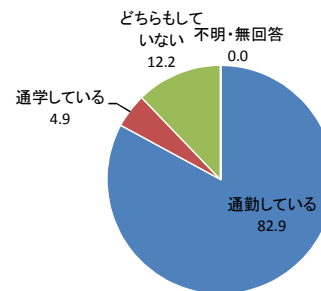


図 通勤・通学の有無

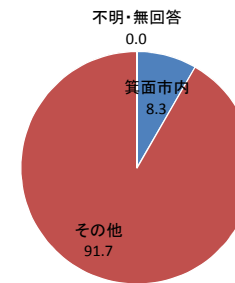


図 通勤・通学の行き先

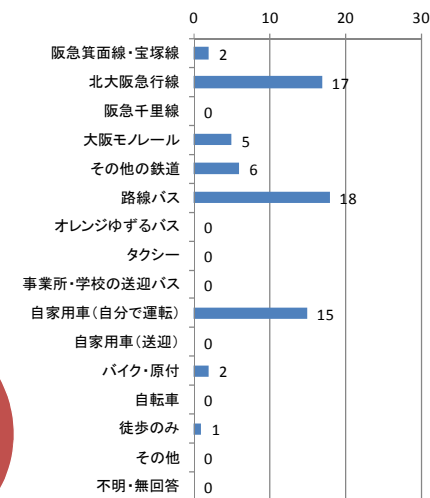


図 通勤・通学の交通手段
(複数回答 n=164)

③-2. 日常の買い物の交通行動

- ◆日常の買い物の頻度は、「ほぼ毎日」が約6%、「週に数回」が約62%、「月に数回」が約23%である。
- ◆買い物の交通手段は、「自家用車(自分で運転)」が41件と突出し、「路線バス」が15件、「自家用車(送迎)」が7件で、他の手段はほとんどなく、自家用車への依存が強い。

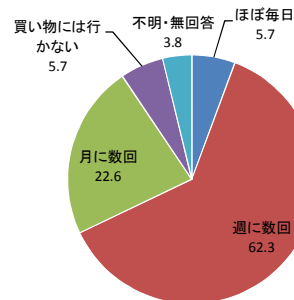


図 日常の買い物の頻度

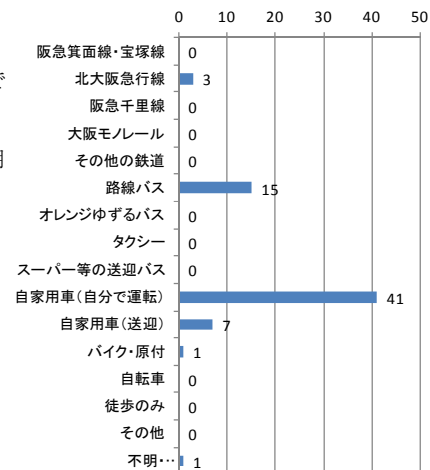


図 買い物の交通手段
(複数回答 n=164)

◇ゾーン16：北部地域（箕面森町・止々呂美地域）ゾーン

③現状の交通行動（続き）

③－３．路線バスの満足度

◆全体的に、大変不満とやや不満を合わせた不満意見の割合が高く、特に④運賃が約77%、便数が約53%と不満度が高い。

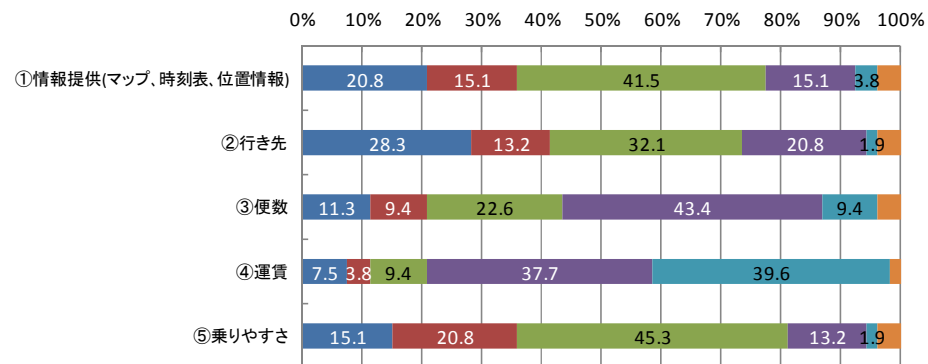


図 路線バスの満足度

④北大阪急行延伸後の交通行動

④－１．延伸区間の利用意向

◆「利用する」が約62%、「バス路線があれば利用する」が約19%と、合わせて約81%が利用すると回答している。

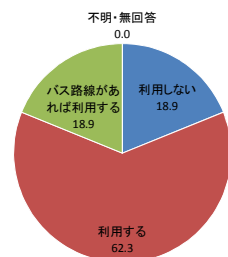


図 延伸区間の利用意向

④－２．主に利用する新駅

◆延伸区間の利用意向のある人のうち、「(仮称)新箕面駅」の利用意向が約95%と大多数を占める。

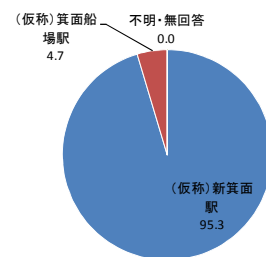


図 主に利用する新駅

④－３．新駅までの交通手段

◆「路線バス」が約91%と大多数を占め、その他は「自家用車」が約9%で、他の手段の回答はない。

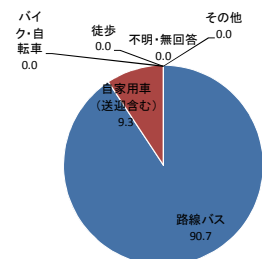


図 新駅までの交通手段

④－４．延伸区間の利用頻度

◆「年に数回」が約38%、「月に数回」が約35%、あわせて約73%を占める。「ほぼ毎日」は約13%、「週に数回」が約9%で、日常的な利用意向は高くない。

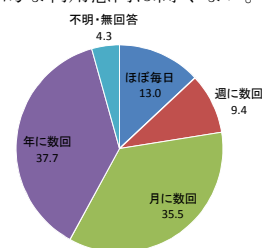


図 延伸区間の利用頻度

⑤バス路線再編の意向

⑤－１．路線バスの運行本数意向

◆「朝」が「10分に1本」、「昼」が「30分に1本」、「夕方」が「15分に1本」の意向が最も高い。

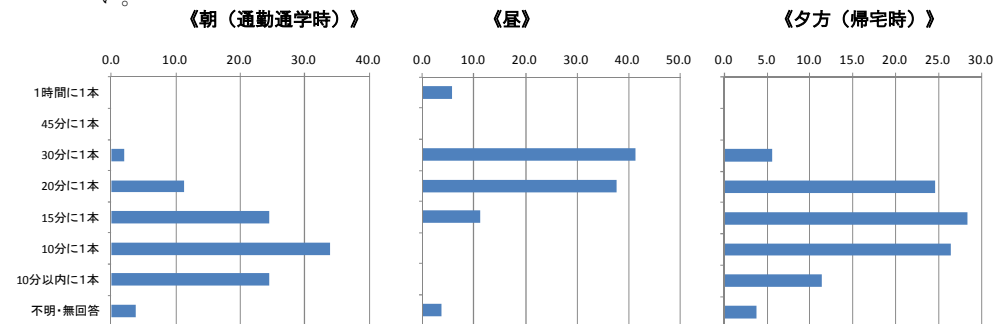


図 路線バスの運行本数意向(朝、昼、夕方)